鉄人28号
原作完全版
横山光輝
12
ロビー・
ロボ群

横山光輝

鉄人28号

原作完全版

12

猛襲! ロビー・ロボ群

KIBO COMICS
スペシャル

鉄人28号 12

原作完全版

出撃! ロビー・ロボ群

むかでロボット …… 5
さらわれた鉄人 …… 27
オックスのかつやく …… 73
ドラグネット博士 …… 90
やってきたロビー …… 102
敵か味方か …… 129
こうかん条件 …… 151
あらわれた鉄板 …… 159
なおった操縦器 …… 184
もぬけのから …… 209
海底のロボット …… 226

警備着出動 246
あやしい男 266
殺人ロボットV 273
怪盗ブラックマスクの巻 290

このむこうにロビーの新しい墓地があるんじゃ
えっ

それが攻撃を加える前に逃げ出したようだ
うむむそうか
よしすぐ司令部を呼び出して報告しろ
はっ
もしもし司令部こちらはオックスを追いかけてきた第三小隊

今 小金ガ淵で 大塚署長や 金田正太郎と 出会い 詳しいことを 聞きましたが ロビーは 電撃攻撃を 受けておらず この小金ガ淵の 向こうに 新しい 基地を 作って いるそうです

ロビーは 電撃攻撃を 受けて いなかった のか
そう らしいです 第三小隊は 命令を 待って います

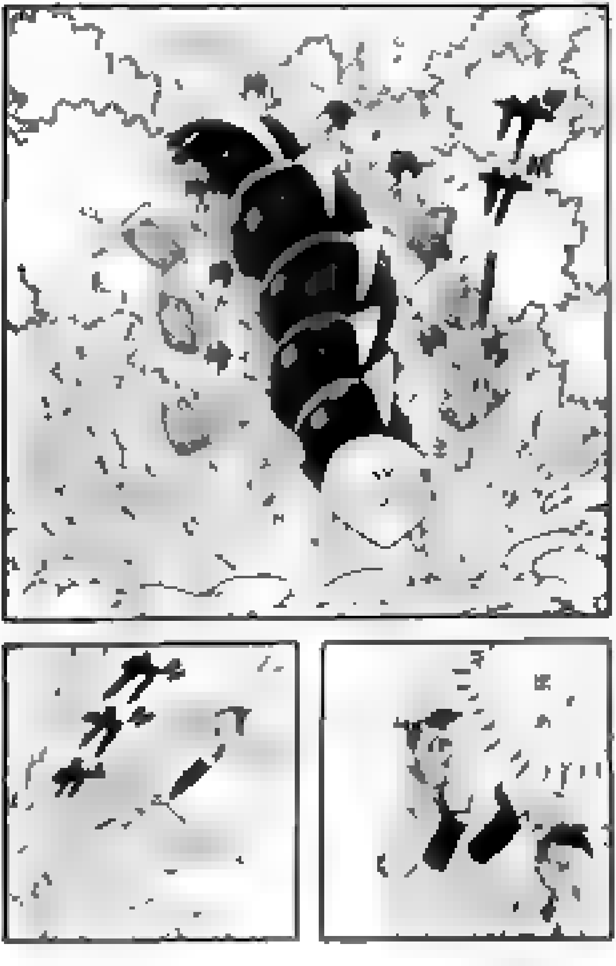
はっ
はっ

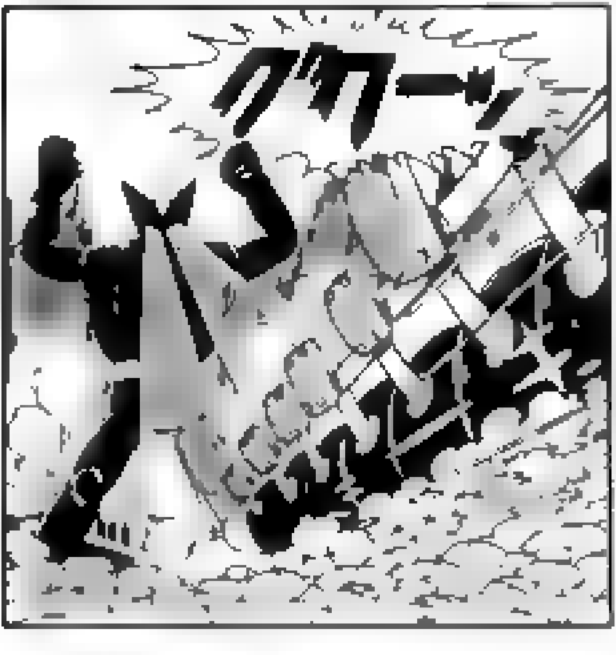
よし
はっ

さん サタンの目が光りましたよ
あっ?

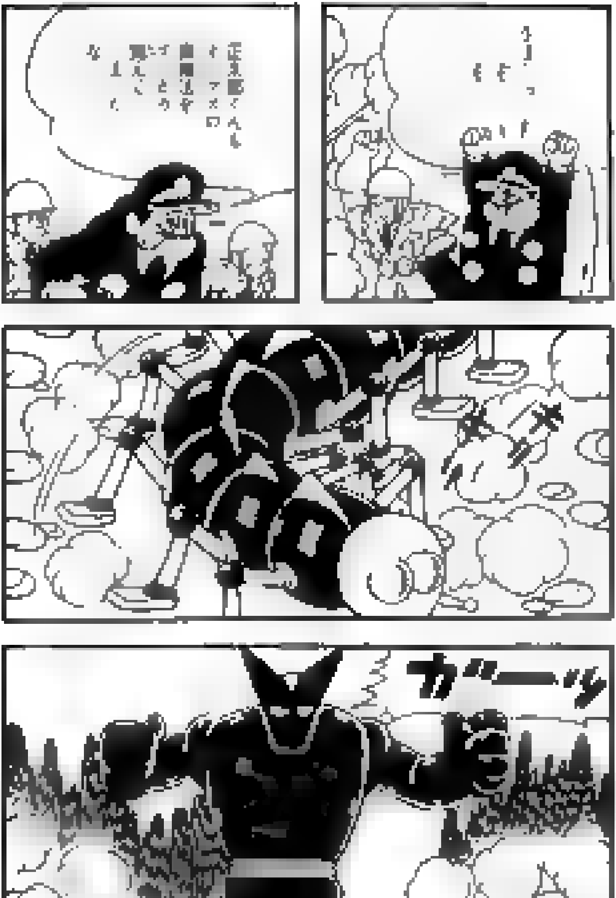
さん 何か追ってきてるのかもしれませんよ
えっ
オッタマは もし 相手が向かってくると 目を光らせるでしょう
うむ
ひょっとしたら この目は 何かと 戦闘に 感じて 光るよう なってるのかも しれませんよ
うむむ もゝは 大変だ
みんな 油断 するな

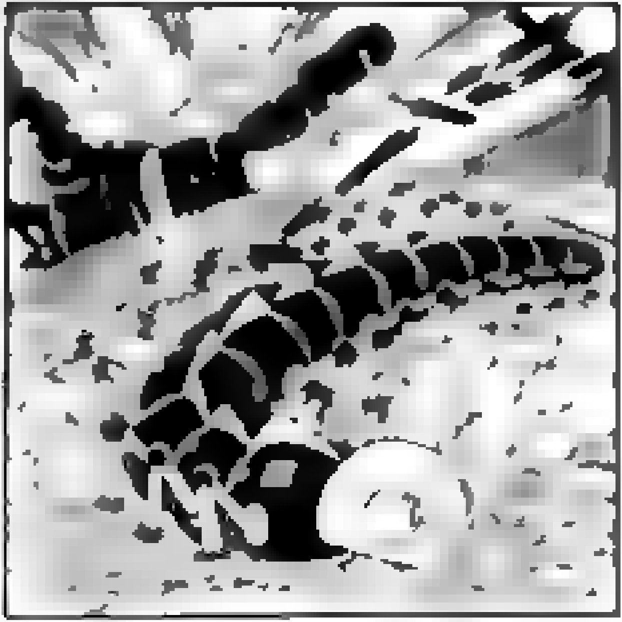
「船長さん
南極の
霧だ
うむ

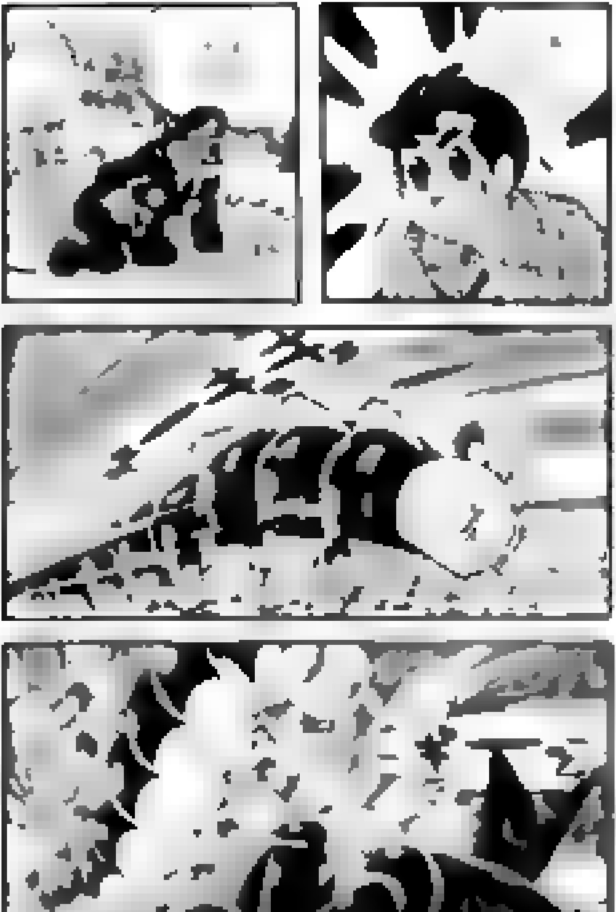


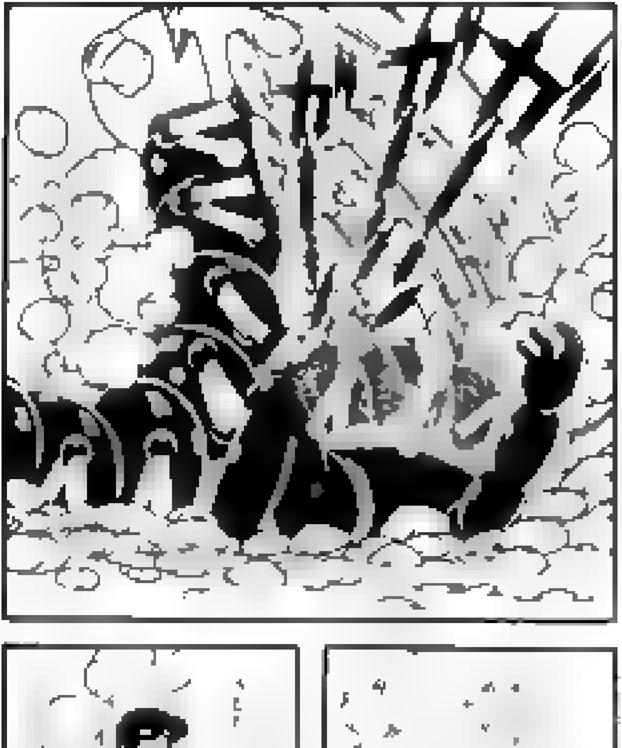

グワーッ

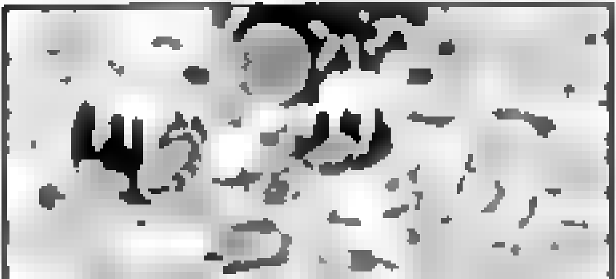
ガーッ


ガーーッ

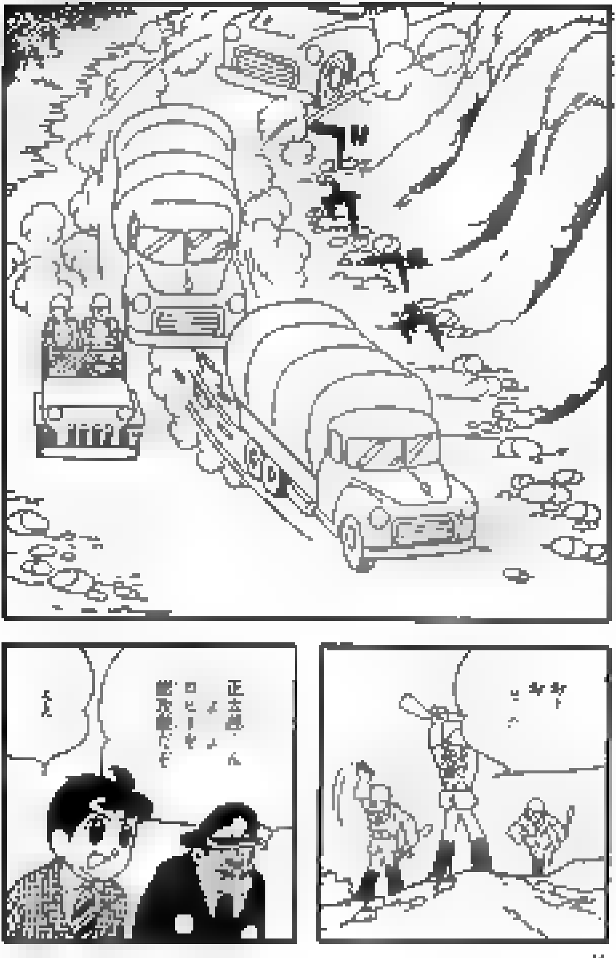






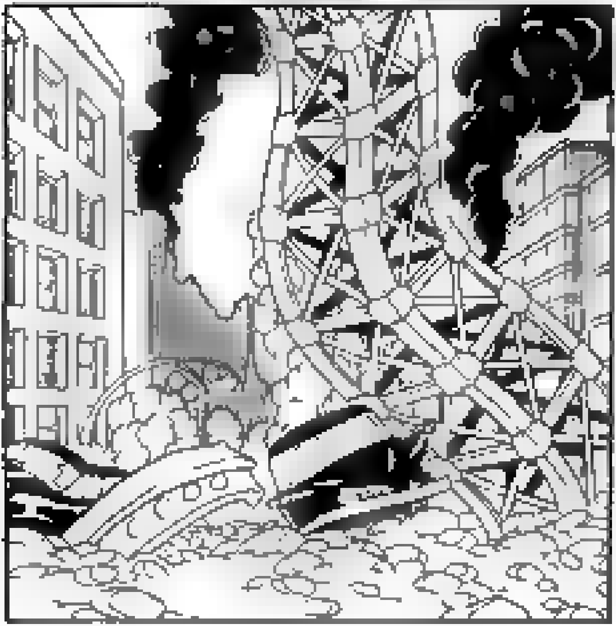


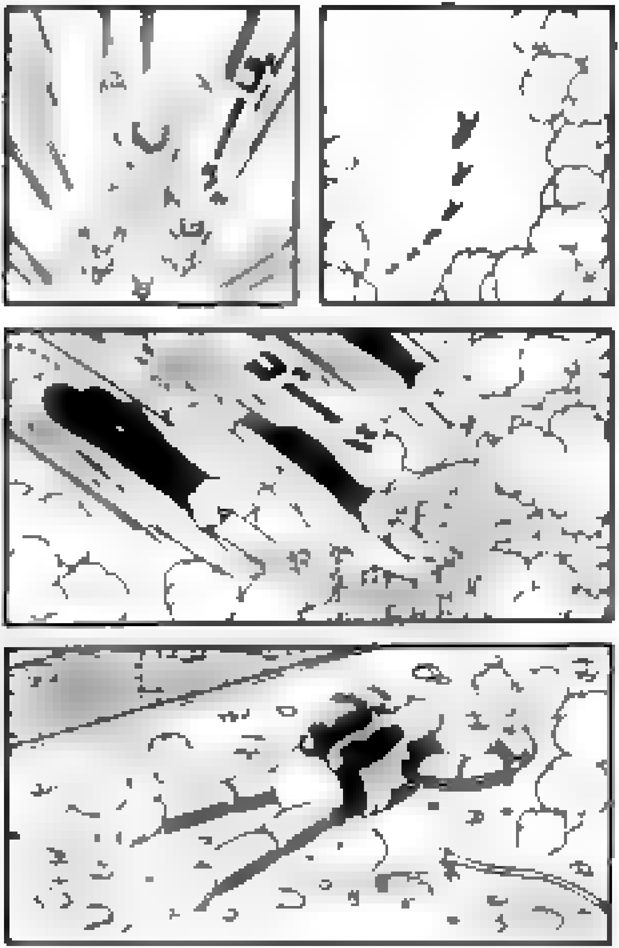
うわーっ



正太郎くん
ロビーを
護送中だぞ

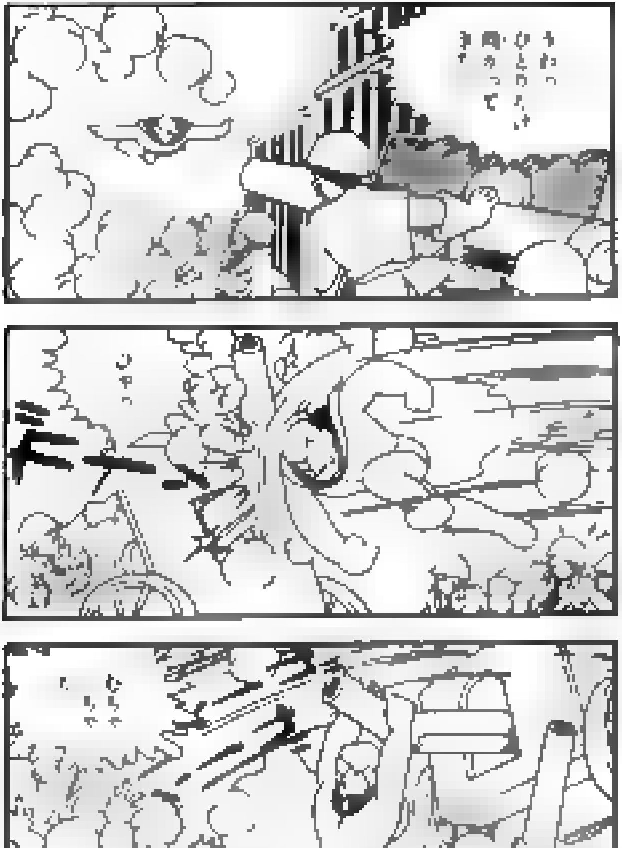
さらわれた鉄人





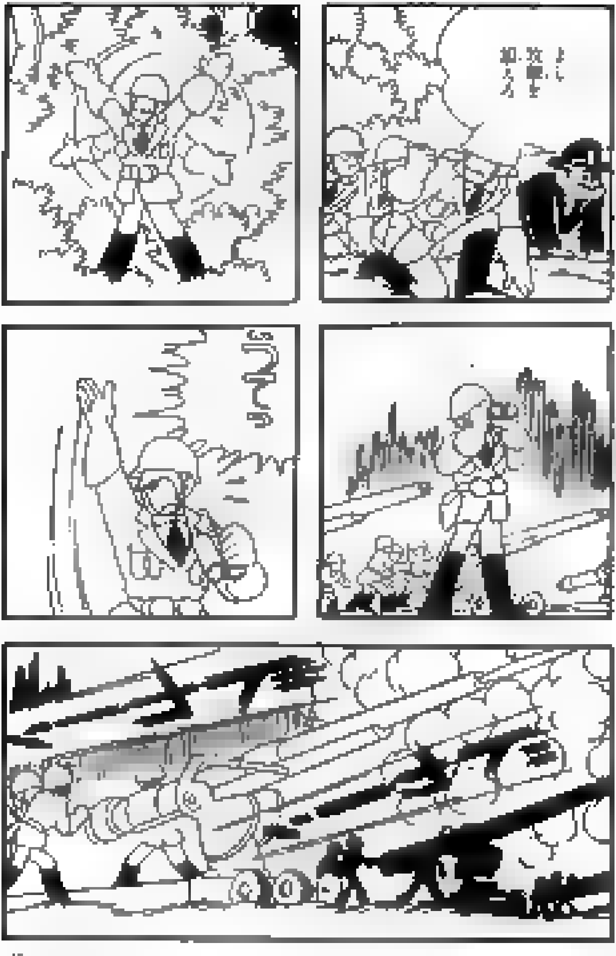
あ、変な坊主が鉄人の周りたくさん踊りてるよ
初めて見たよ

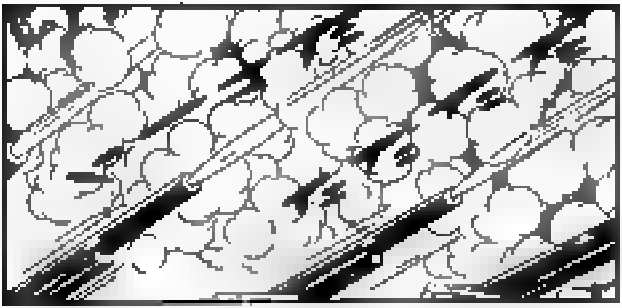
あっ隊長が持ち上げたよ
どうするつもりなんだ
ひょっとしたらあれもロヒトのロボットかもしれんぞ

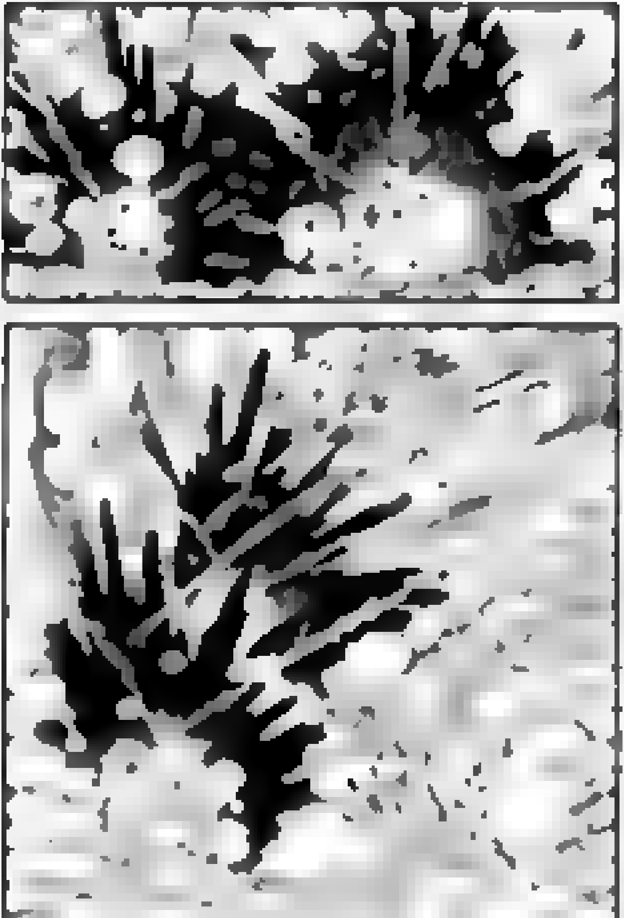


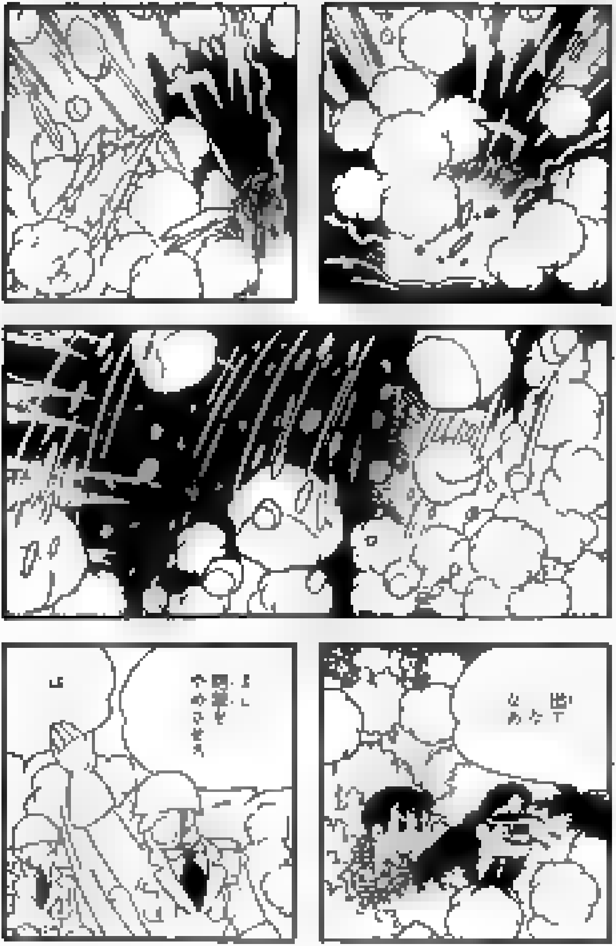
うわあ
しまった

あの洞穴が

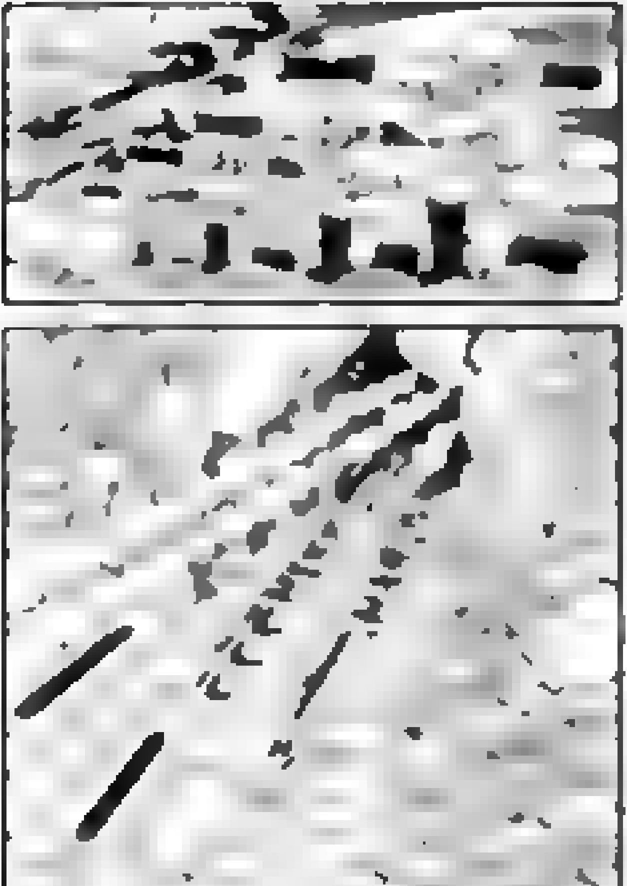

よし 攻撃を 加えろ





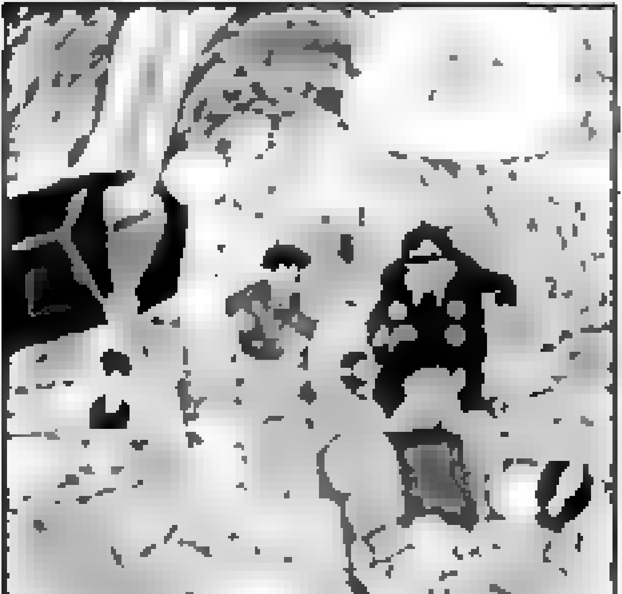

よし
出て

打ち方やめーっ



正太郎くん これじゃ どんな ロボットでも ひとたまりも あるまい
うむ

よし
はっ
はっ
うわあ

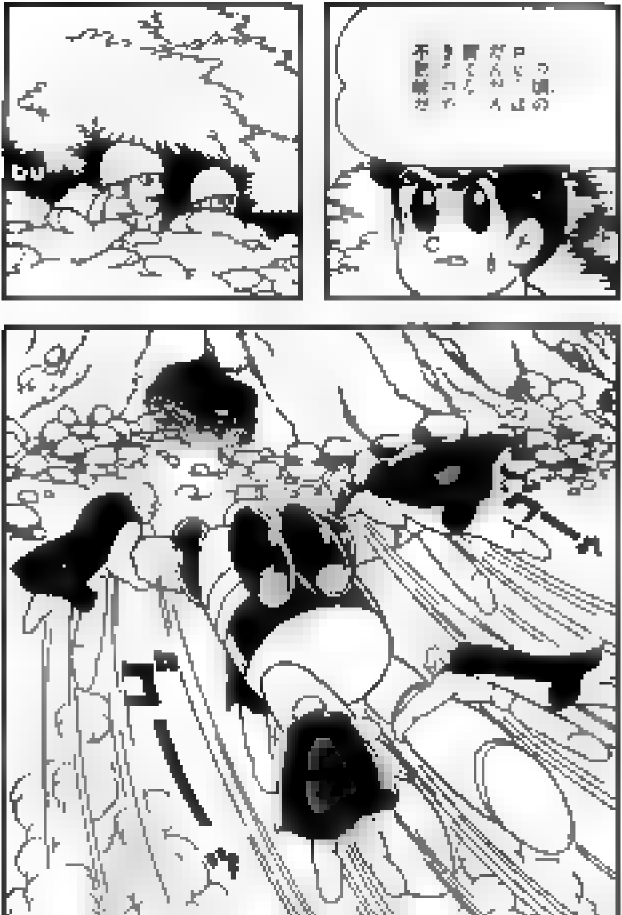


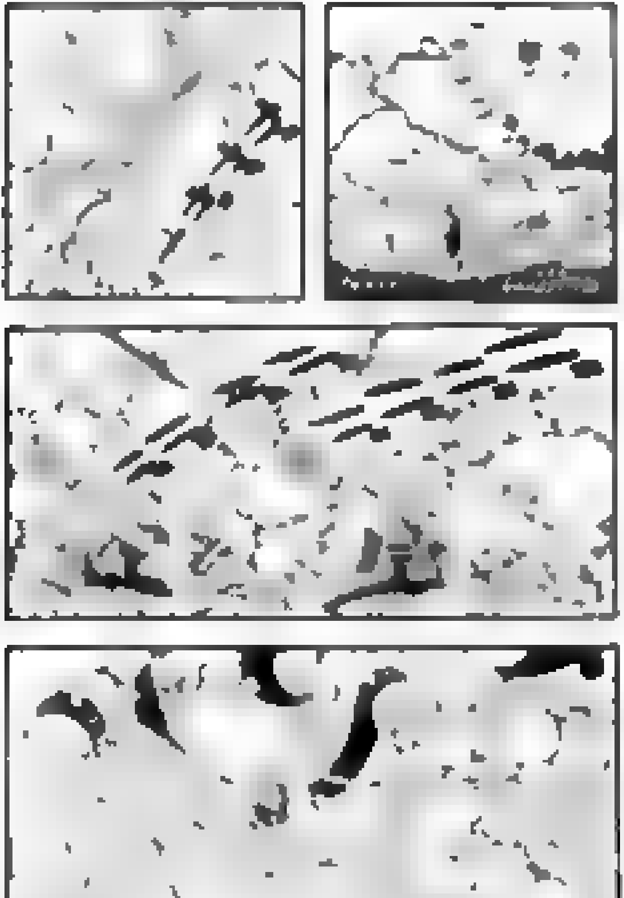
おっ 正太郎くんが 出てきた
正太郎くん 中の様子は どうか
中に 大きな機械が あるんだけど ロボットは どうやら

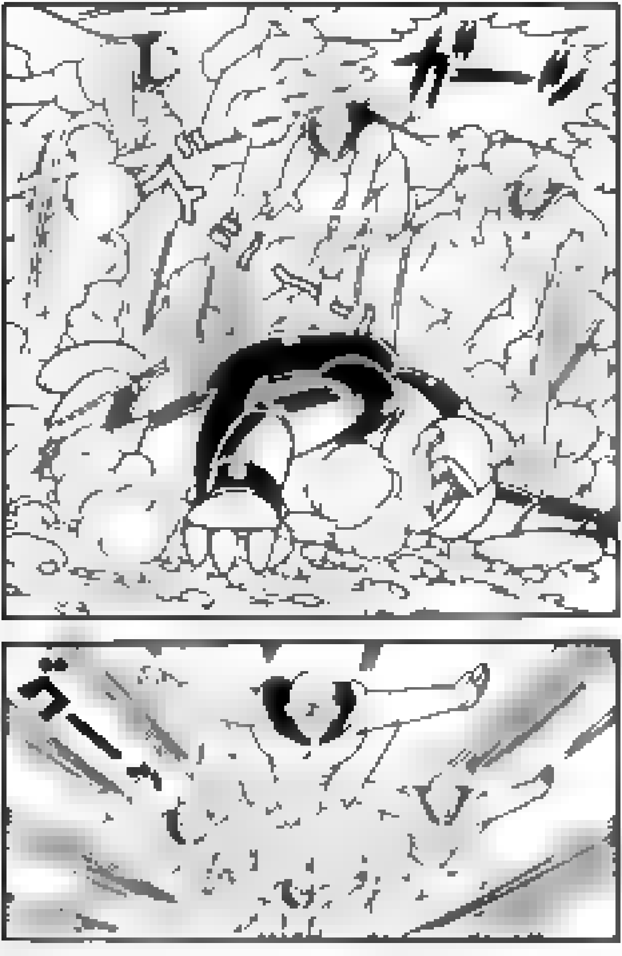
軍曹 司令部から 通信です
なんだ
鉄人が 空を飛んで
さらわれたんだ そうです
鉄人が 連れさら れたぞ
あっ
ロボットよ
よし 戦車隊 横穴から 出るよう 伝えろ
はっ
もし すると

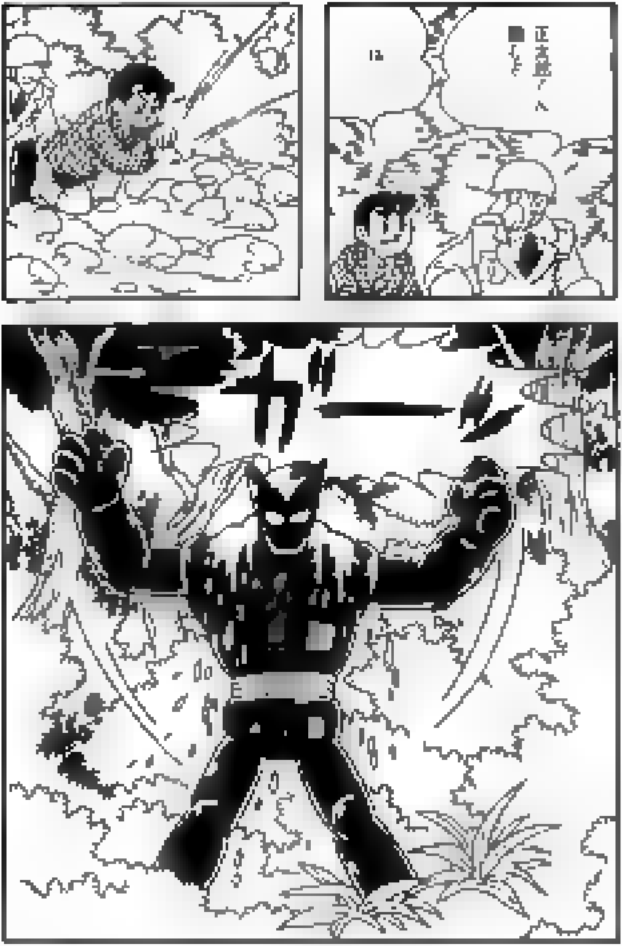
それと
加えるんだ
その
ガ

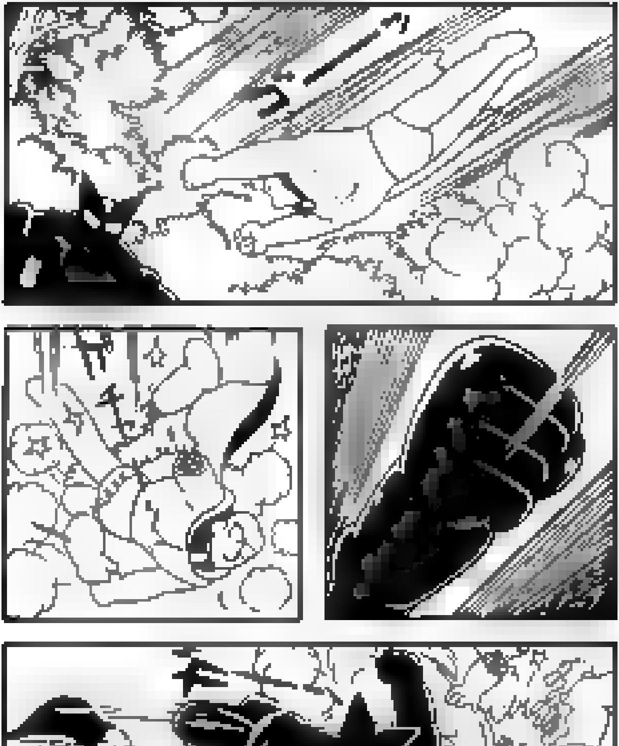
攻撃用意！
うむ

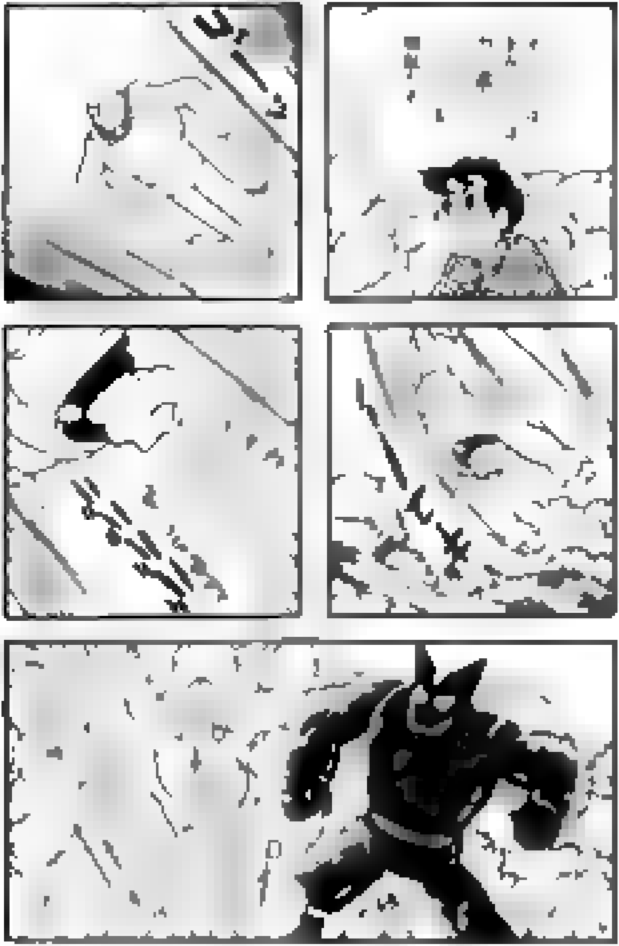




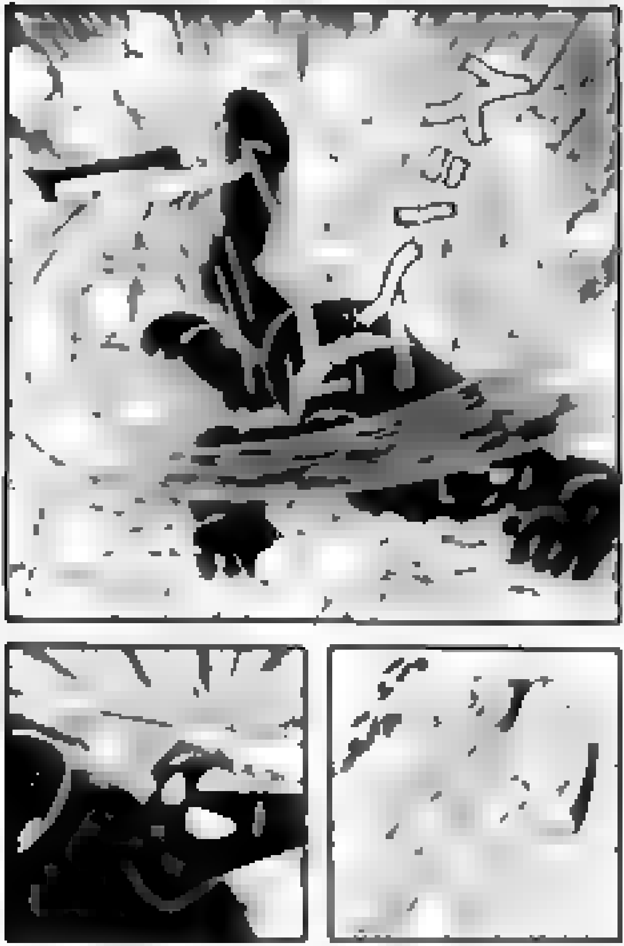


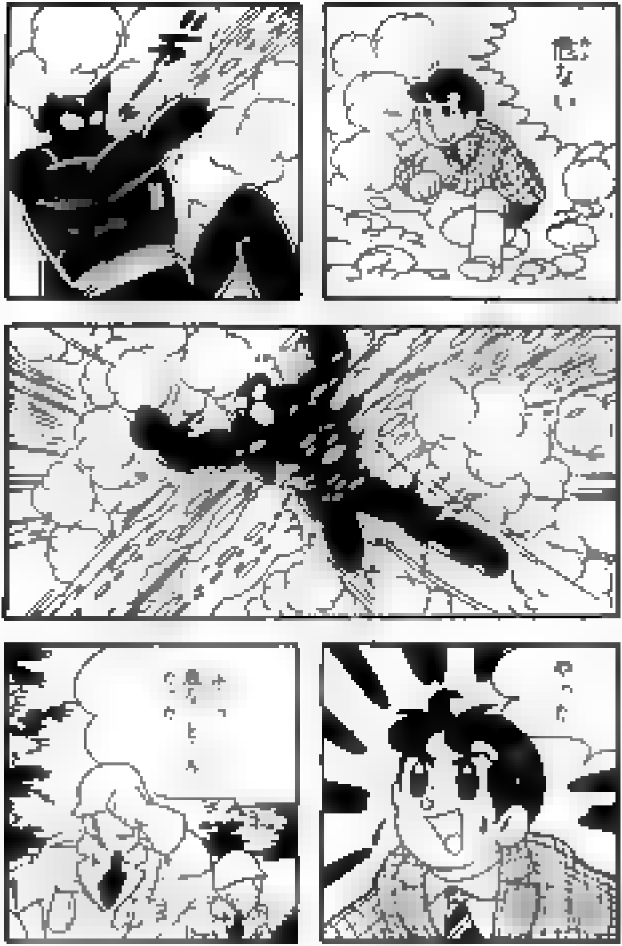

正太郎くん
は
ドガーッ



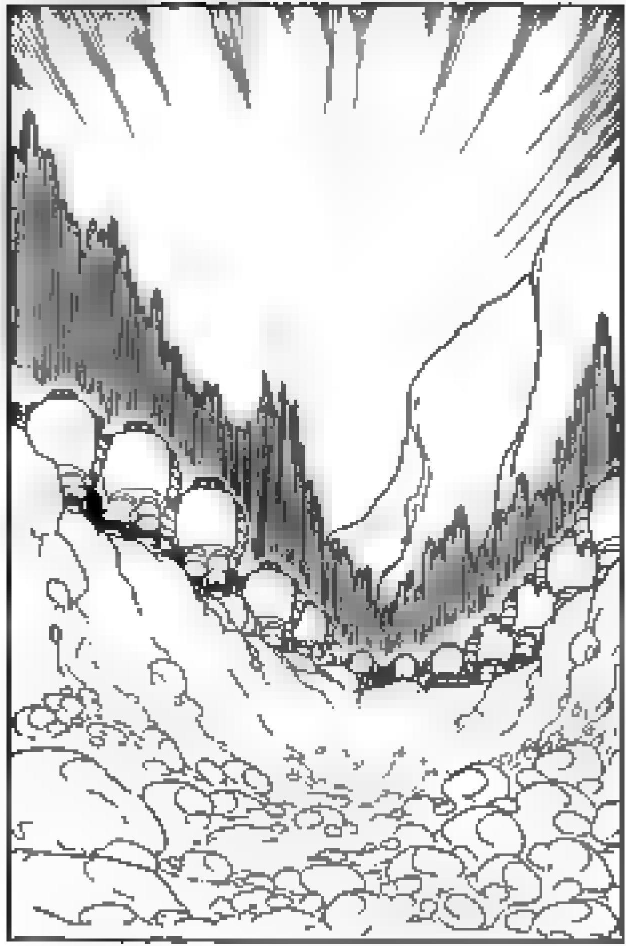


ギーーッ

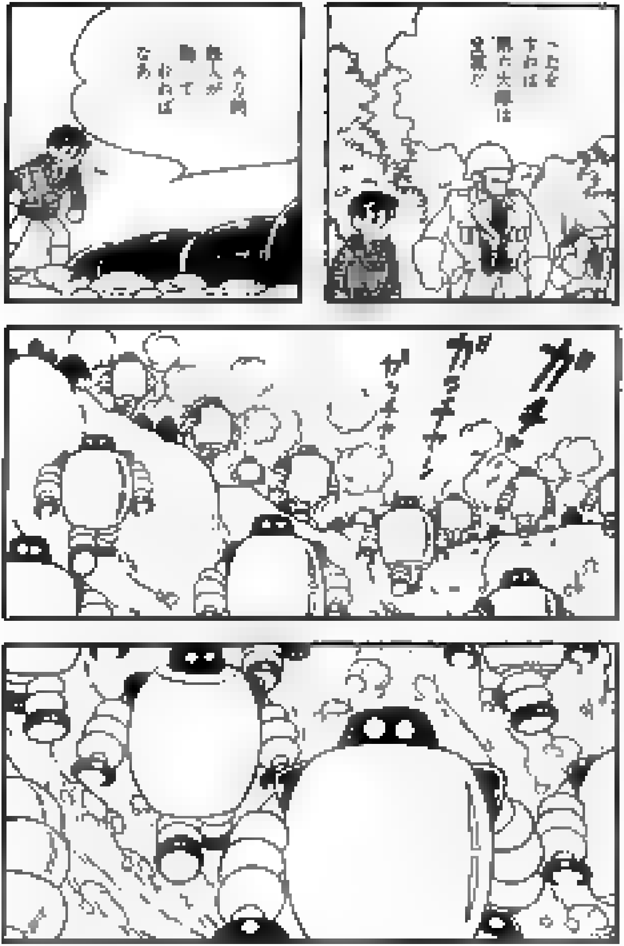



危ない
やった

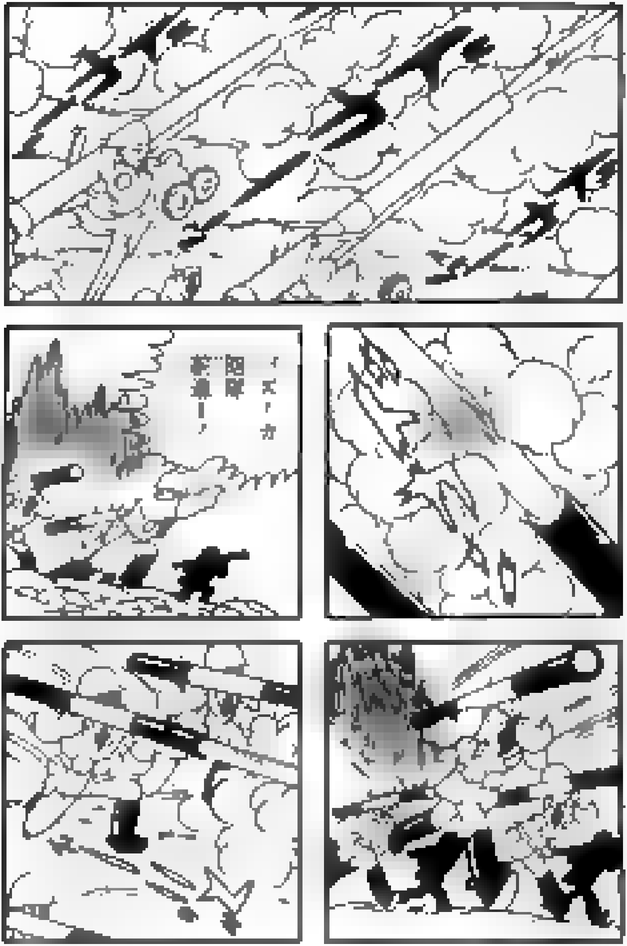
ロボットは
能力をもってるな
しかし ロビーは どうして ロボットの 味方を しようとも しないんだろう
ロボットは 能力が すぐれてても 感情が ないから 何とも ならんだろう
隊長
!

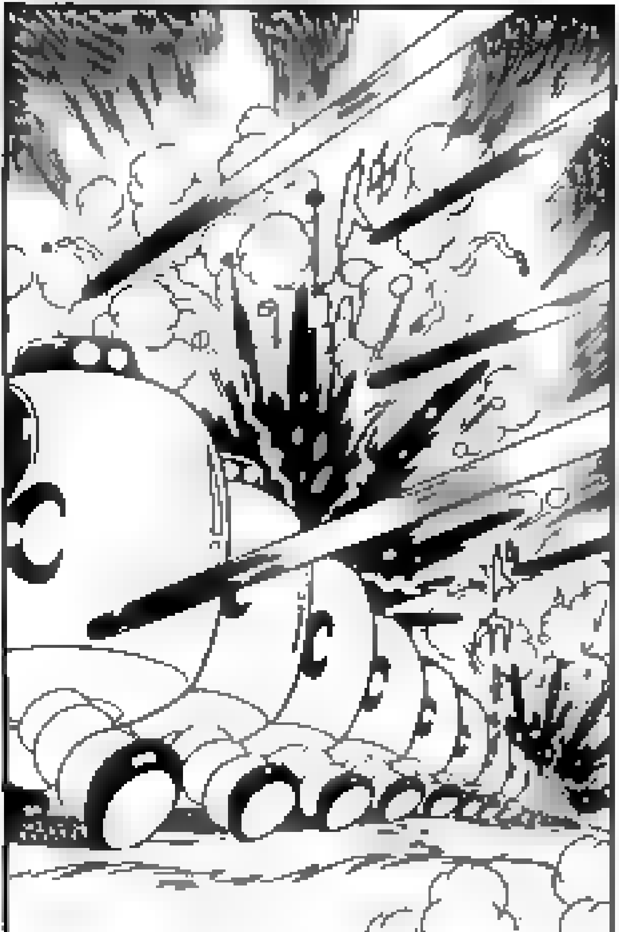


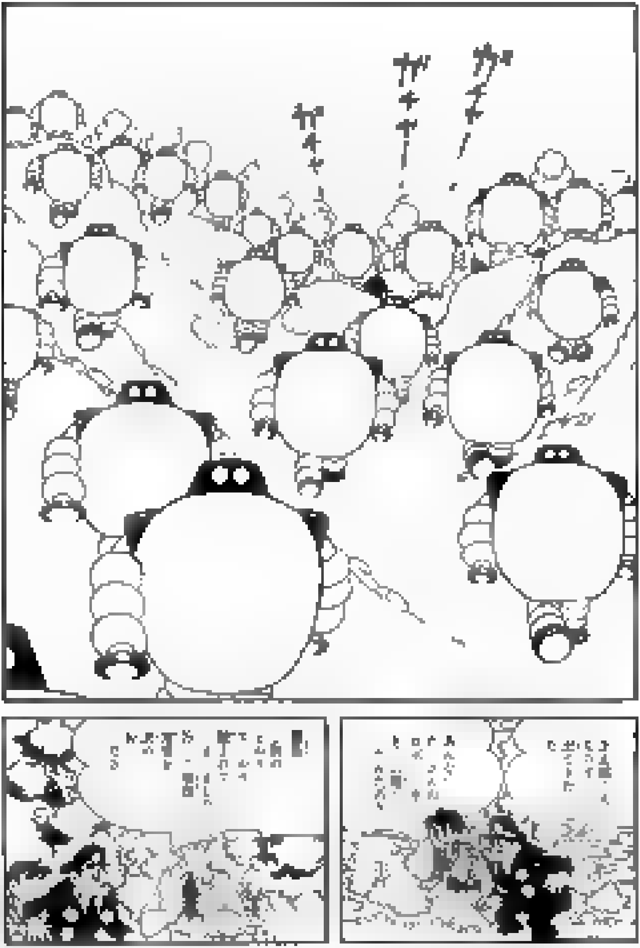
あっ
あっ
ロボットの
すぐ
するんだ
はっ
もしもし
こちらは
ロビーの
そうか
ロビーのやつ
正太郎くん
こうなれば
ただひとつ
は

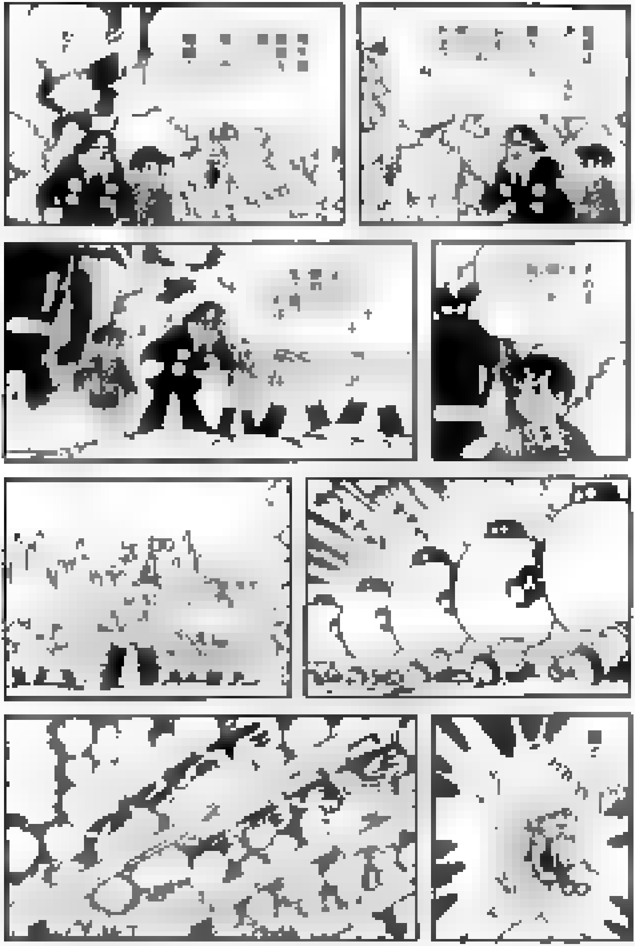


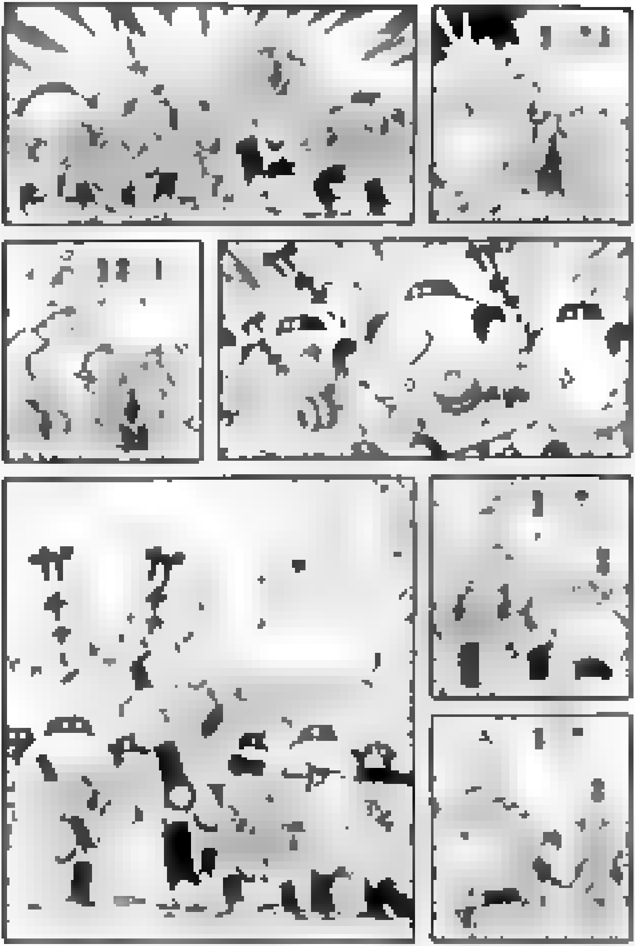
はっ
てっ


イス、カ
陸隊…
着弾！

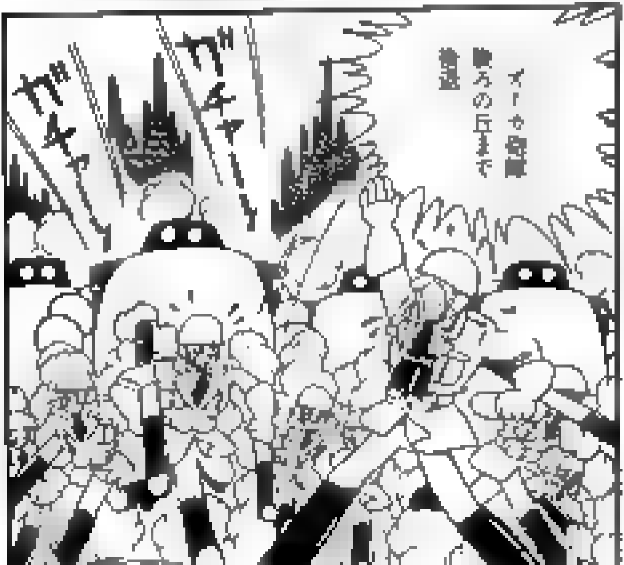


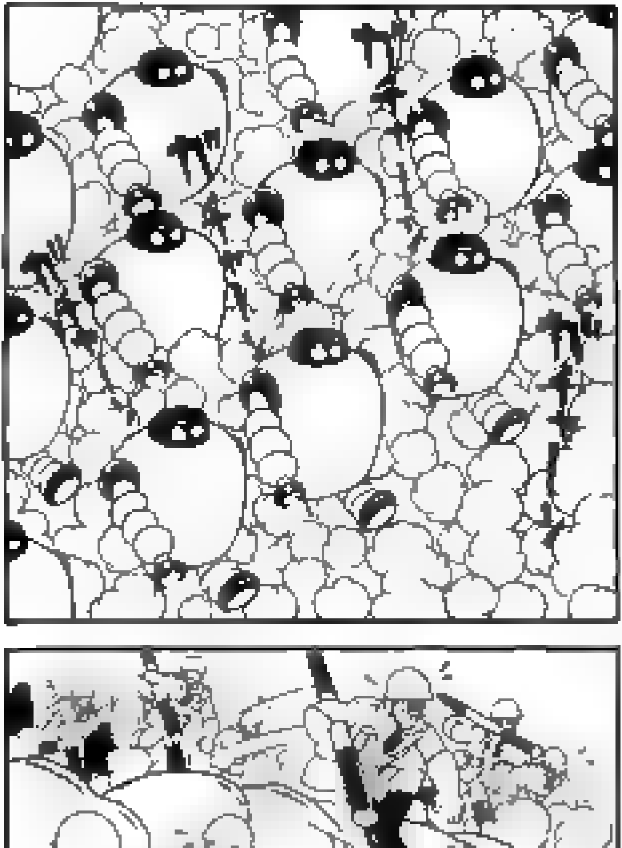

ガチャ!
ガチャ!
ガチャ



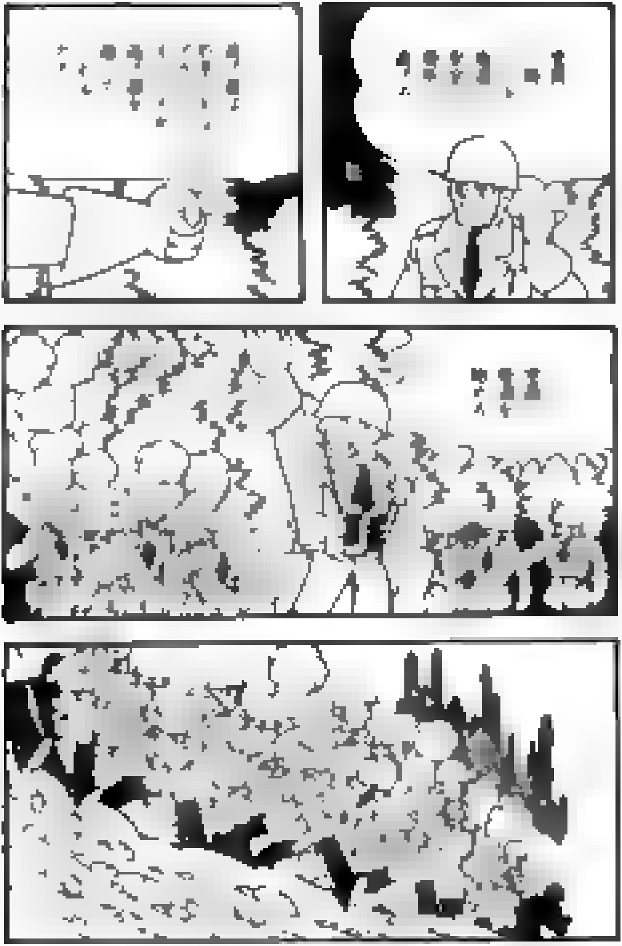


オックスのかつやく

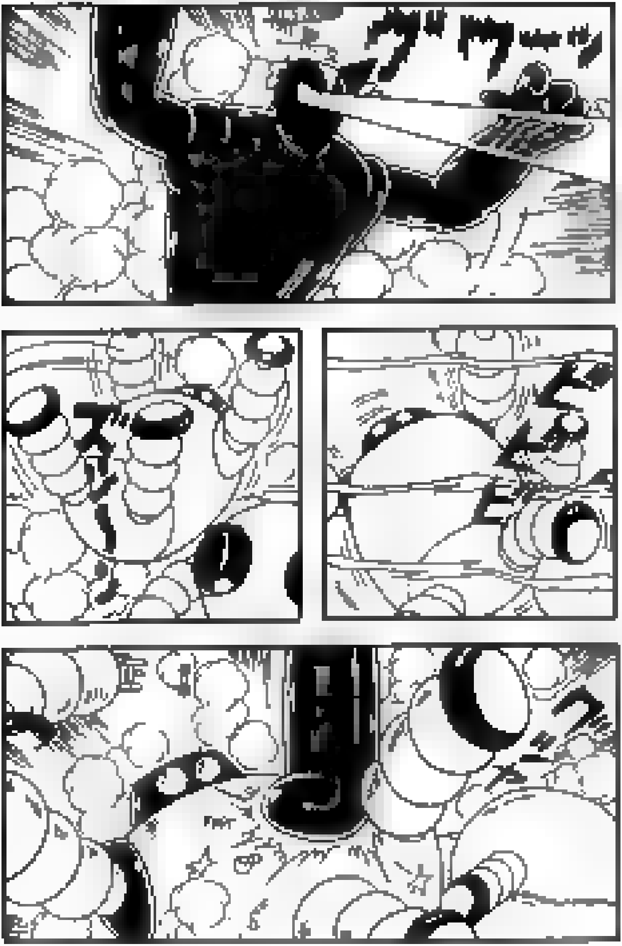


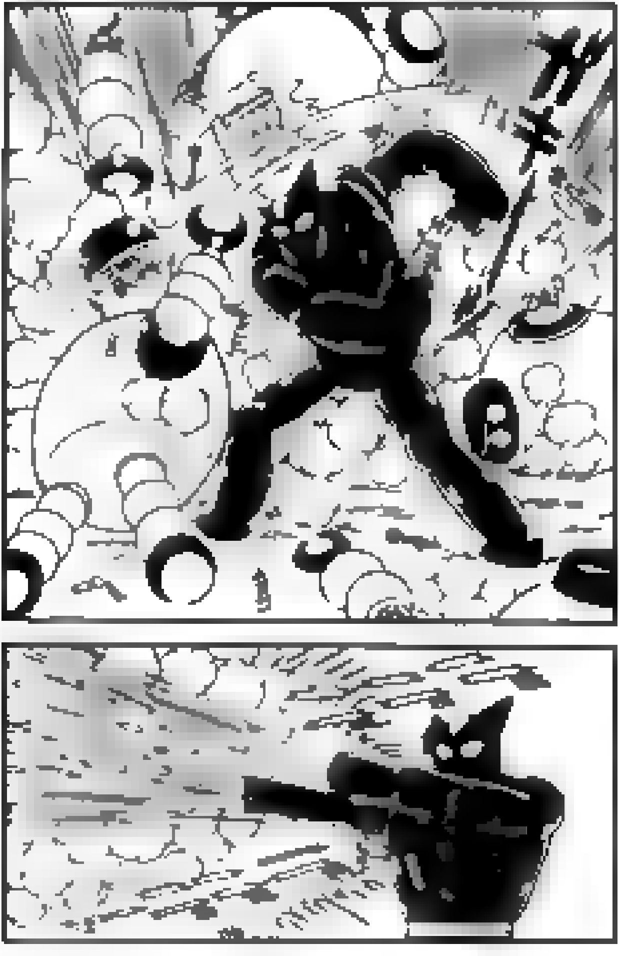


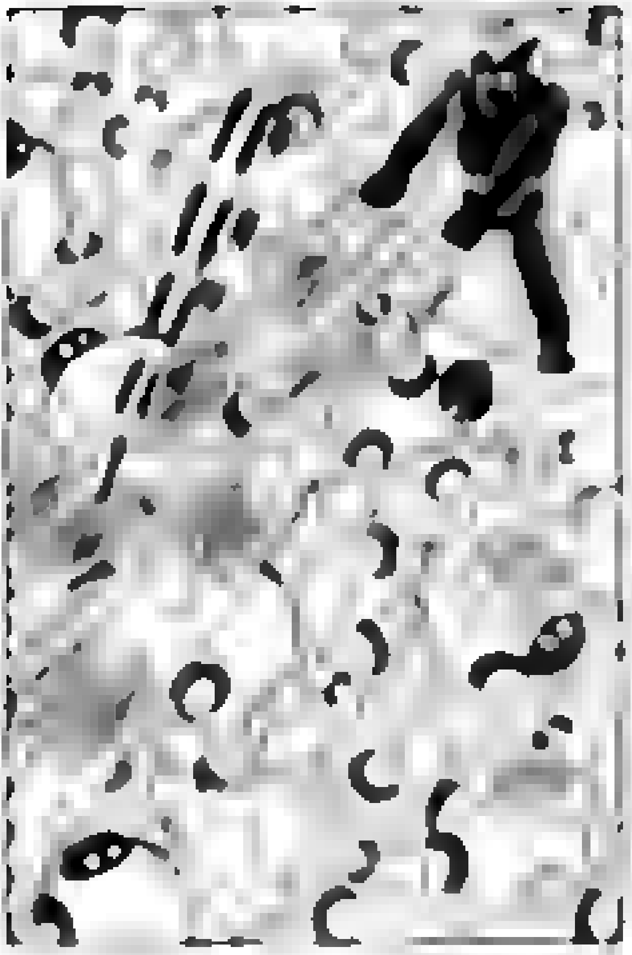
ちくしょう
はっ
よし

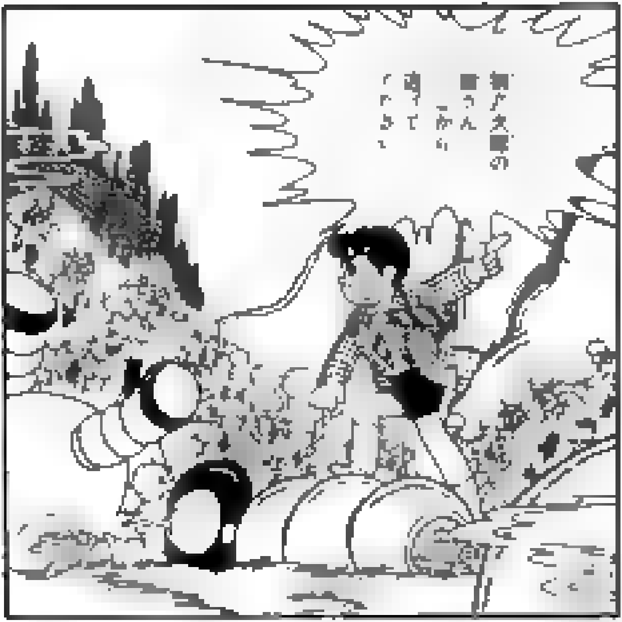


む―　第六太陽が建造を始めた
オックス　第六太陽の建造の邪魔をするヤツはかまわんからやっつけろ

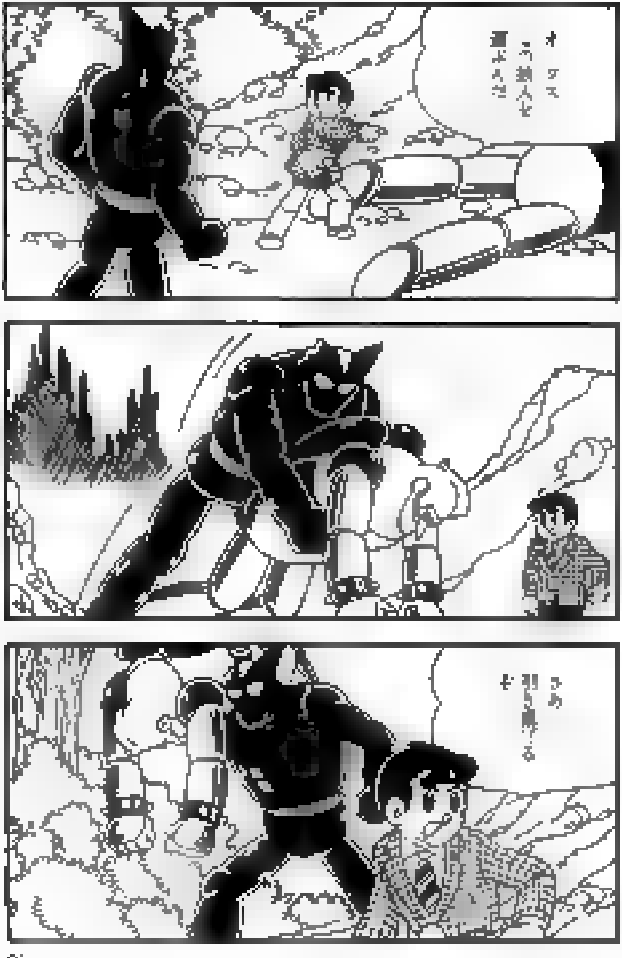


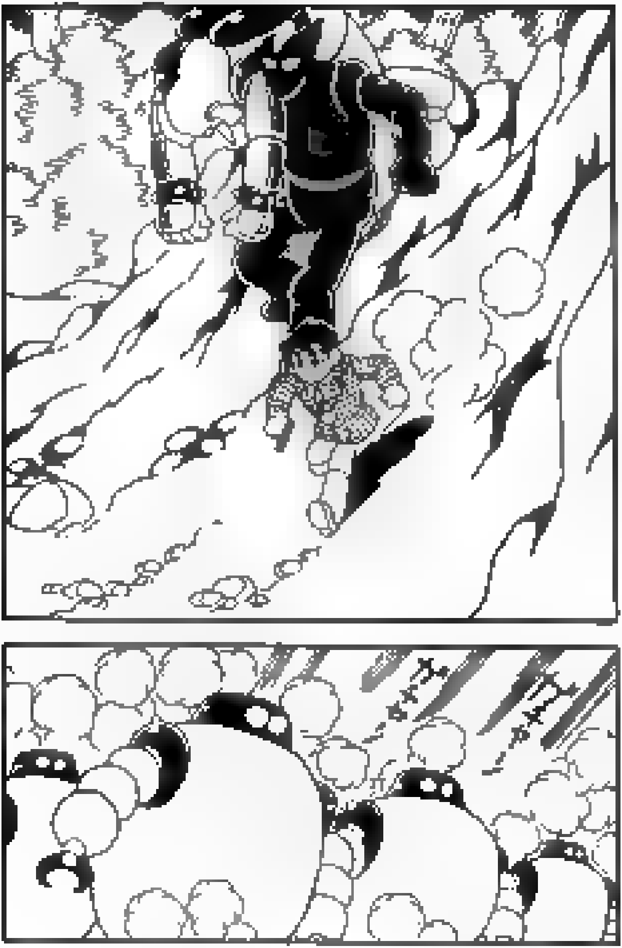




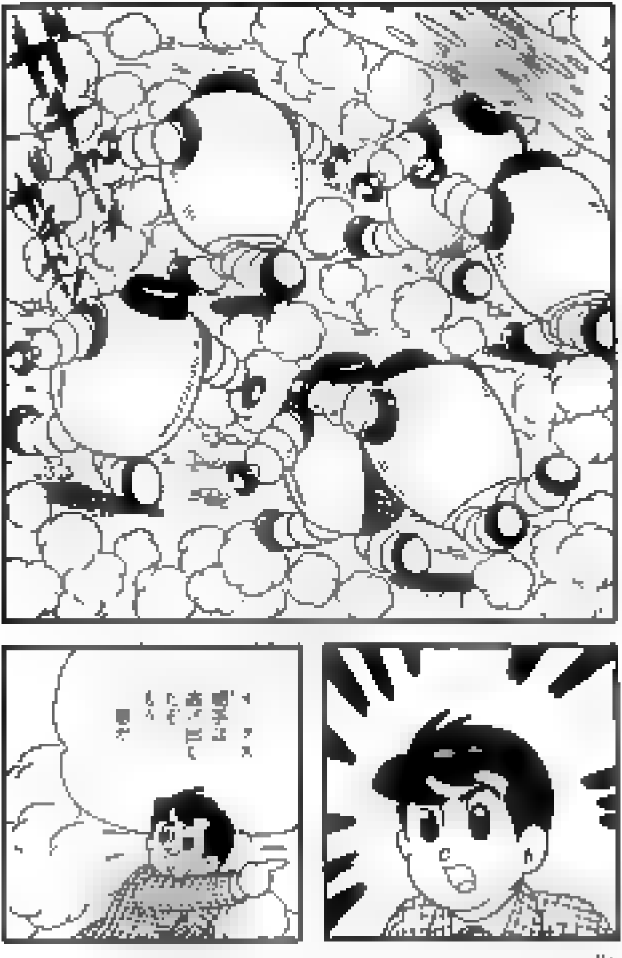


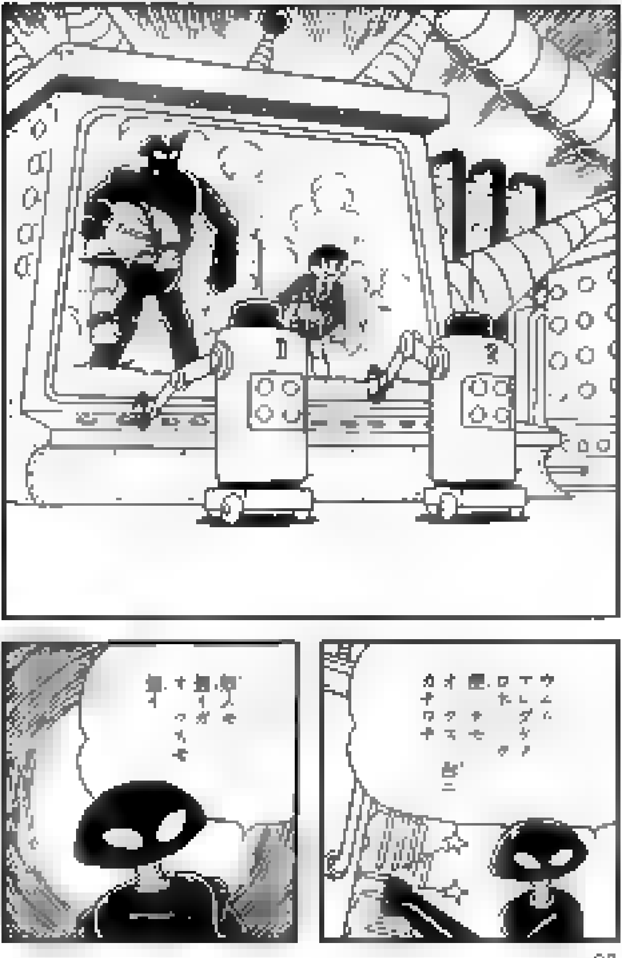
正太郎くん
さあ みんなも
引き揚げる
長居は
無用だ
僕は
まだ
ちょっと
用があるんです
鉄人を
連れて
かなけ
りゃ

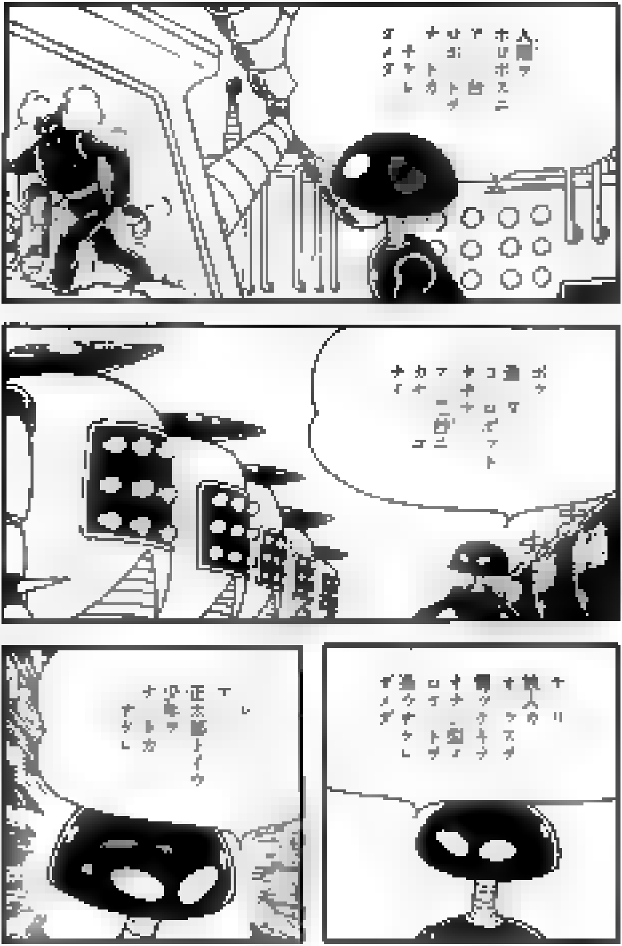

オクス
この鉄人を
運ぶんだ
さあ
引っ張る
ぞ



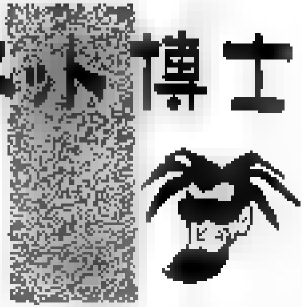
お前!たちの
ような
ロボットでは
かなうものか







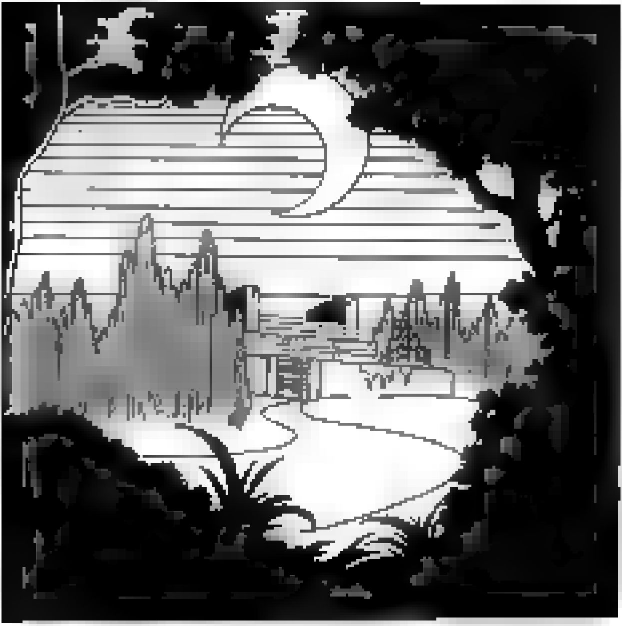
ドラグネット博士

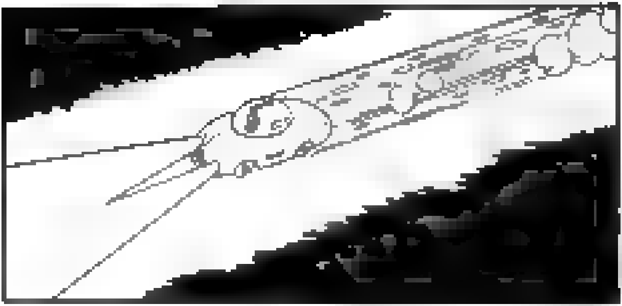


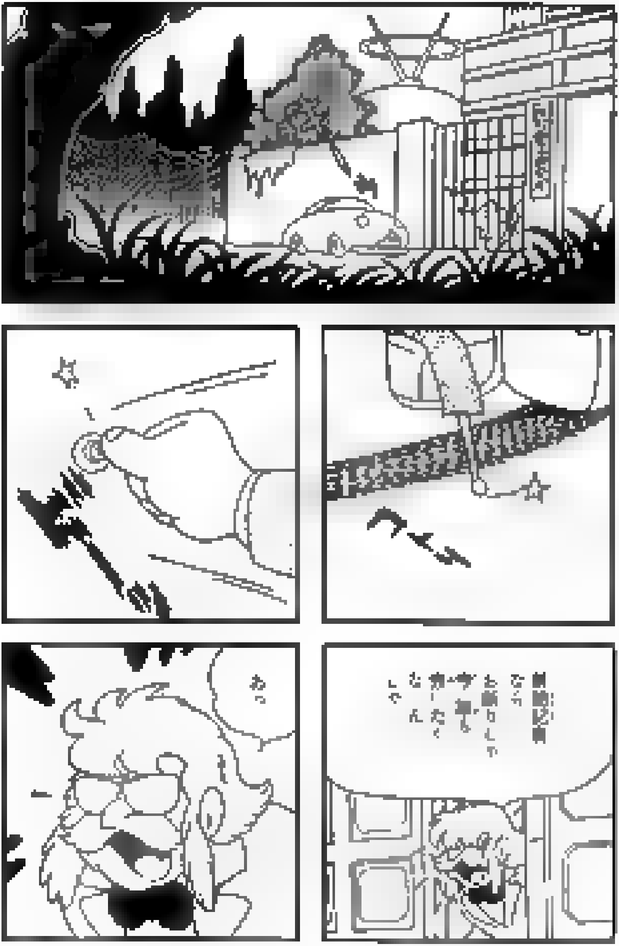
ふむ ロビは どうして 殺人を犯す つもりに なったんだろう
殺人を犯って それを ネガの して 殺人みたいな ロボ を たくさん 造ろうと したんです
うしし 大変な ことを考え 始めたな
ふむ 殺人罪を 犯すイ なら ト のは 不可能 だった 中の 事
よーし あと三回 待って りたまえ 何とか 新回路を 造り あげるよ

それまでは
うむ

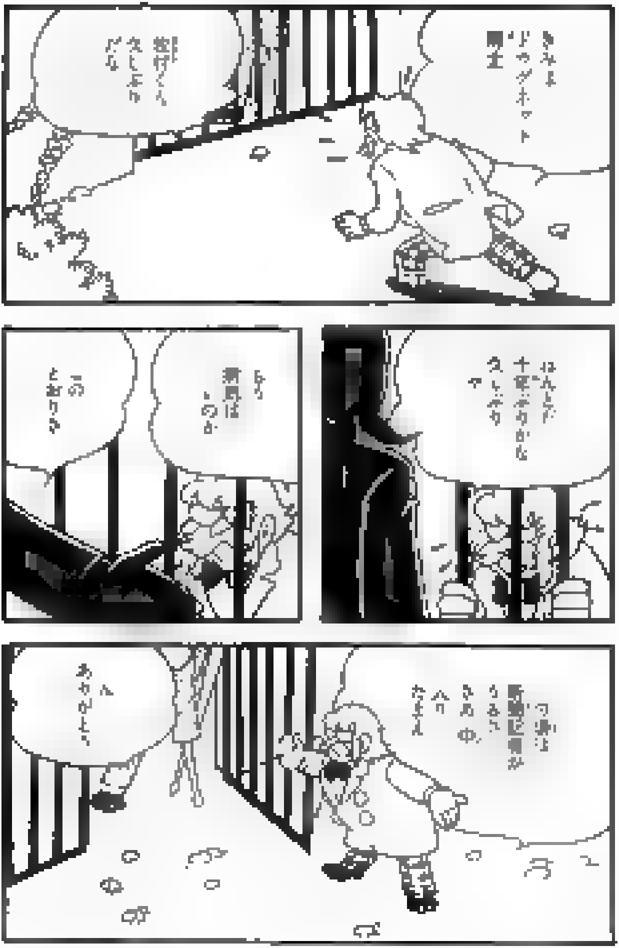
正太郎くん
んだよ
ブーッ







おっ


もう病院はいいの
このとおりさ

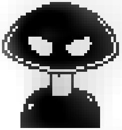
新聞記者が
うろつくと
いうのは
やはり事件の
ことですね
ロビーのことを知ってるのか
新聞で読んだ
きみは相変わらずロボットを研究してるのか
うむ

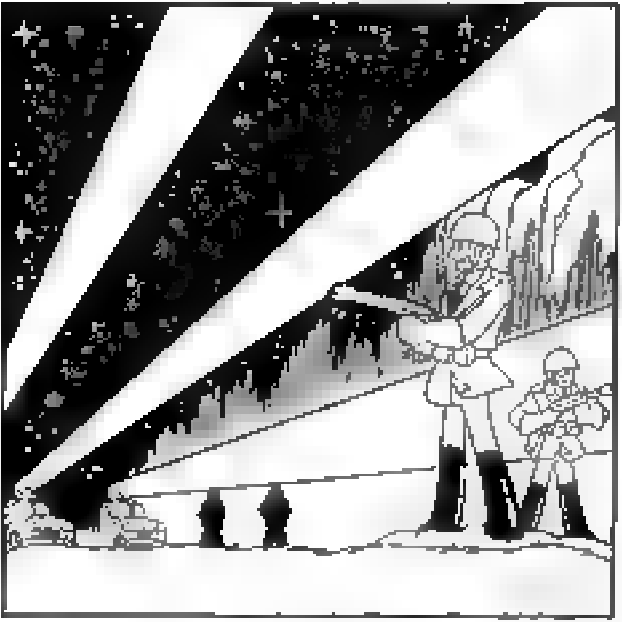
わしは
もう研究を
やめた
世間の
人たちに
しかし
ふん
あんなもの

生まれるなんて
わしは一生を
あんな研究に
あの研究を
ようし
よそう

あウか—
わしの
気持ちが
わかって
くれるか
しかし
わしは
きんの作った
電子頭脳を
あきらめや
わしの
研究をさ
続けてみる
!

やってきたロビー

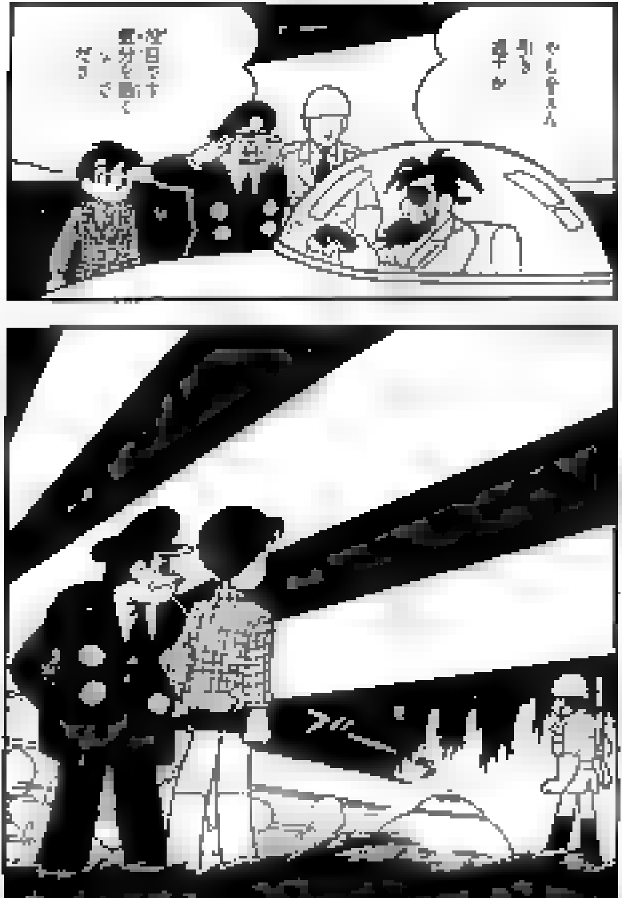




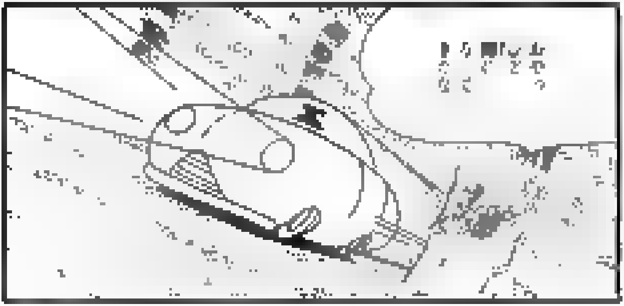
うむ
そう うまく いくかな
おや

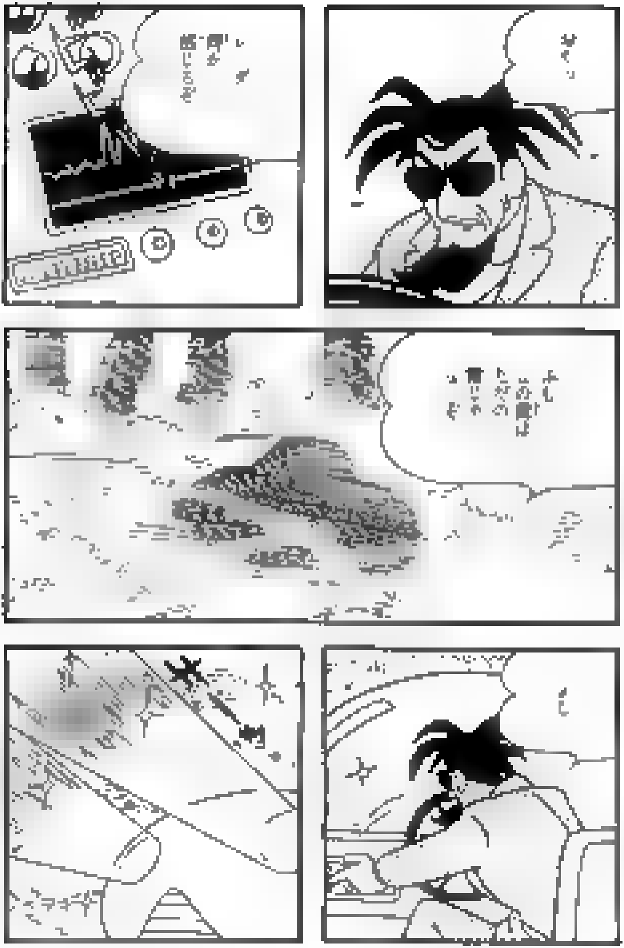
うむ
とまれ

わたしもロボ研究者があのにちの電子頭脳を調べたんだ
生命を預かる警察としてはこを出しするわけにはいきません
ロボット研究者でもひと近づくのは危険ですよ
どうしてもたのむのよね
だめです許可するわけにはいきません



ふむ
まとも
けど
食えそう
な
よし





あっ
ロボットだ!
ロボットを

ガチャ
カチャ

よっ
今日は
なんだろう

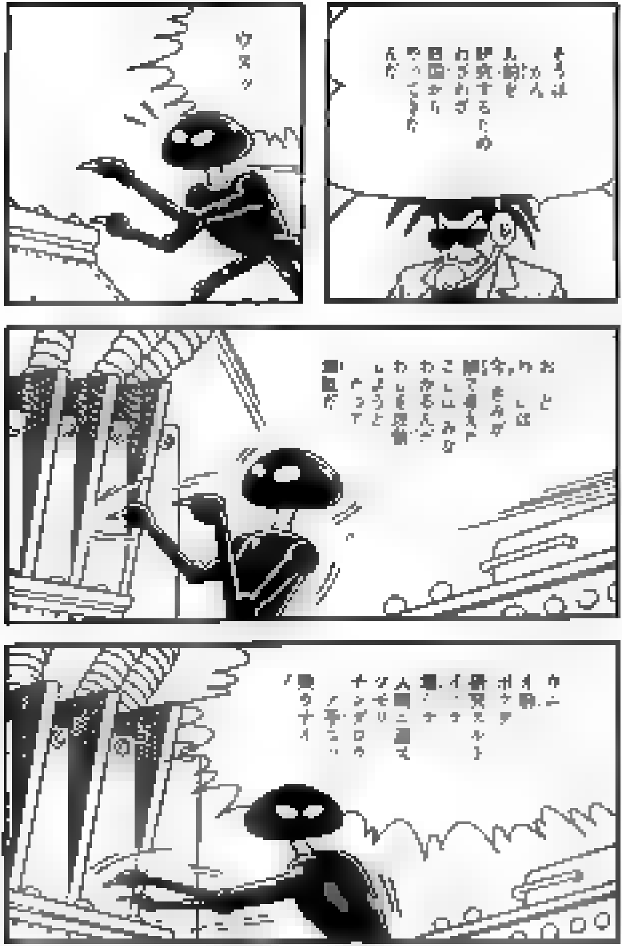
うわっ

だれだ
あなたは どうやって

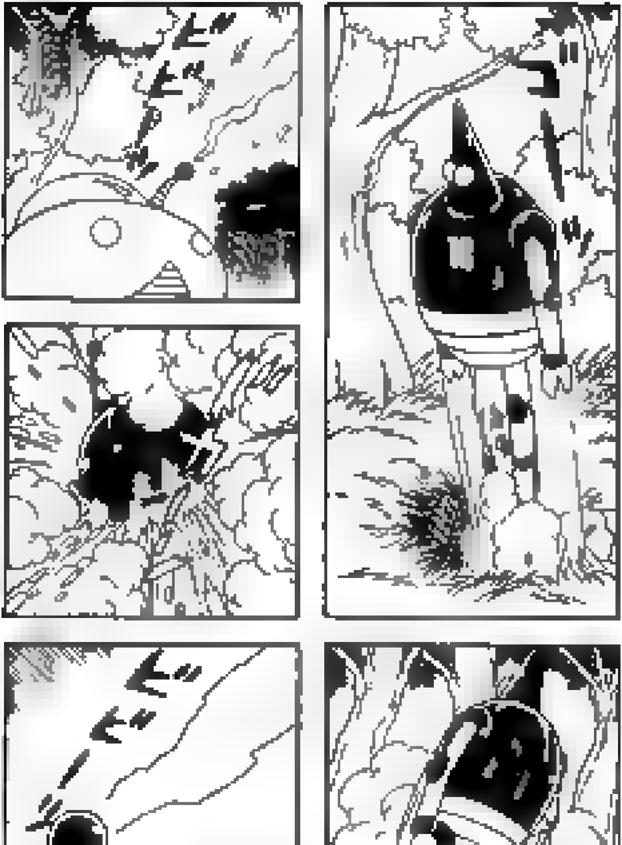
自白書を
ロボットを
ロボットを
利用して

返事をしろ
?
わしは

ドクダド・博士ガ
ボク
何用ダ
お前と
会イ
おれの
電子頭脳を
人間
ナンカニ
用ナイ
そうだよ
その
ロボットの

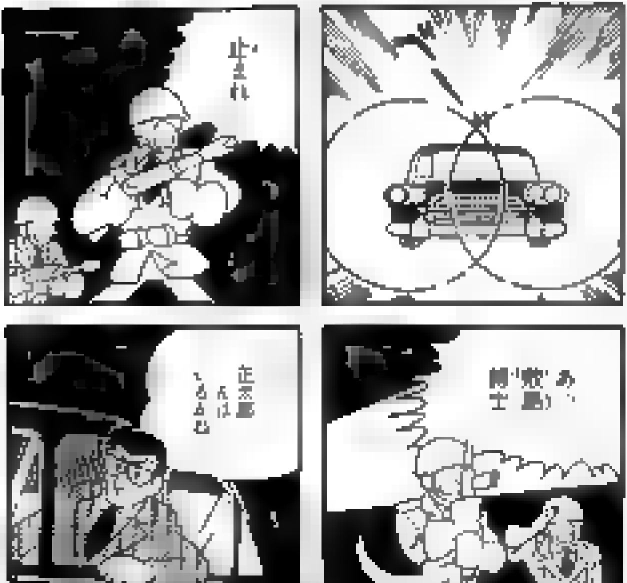

ウヌッ
おっと

わしの力を
少し
見せて
ゴーッ



ロビィ、

敵か味方か



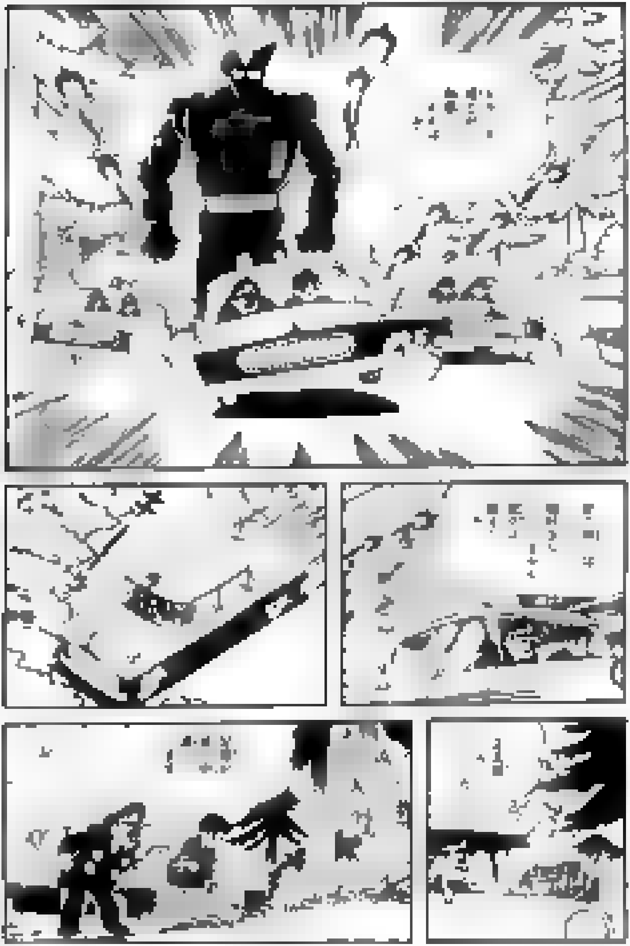
博士 何か
ああ 正太郎くん
実は ダビデの ロボットに たんだ
えっ
それで どうしました 方は ですか
うん
ドラダホット 博士 男が てくれたんだ
ドラダ ホット 博士

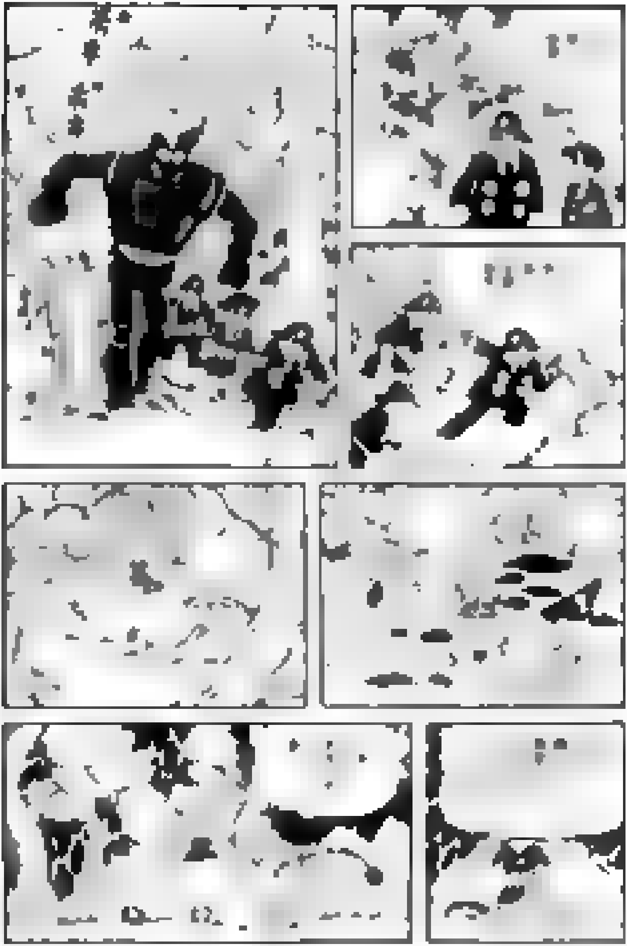
さん さっきの 男です
うむ
あれ ふたりとも その男を 知ってる のかね
え
ええ さっき ロビーで 会ったんだよ って ここへ来た んですよ
前は それから もう一度は わしの家を 訪ねた ロボットの 話をつくって ったんだ ロビーで 会ったんだ ってんな
えっ

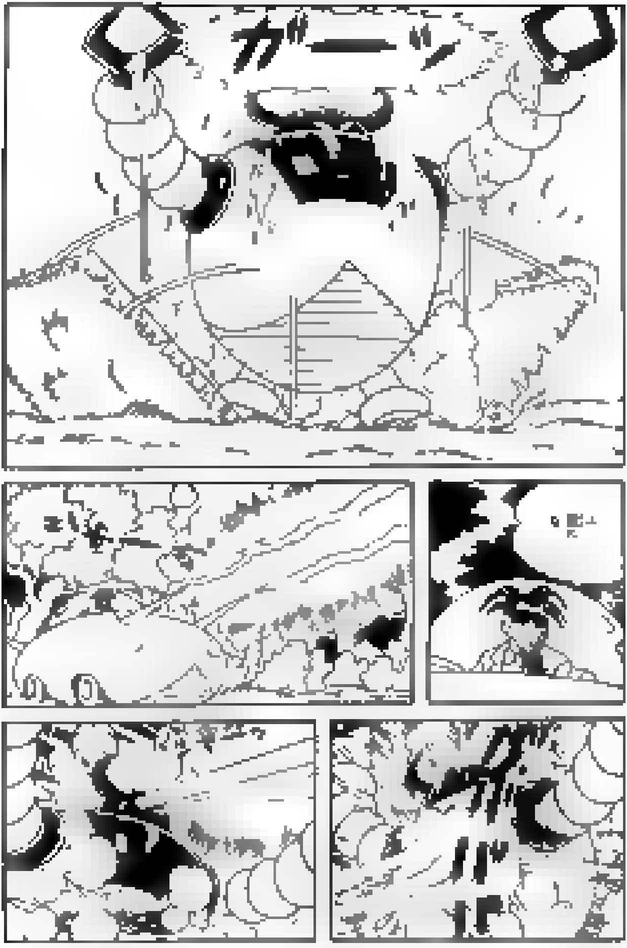
みすみす殺されに行くようなものじゃないか
そうなんだ
よし現場へ行ってみよう
ロボットの
かもしれん

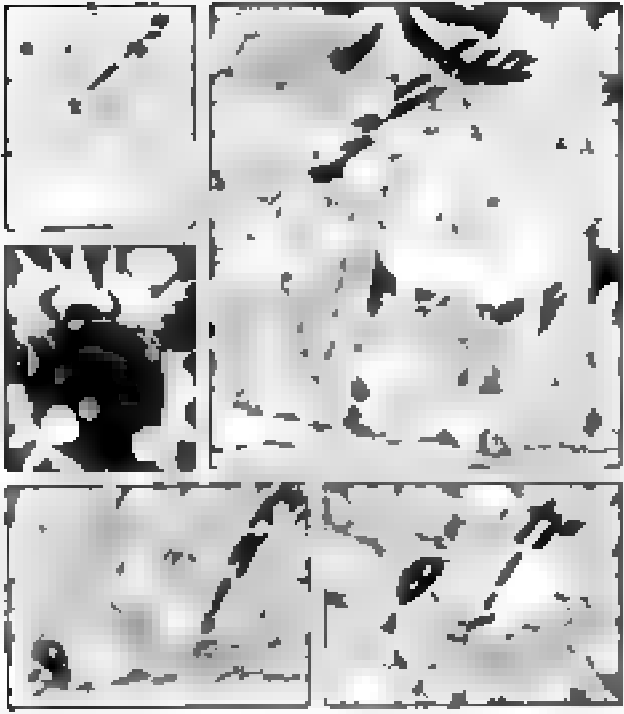
うわっ 部屋に 土足で 入ってきてる んだな
いったい どこから やってきた んだろう
ロボが ここまで 来るのを感じ 鳥たち…は なのかね
警部 ロボットの 足跡が あります
うむ
よし ついて いく 別の 出入り口が あるかも しれん

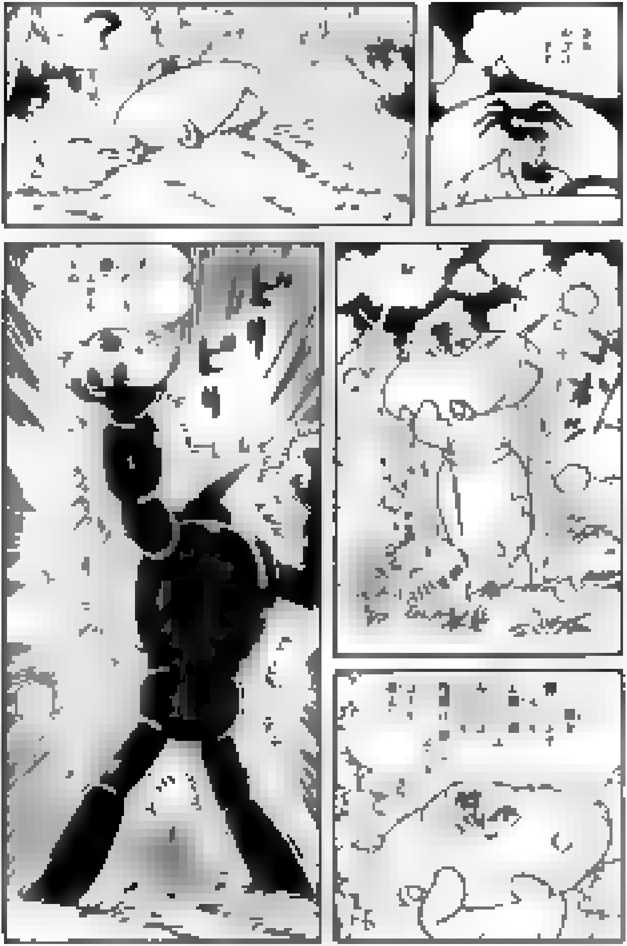
ドラクイット



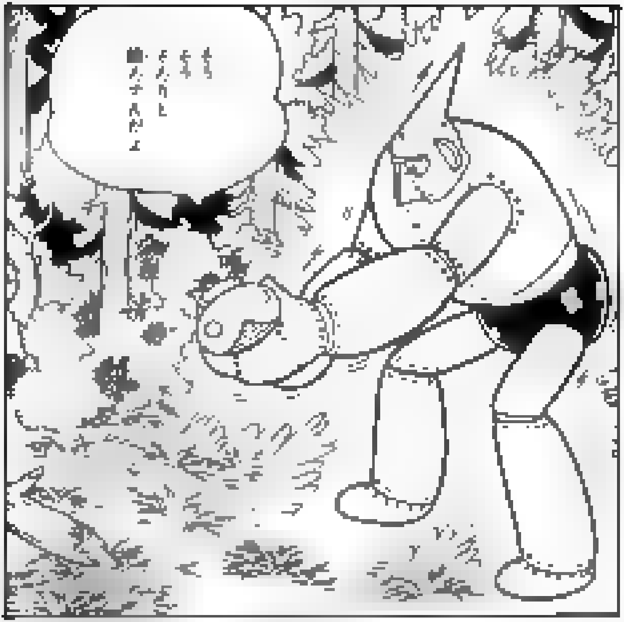


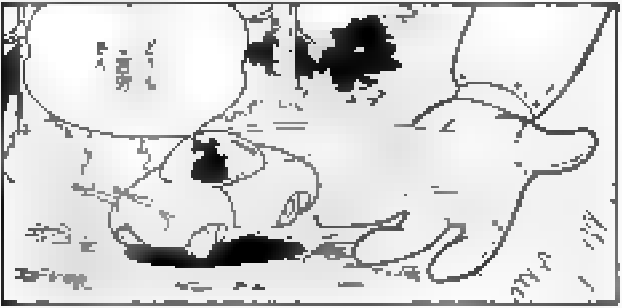

ガーッ

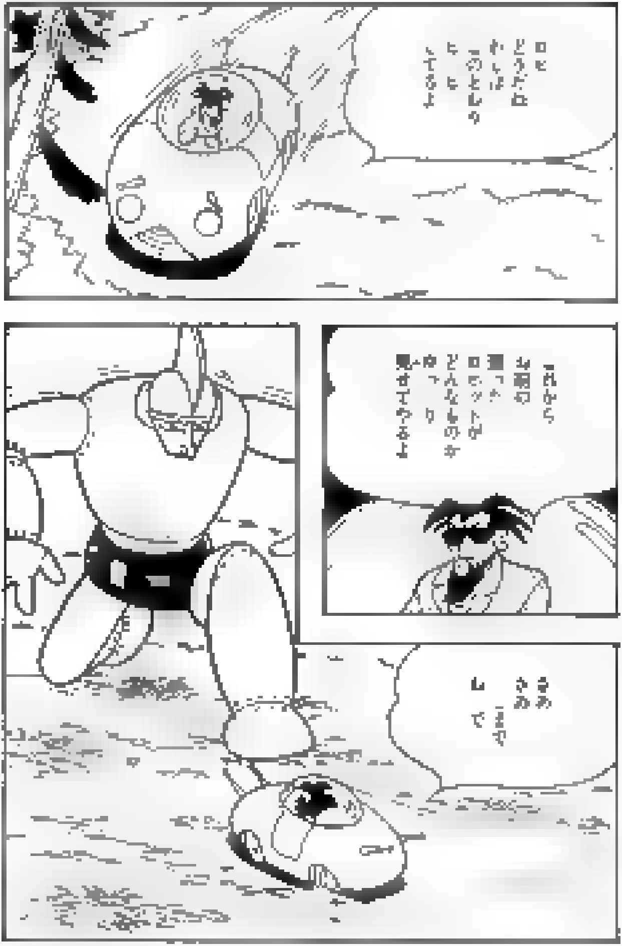




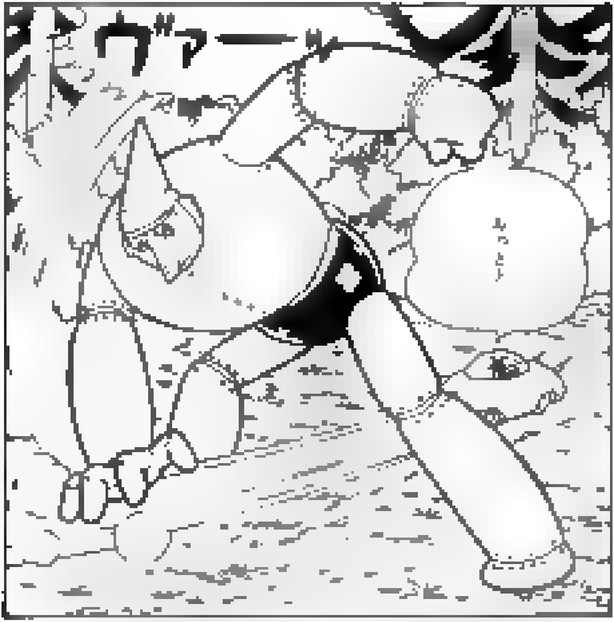
こうかん条件
そらっ これでも
勝り
つがせるかな

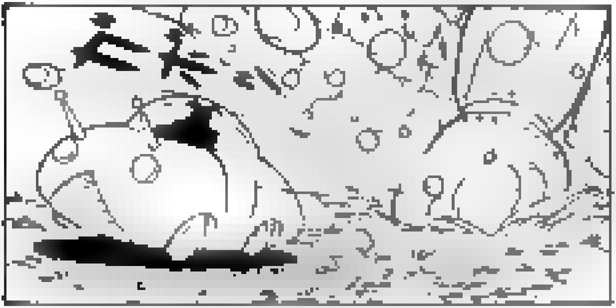


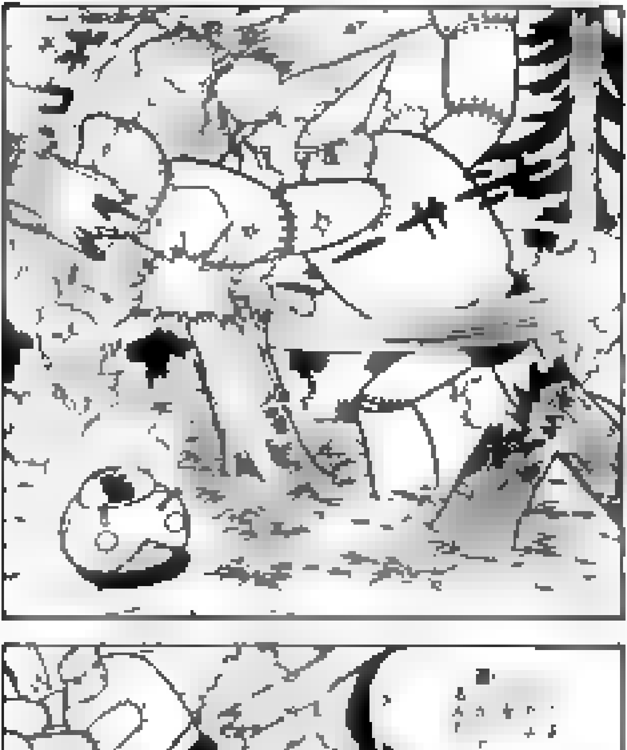


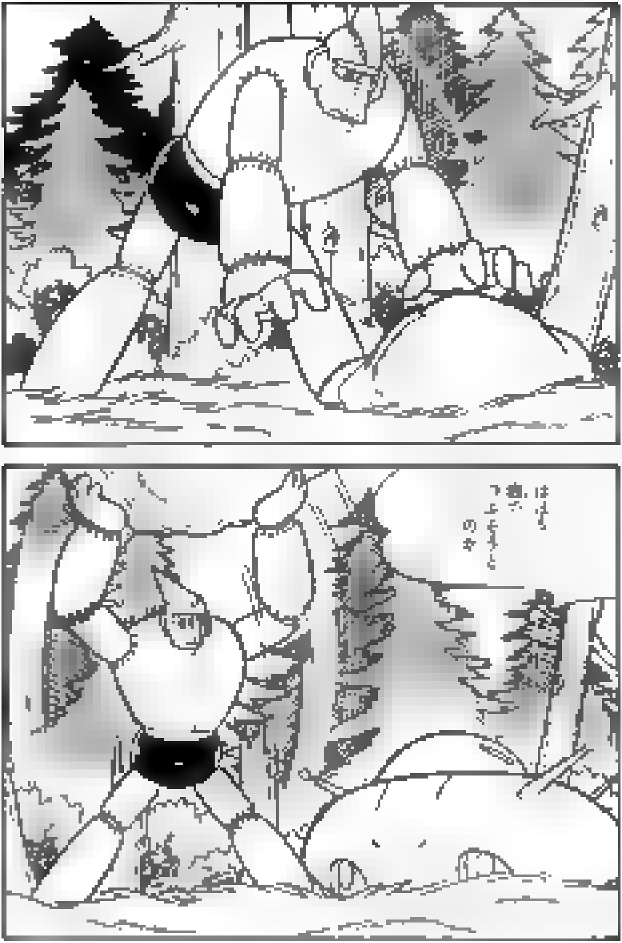


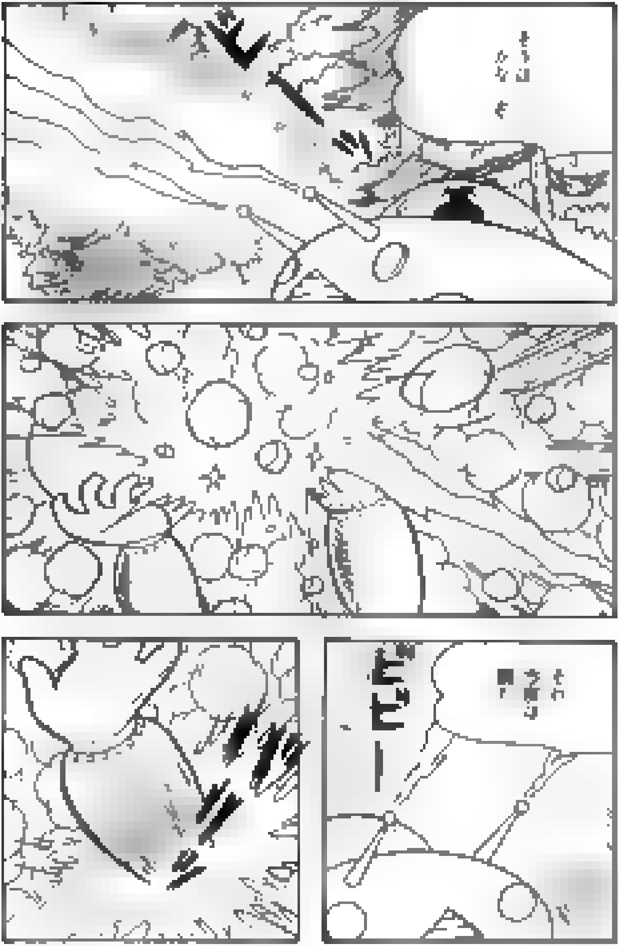
ロビ どうだね わしは このとおり ち ち しておるよ
これから お前の 作った ロボットが どんなものか ゆっくり 見せてやるよ
さあ さあ まず し で

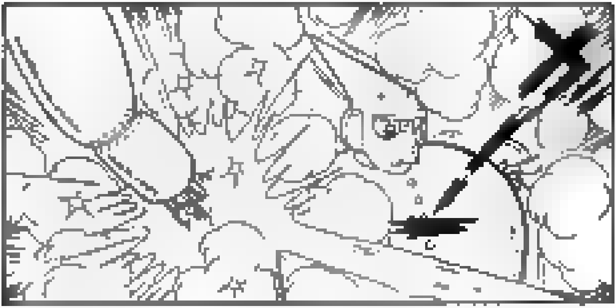

ヴァー





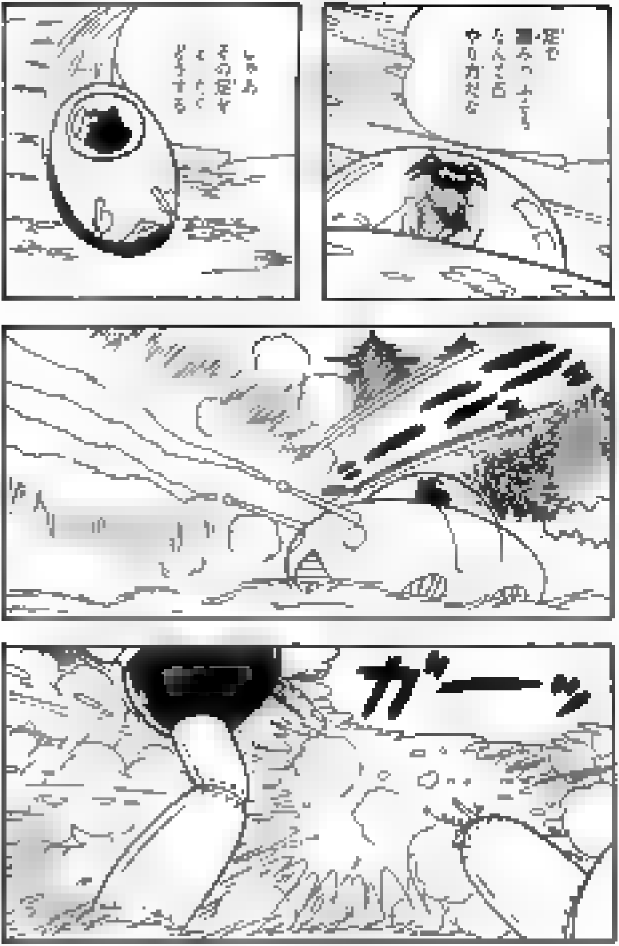



ビビー



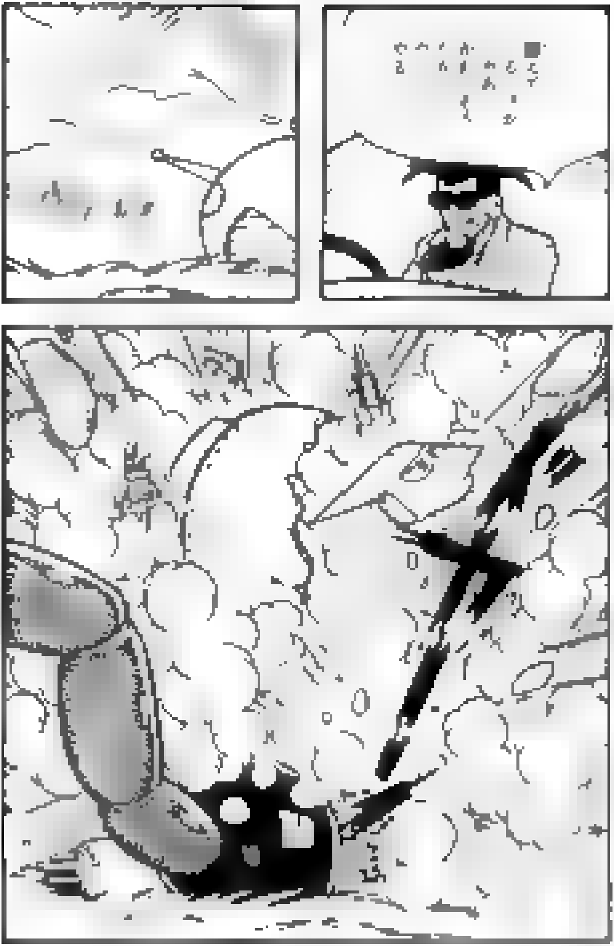
ほら
[redacted]や
これでも
[redacted]く ふ
[redacted]くんだな

ガーッ
しかし両腕をとられてどうして攻撃してくるつもりだ



足で
なんて
やり方だな
じゃあ
その足を
くだく
どうする
ガーッ

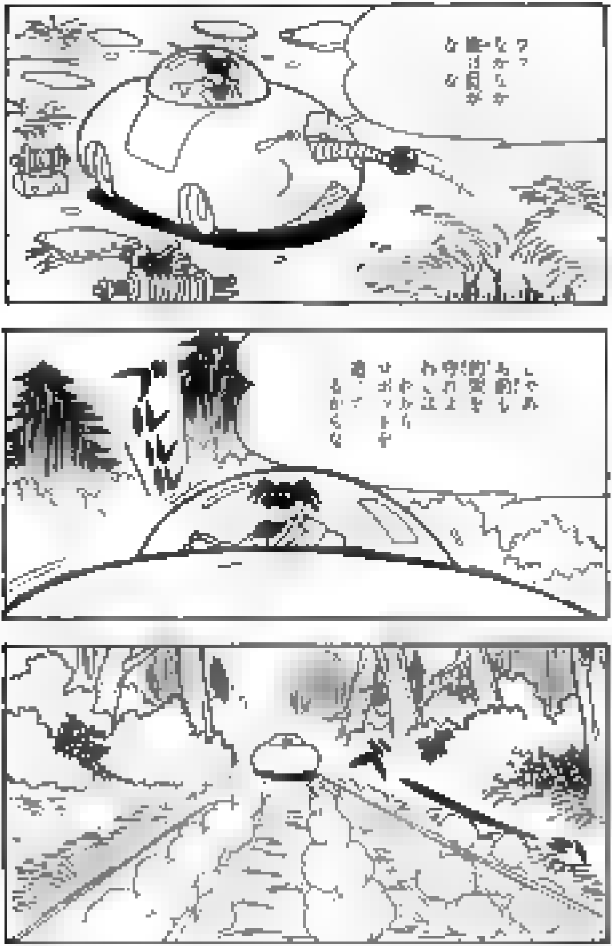
さあ
ダルマ
にーウよ
貴様は
どうする
つもりか

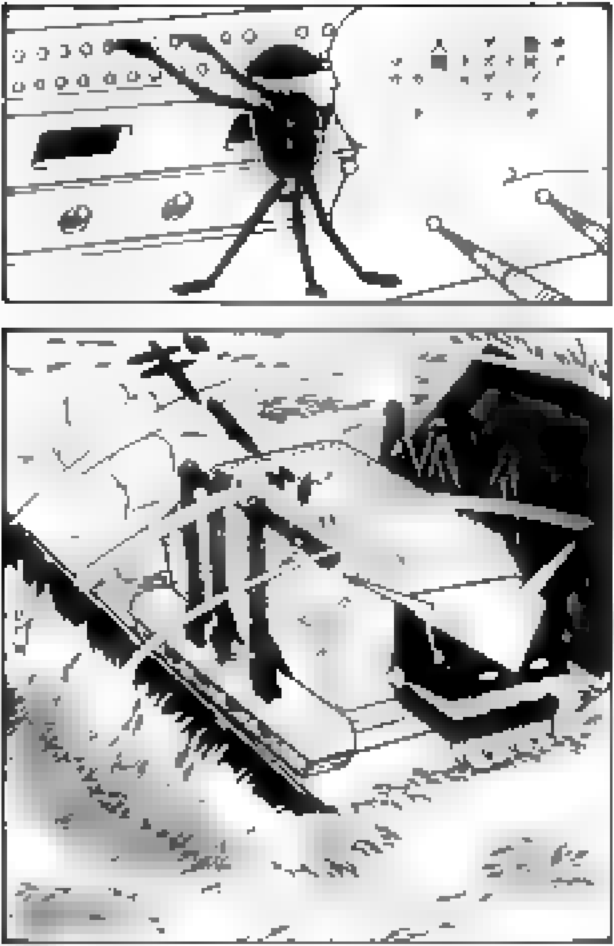


ロビ、どうだね
ウム…

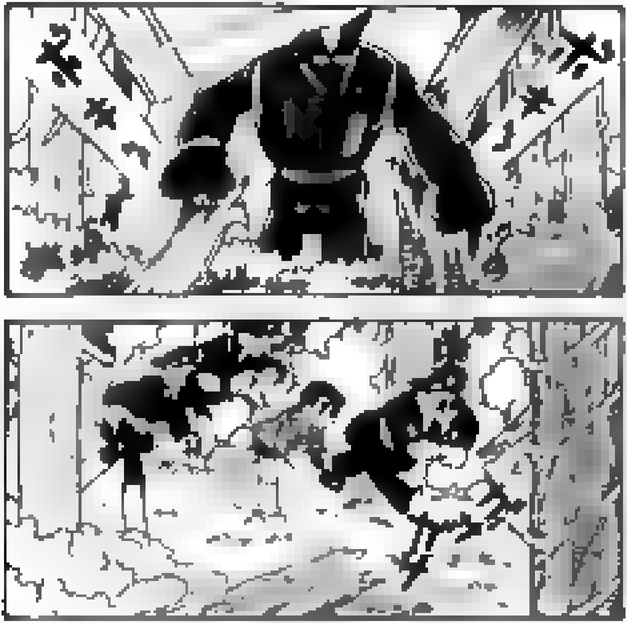
事件って
なんだ
それなら

ロボットなら
空ヲ飛ベル
ロボットを
よし
約束
しよう



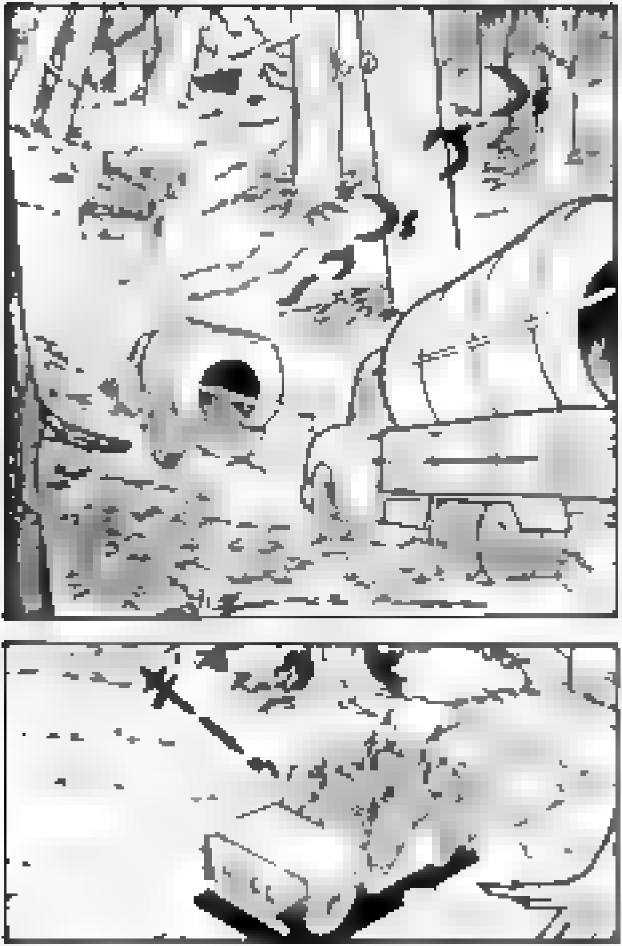


あらわれた鉄板

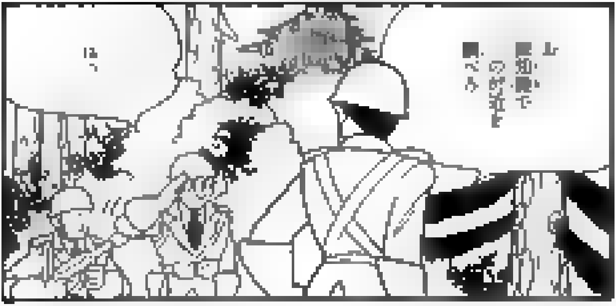


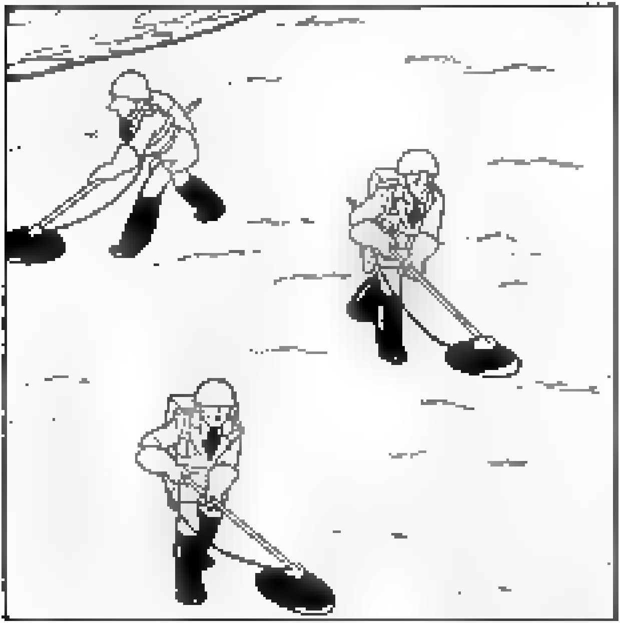
ここに足跡がありません
うむ
おや
正太郎くんよく見たまえ
あたりの雑木が刈りとられてる
ほんとだ
この木は
てる
おやっ

うむ
よし

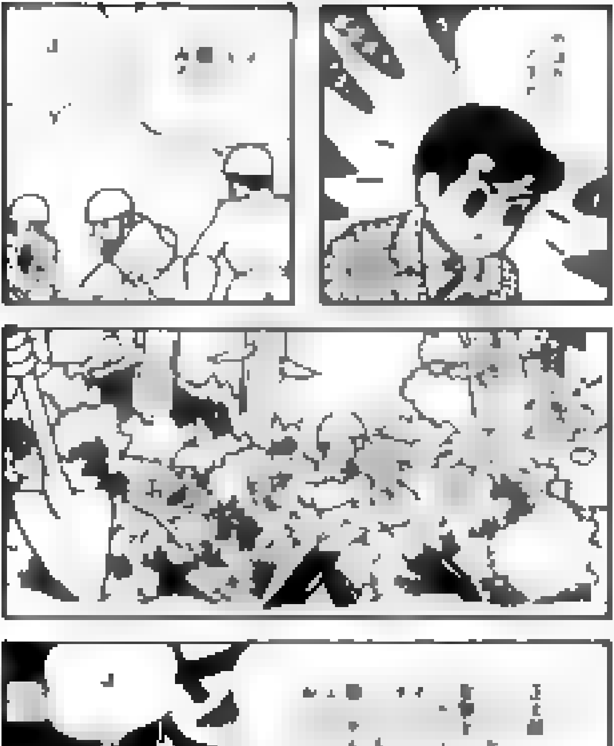


やあ 三日月さん
お互 失望でしたな
ロボットの 足跡が なくなって る
わしは どうも


よし
探知機で
この付近を
調べろ
はっ



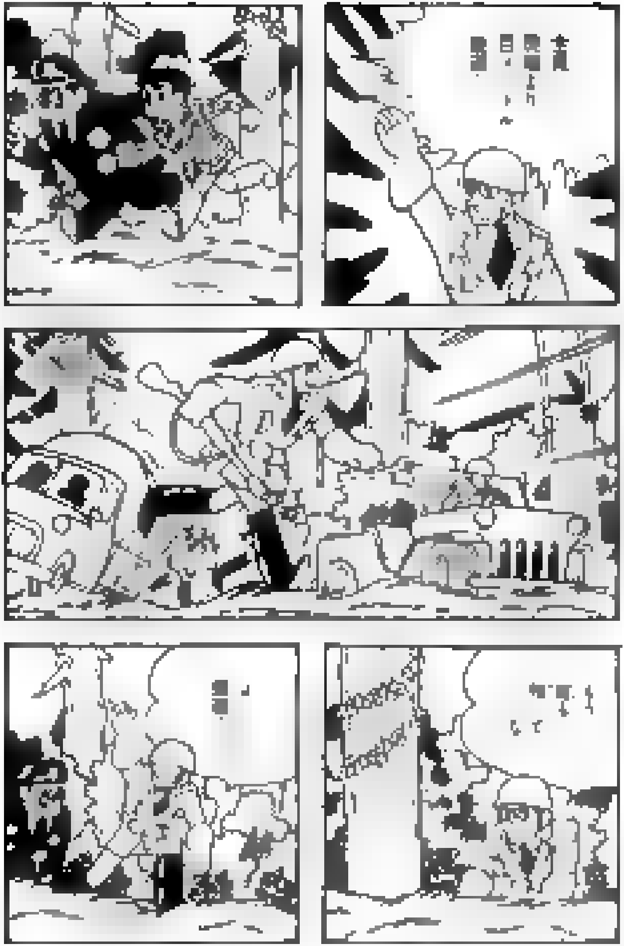
この下に
何か
あります
よし
掘って
みよう
あっ

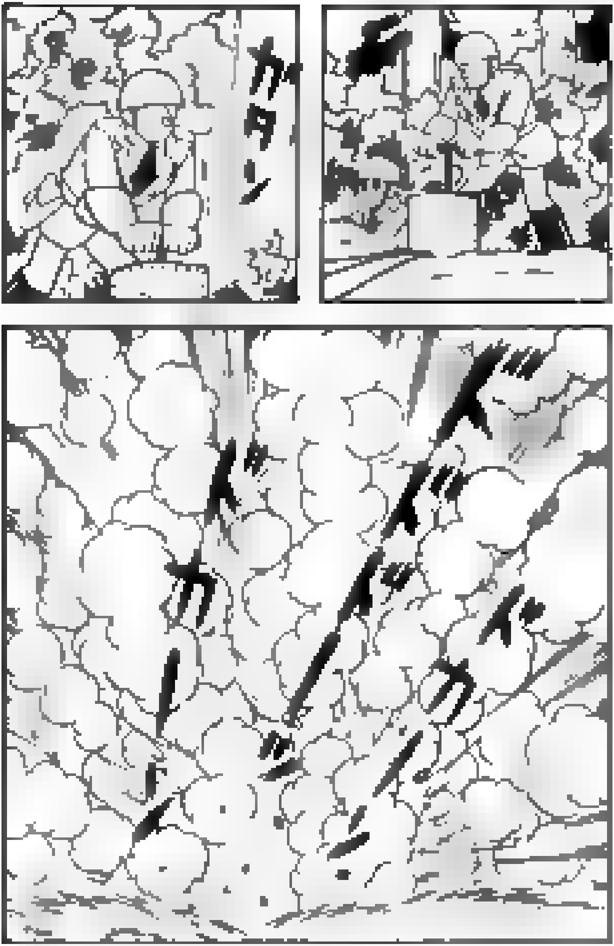


おお
すっかり

敵弾は
何か
この陣地を
ありますか
かかれっ
はっ

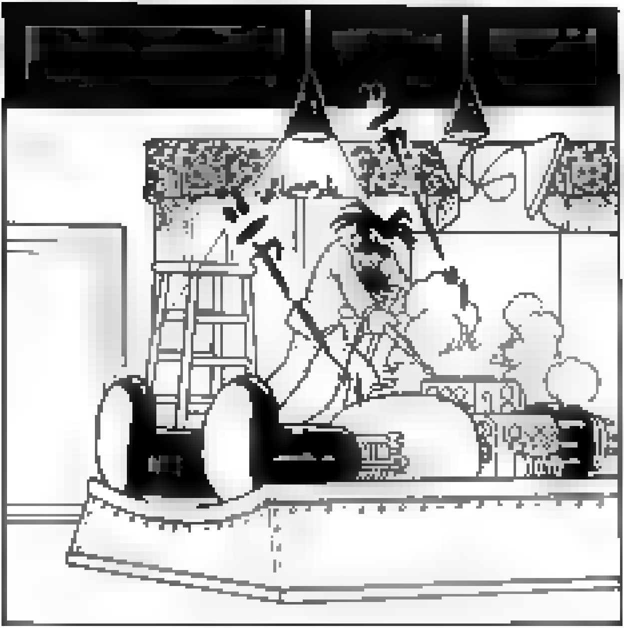
準備終わりました？
よし




ガタン
ドドドドガ!!
ドガ!

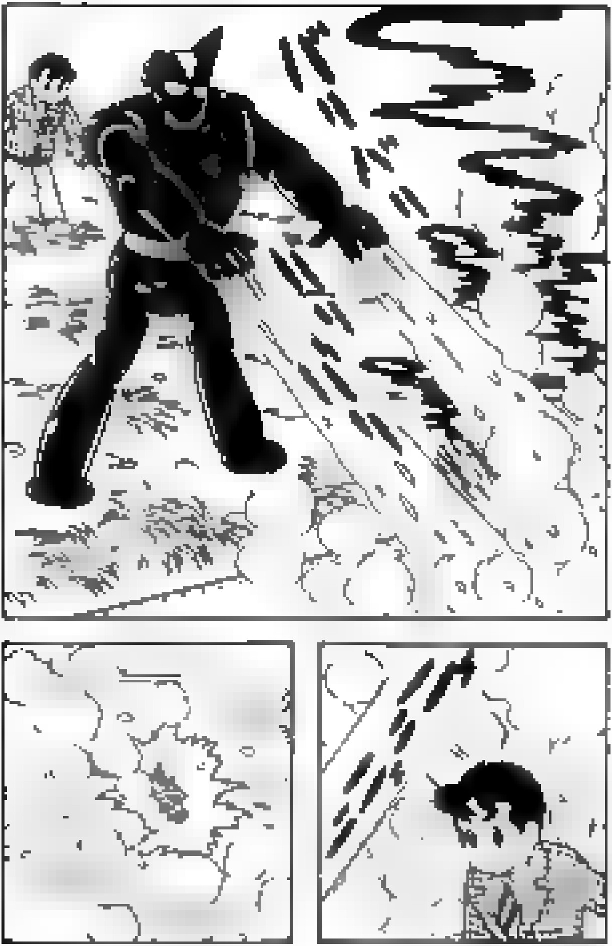
あっ
それっ
ぜんぜん
びくとも
しないや

なおった操縦器



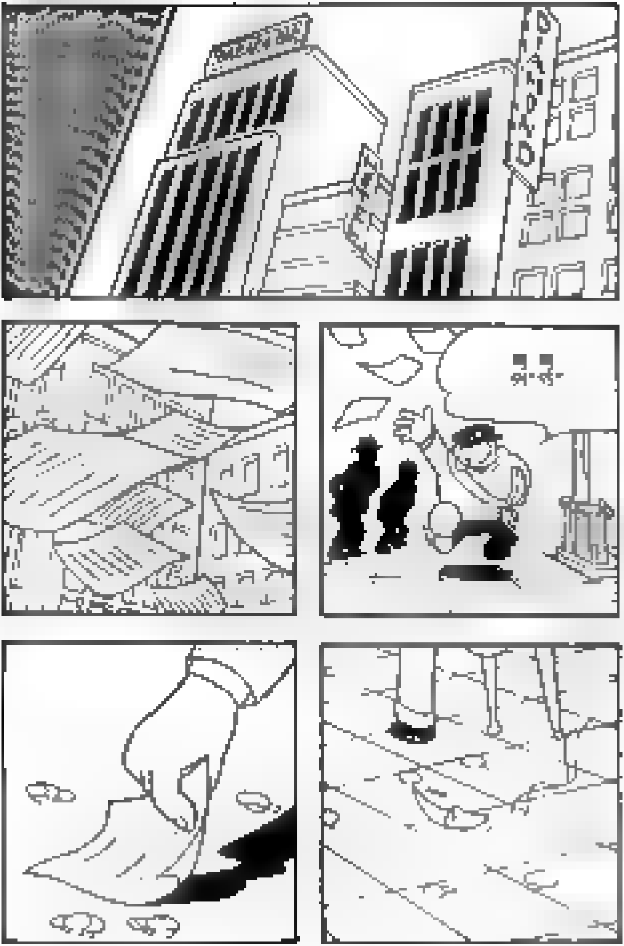
ロビーの
わし
ロボットを
それを
ロボットを
造ろうと
ずる賢い
やつめ
しかし
ちらも
ロビーの
電子頭脳を
取ったら
優れる
ロボットを
造ってみせるぞ
ああ
電子頭脳を

正太郎くん オータメでは 駄目かな
うあ
オータメ やれ



ほんの
少し
です—
うーむ
オックス
みろ

飛行機から爆弾でも落とすかね

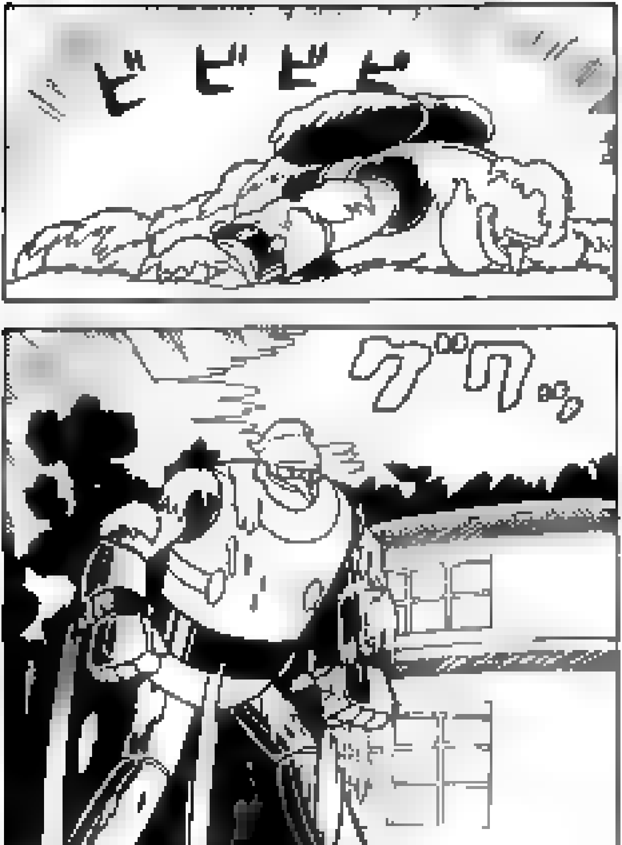


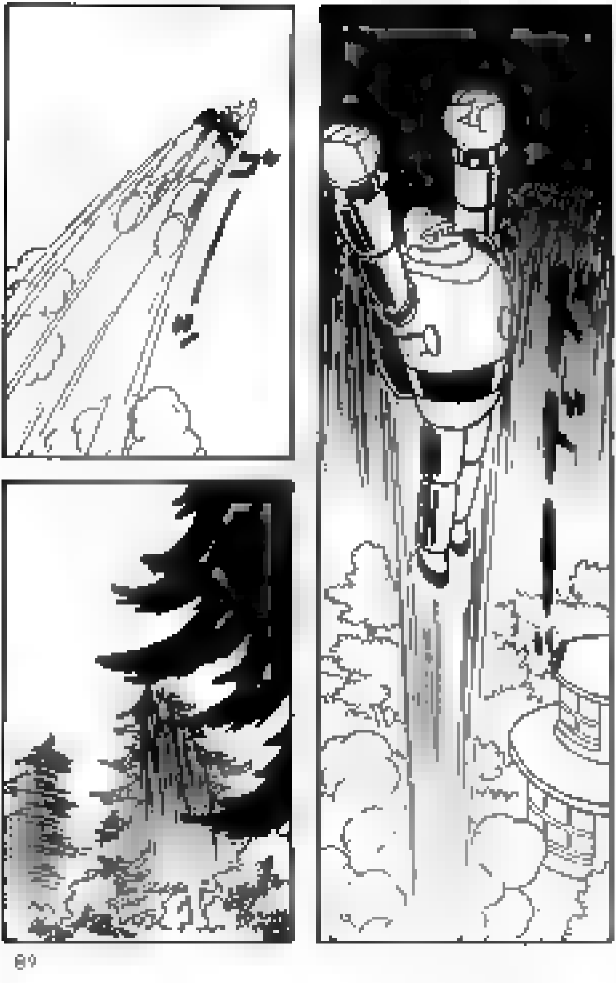
うむむ

わあ でっかい
ですよ
ええ ありません
何をしてるんだろう

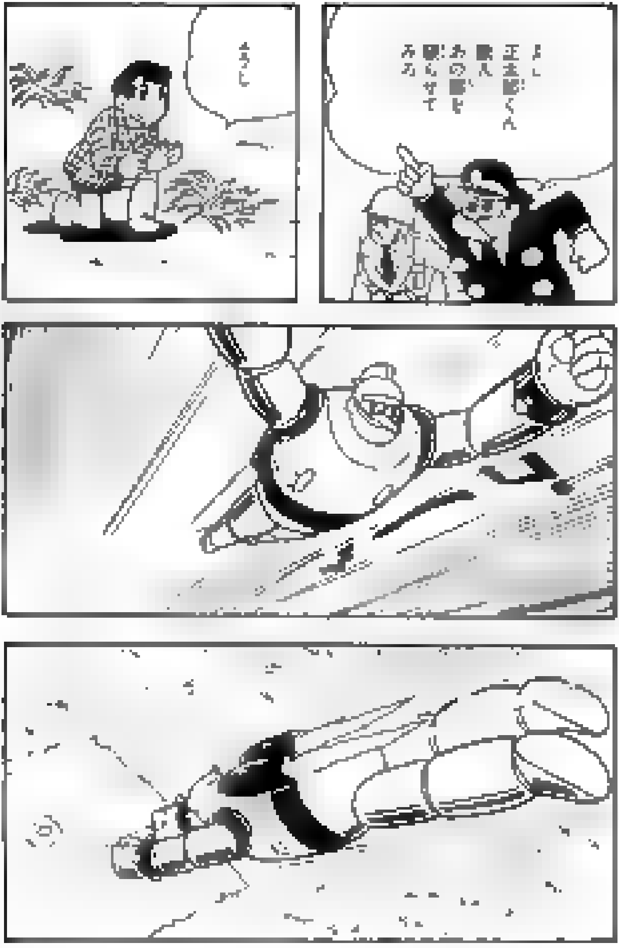
止まれ

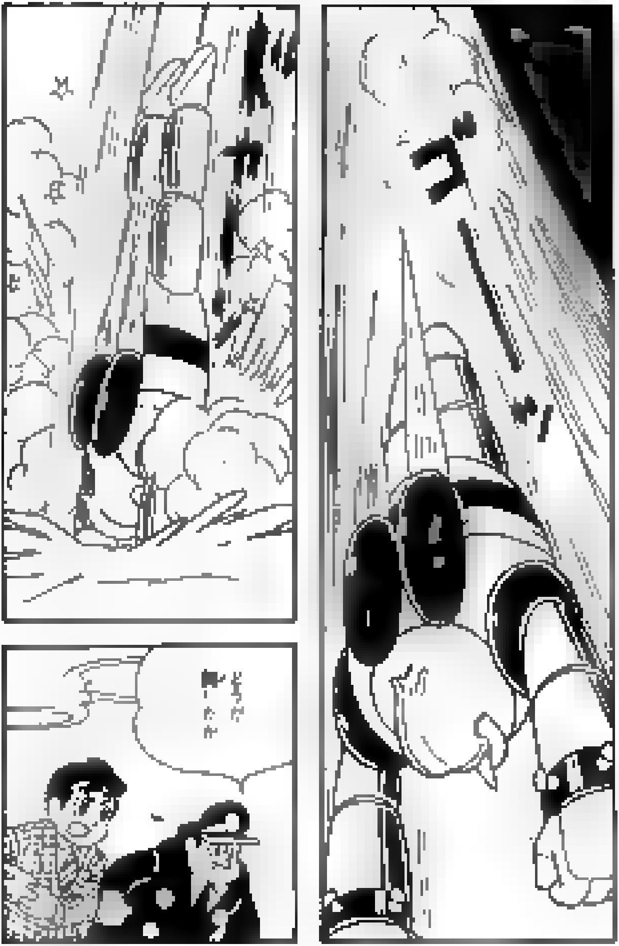
正太郎くん 設計図が できあがったよ
え!
予定より 三日早かった ですね
うむ 君たちで がんばった
ありがとう ございます
さあ 動かして みたまえ
よし


ピピピピ
ヴヴッ

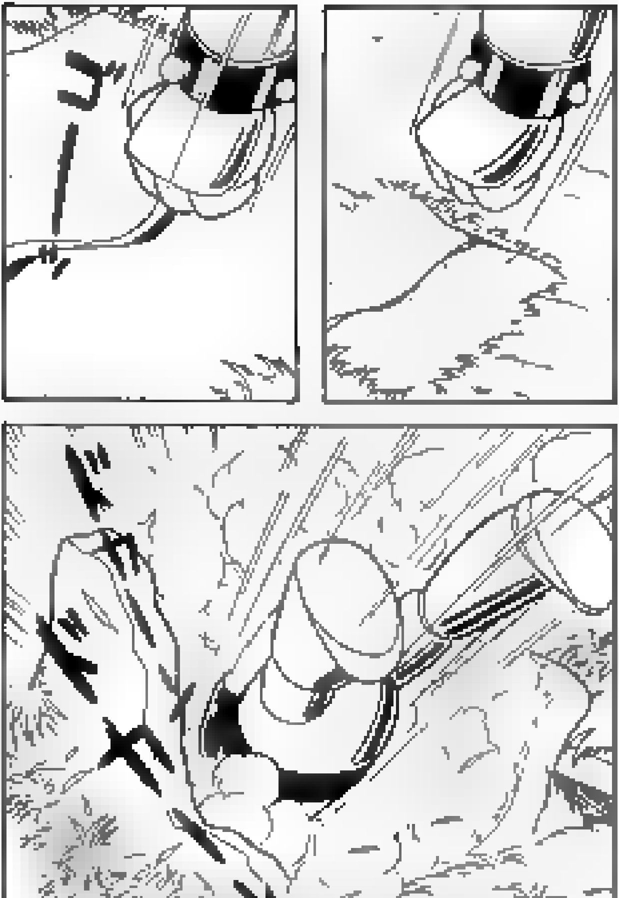


やっぱり
鉄人は
たのもし
や
鉄人だ
鉄人が
見えた


よし 正太郎くん
ようし

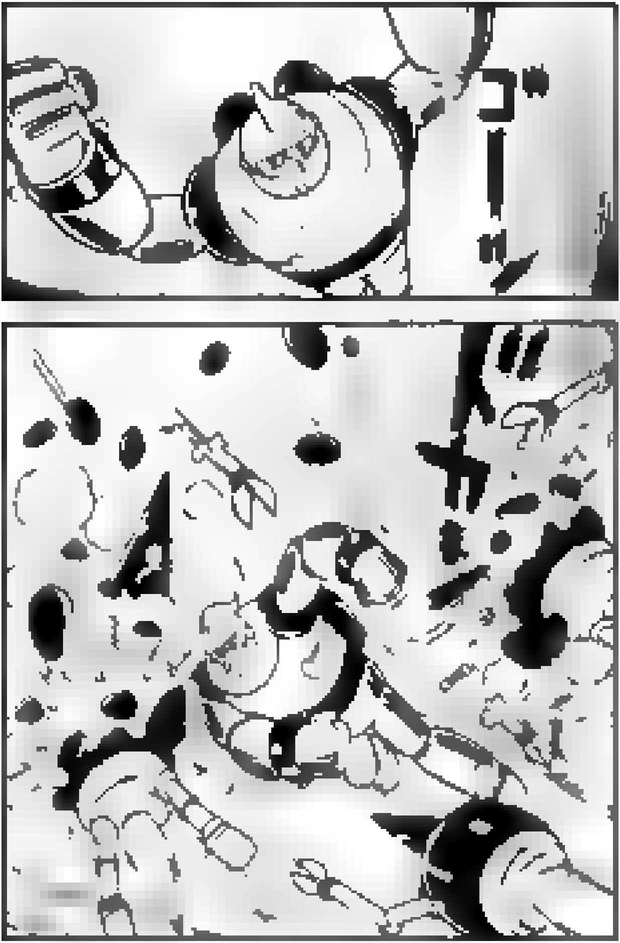

ゴーッ

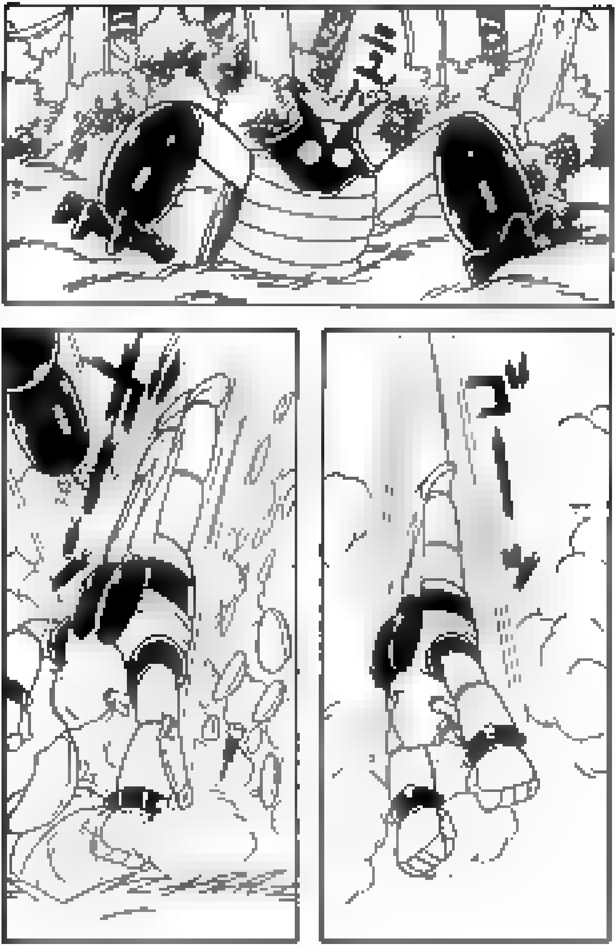
おっ
正太郎くん もう一回だ
うん



わっ
それー
ロボットを

ゴッ
おっ あんな所から ロボットが 飛び出した
こい お前たちは 鉄人が 相手だ

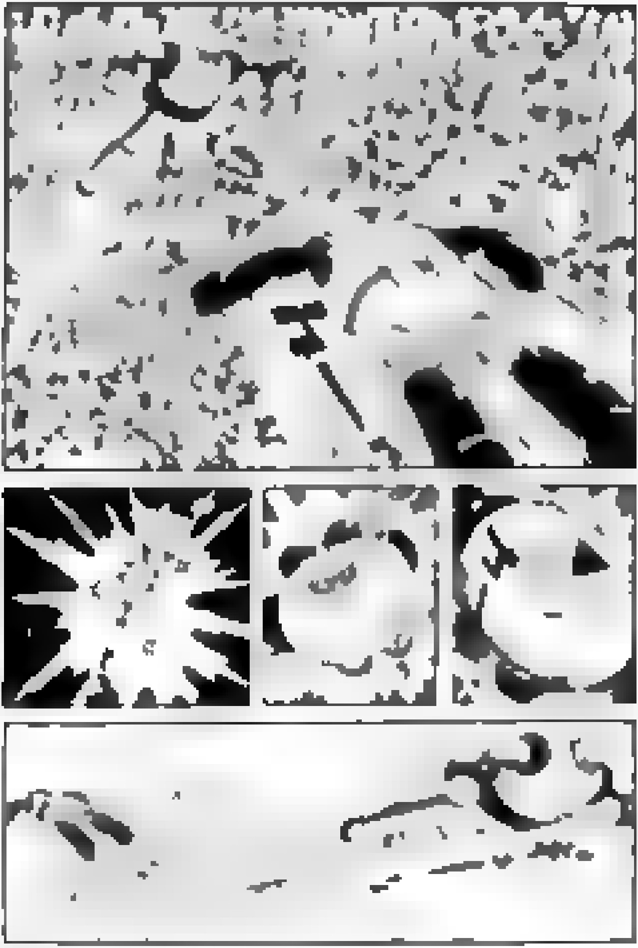

ゴーッ

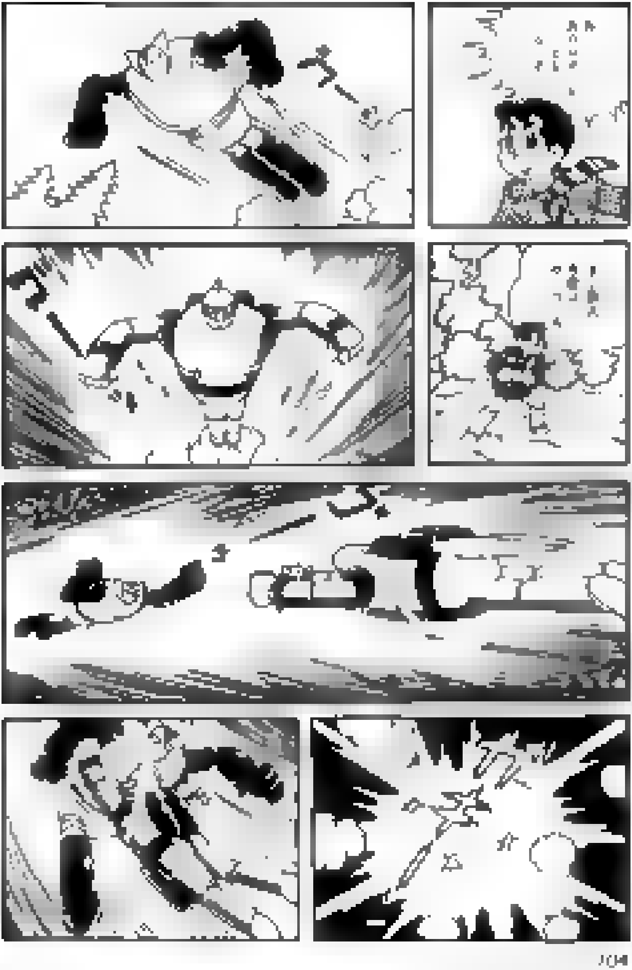


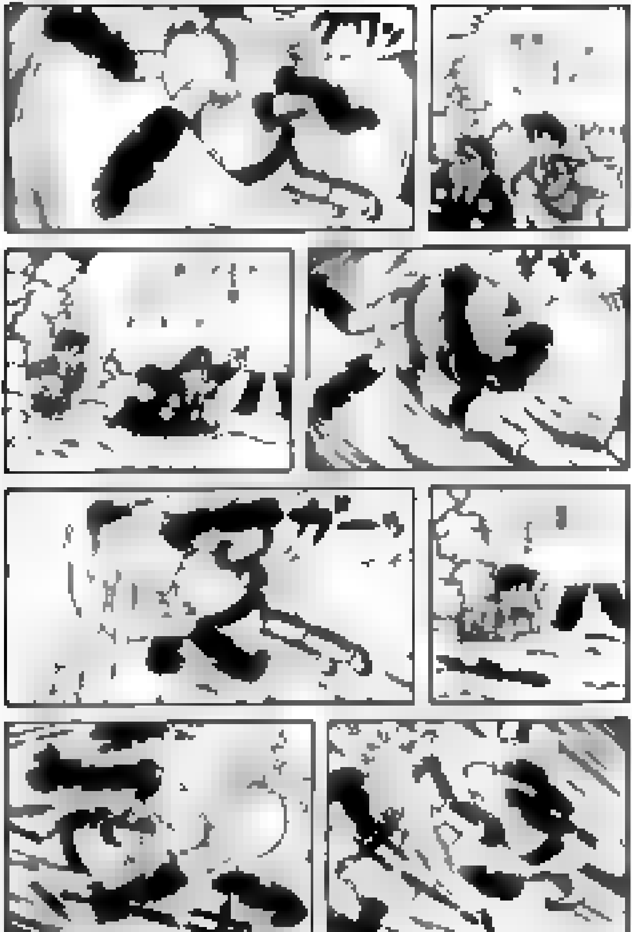
平気だぞ
そうだ
そうだ
あれは
なに
あっ
?

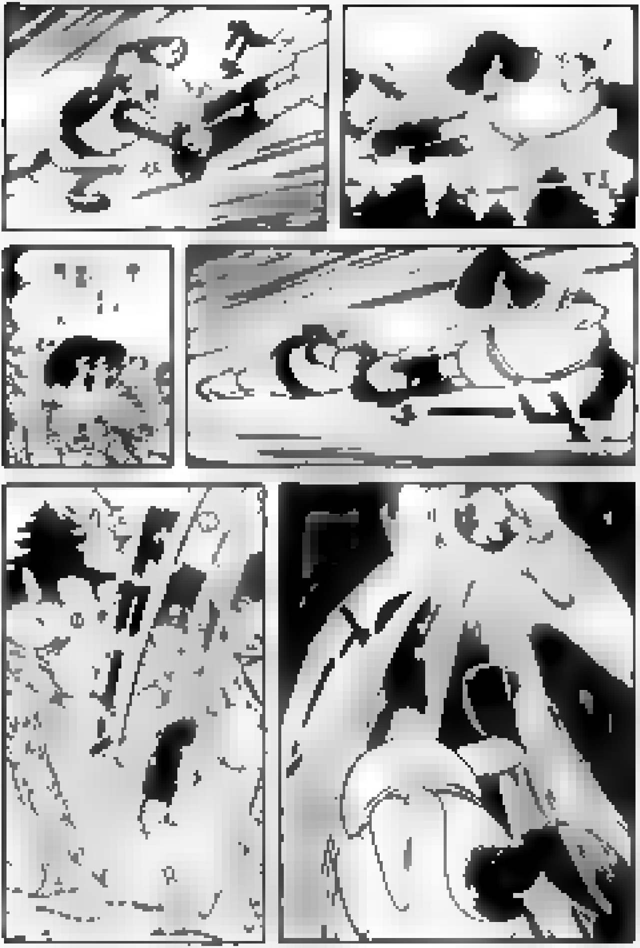
正太郎くん 向うから 一台 ロボットが 飛んでくる
あっ ほんとだ

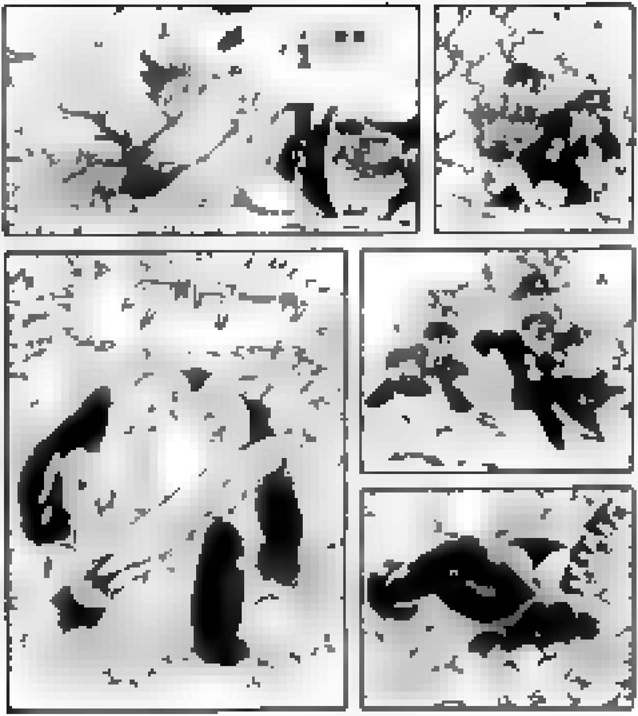
あっ 鉄人
なぞの ロボットか

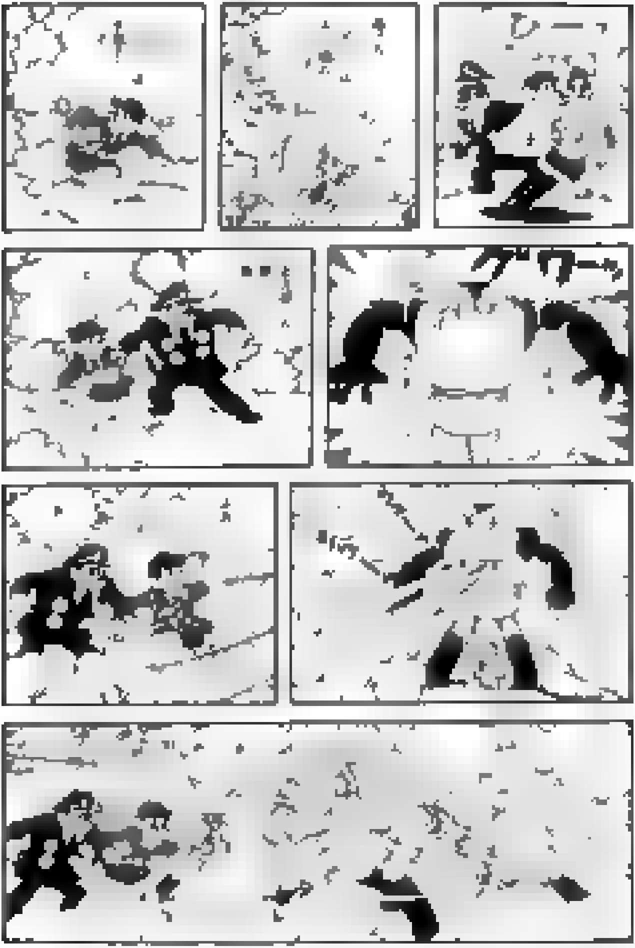






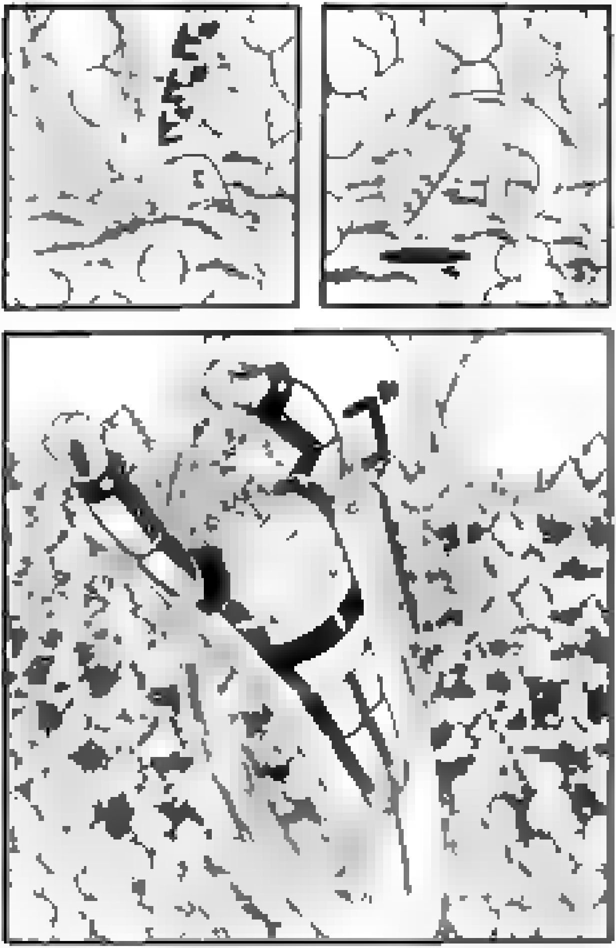


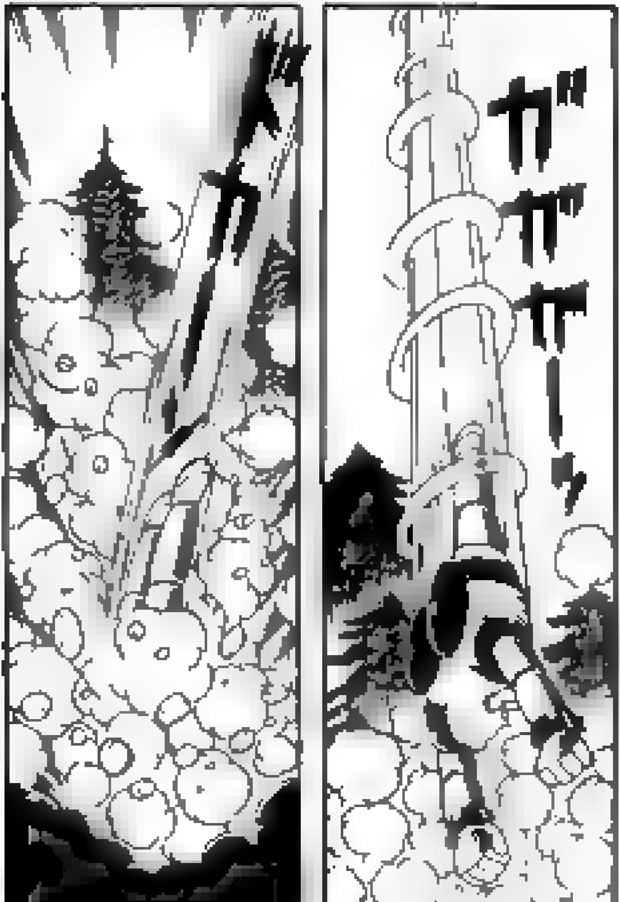


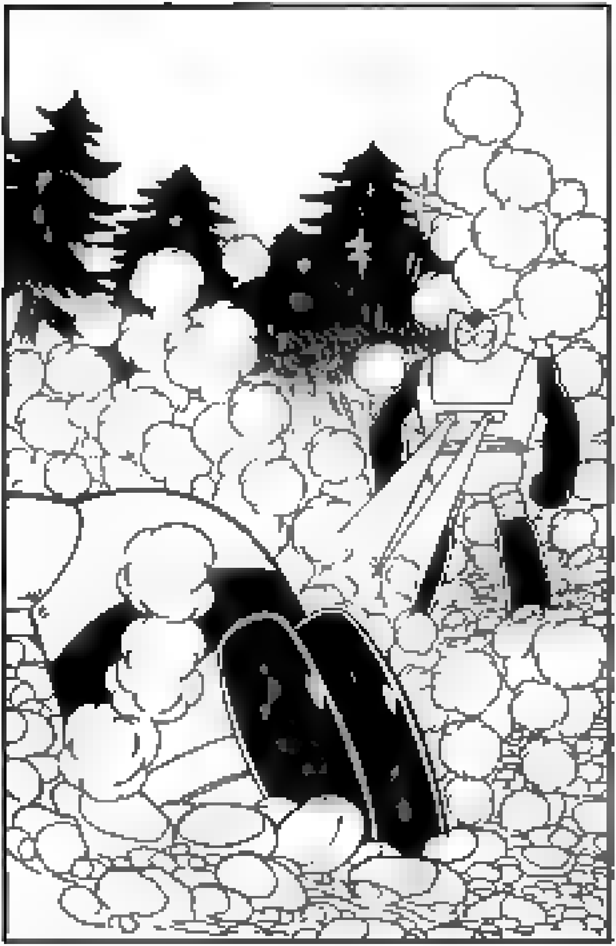

グワーッ

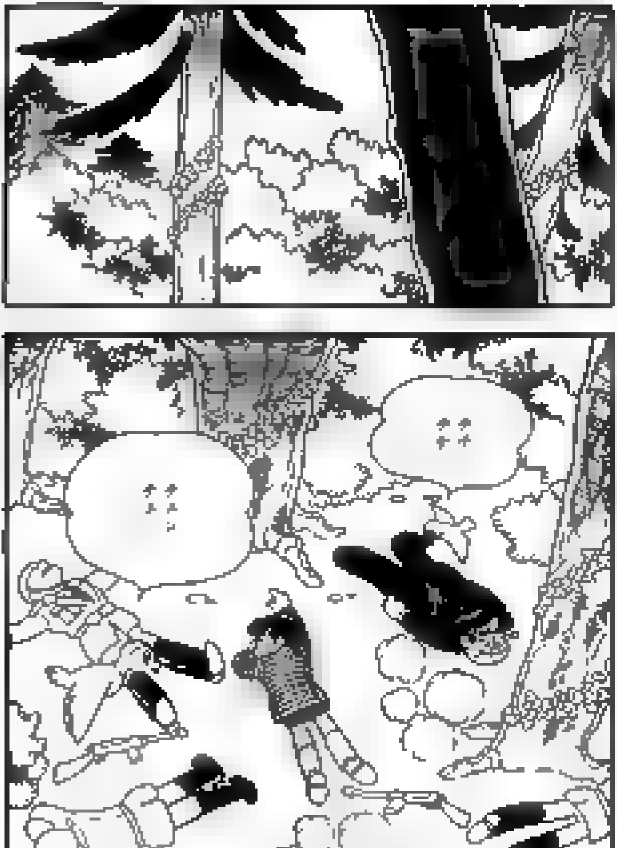
もぬけのから

正太郎くんが
なんか様子がおかしい
あっ




ガガガーッ





あっ
みんな
倒れてる
どうしよ

あっ
そうか
うん

すると
巨人のセックスを見わかなかったんだな
わからん ともかく 地下を掘って みよう

オクスの
てくれたな

うむ
ひとは
ここから
逃げ出した
んですね
うむ
逃げ出したん
だろう

ドクタ ホット 博士! 助ケテ クレテ アリガトウ
な

わしも ドラグネット 博士と いわれた男じゃ 鉄人や オックスを 作り出して ロボットは 造れるわい

しかし その腕は

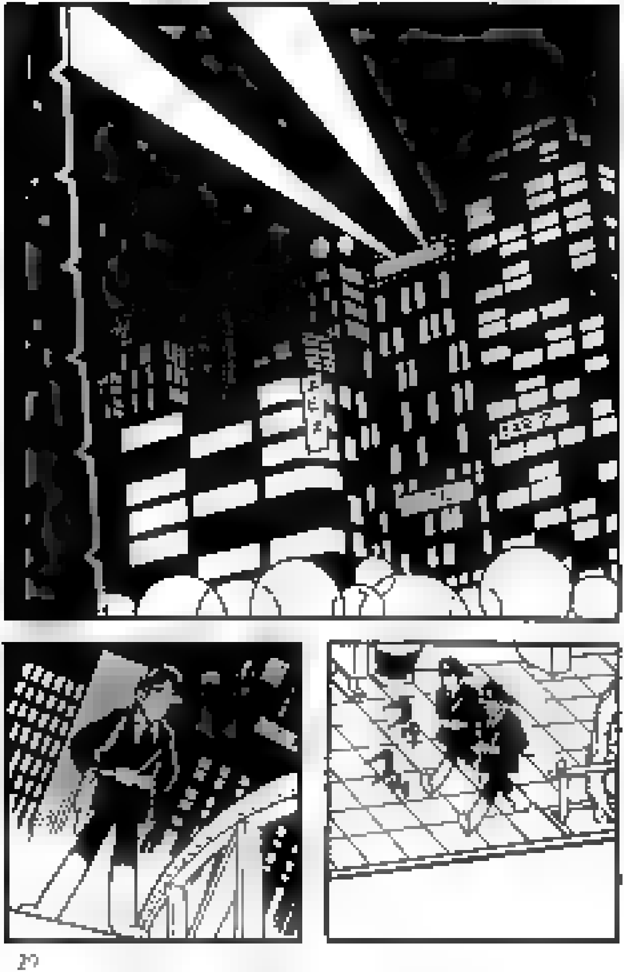
約束どおり 空も飛び 水にも潜る ロボ を 造ってやる

まあ
しばらく
わしの
するんだな

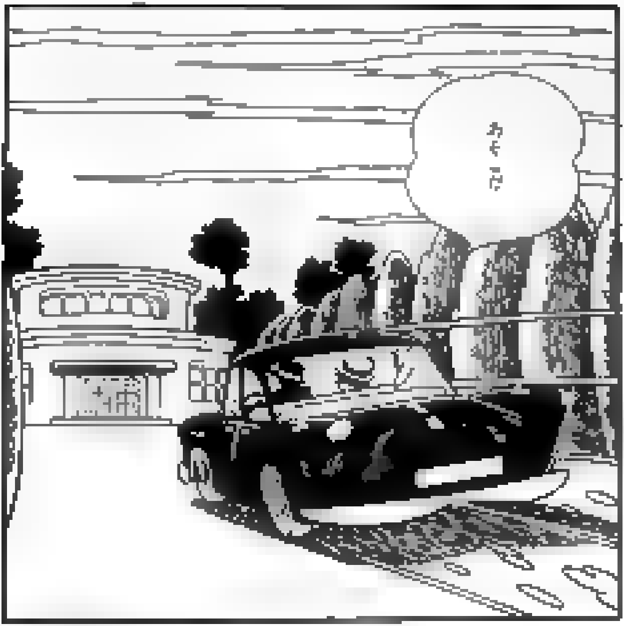
海底のロボット

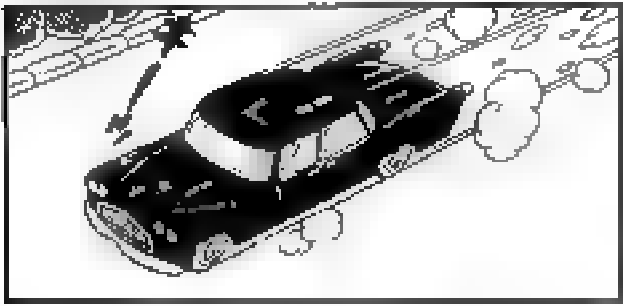
うむ
うむ

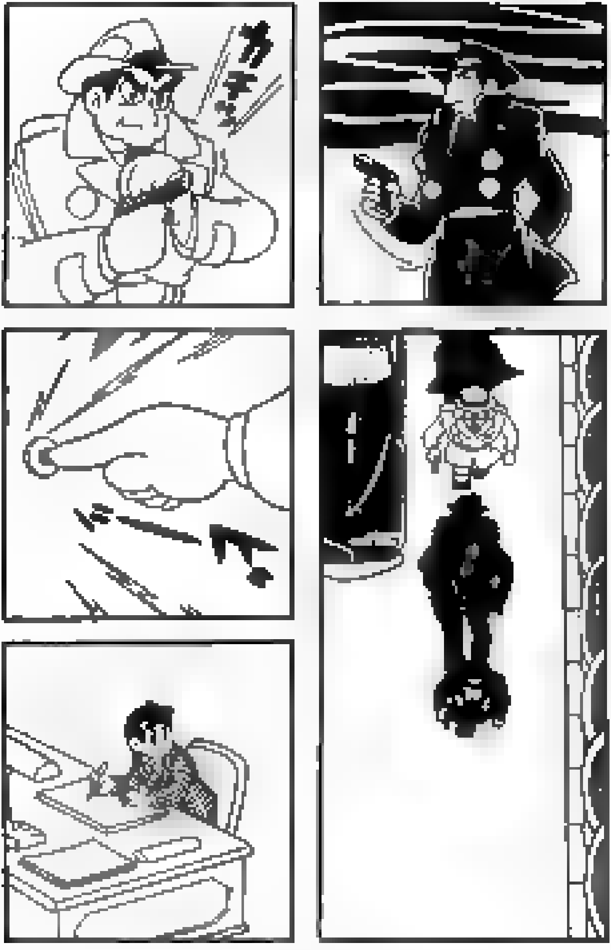
よし

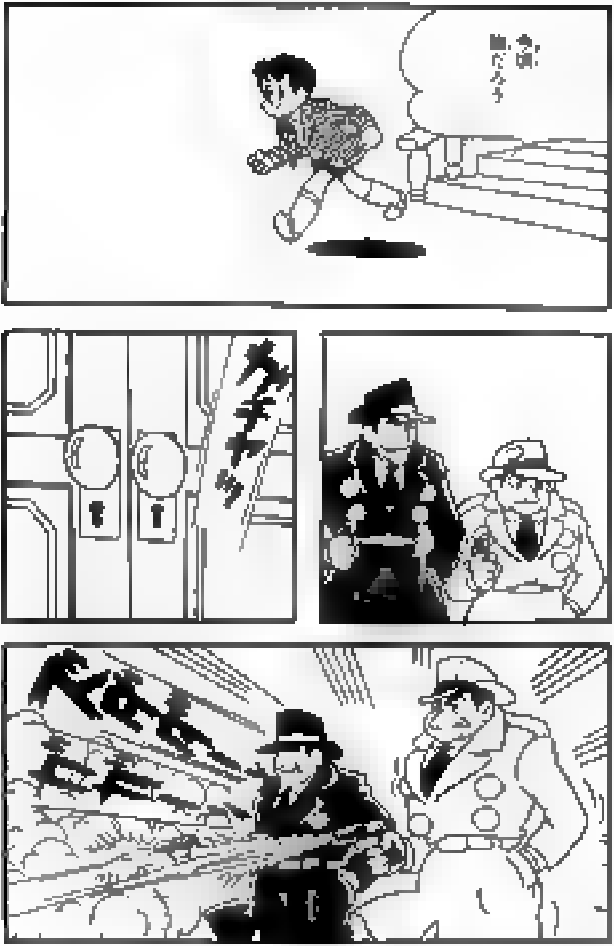


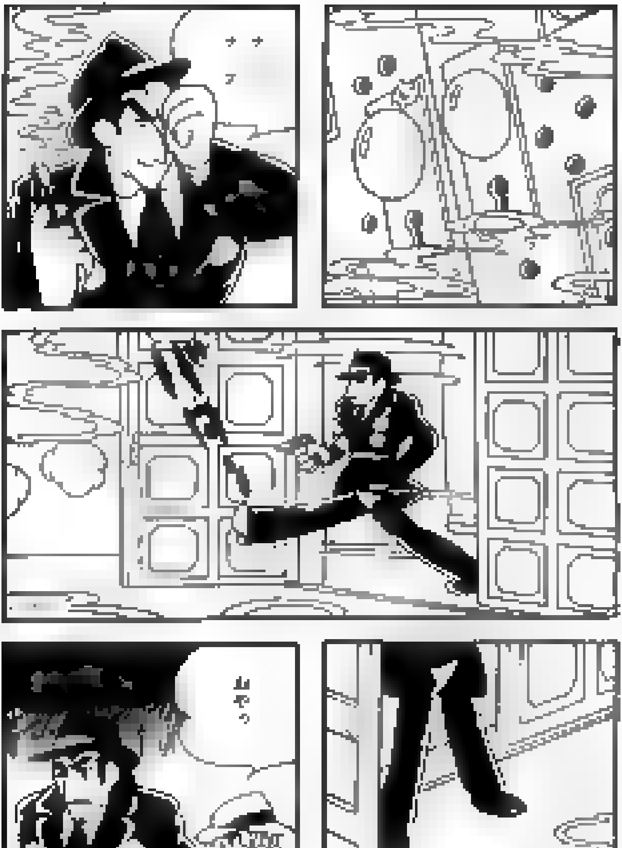
止まれ






カチャ


今の
聞いたろう
カチャッ



ナ
ナフ
山やつ

ちくしょう

うむ
よせっ
えいっ
うわっ

うむむ
わからん
そうなんです

うむっ
そうか とにかく きみたちは 警察に 引き渡すよ
もう一発!

しんぶーん
しんぶん
正太郎くんが
殺し屋に
襲われたよ

それに お前は 正太郎を
からな
わかれば
つまらん まねは するな

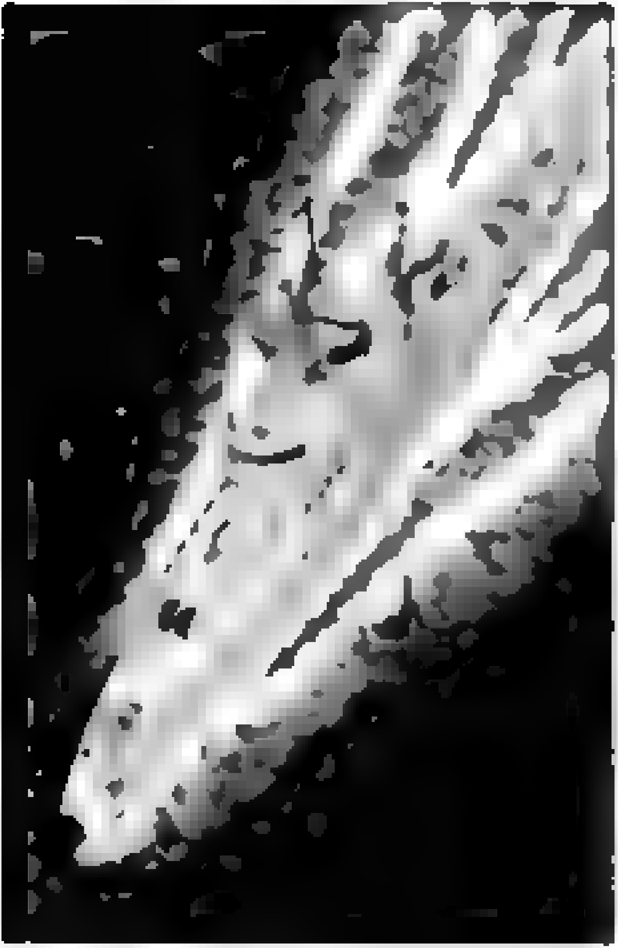
今朝、ロヒィめますます ずる賢くなってきて油断ができんわ。
賢人ト オ・ダテラ 自由ニ 動ケタル 少年ヲ 早ク片ヅケナイト 安心デキナイ
素顔 スルトハ オロカナ 人間！

なんだ 食事中に あまり 大きな 声を 出すな
それが 大変 なので あります

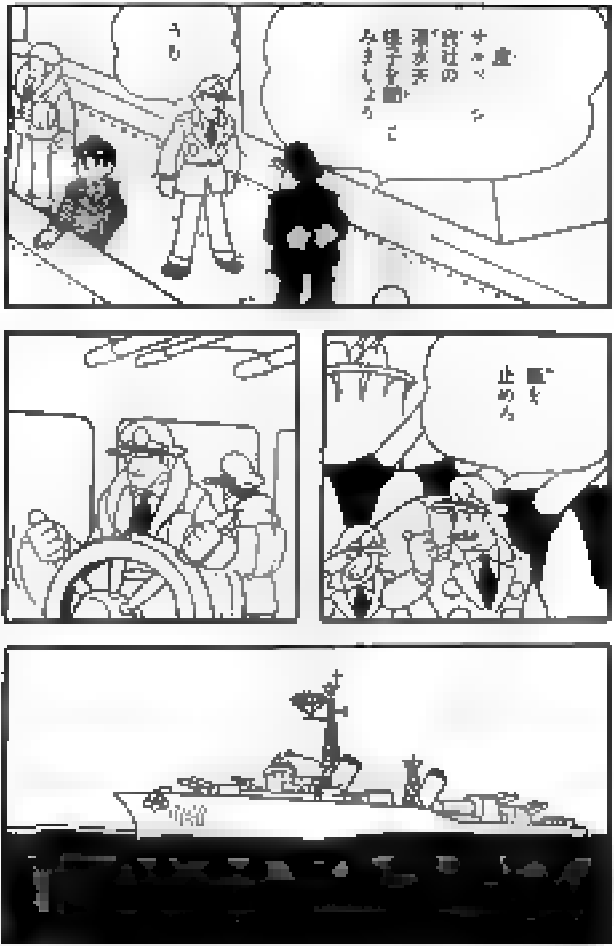
ロケットの大量が切出岬沖で発見されました
なにっ
詳しく話せ
はっ 切出岬沖に遭難船がございますがその遭難船を引き揚げ中の潜水夫が発見しました
遭難船からおよそ百メートル離れたほうだそうです
よし すぐ警備艇に出動を頼め

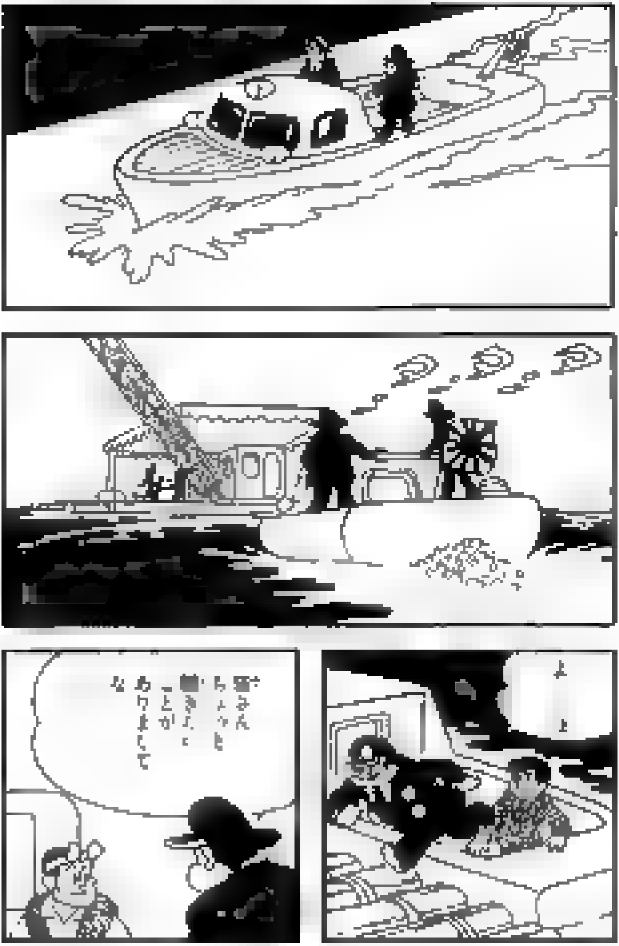
一

警備艦出動



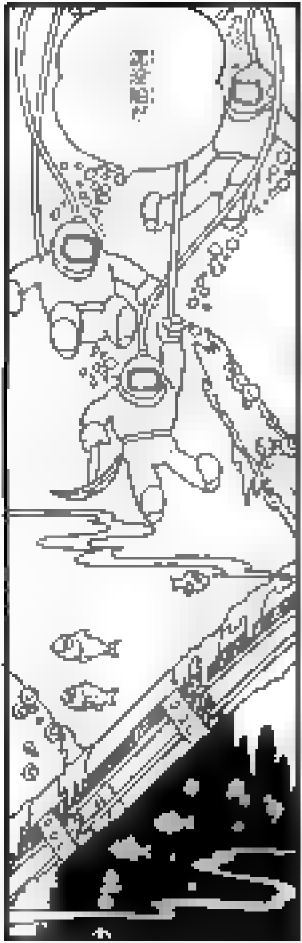
あそこが 沈没船の 引上げ作業を やってる 所です
するとあの沖 百メートへの 所らサボッチの 大和が ねむってますな


サッソク
みましょう
うむ
止めん


ちょっと
ことが
ありまして
な

ロボットを発見した潜水夫はどなたかな
へえ わたしでございます
ロボットの数はどのくらいありました
ええと およそ五十台ぐらいかな
海の中でちゃんと並んで立っていました
ふむーっ ロもーが どうやら整してる ロボット らしいな

あのあたりですよ
よし
警部さん
様子を見ておきましょう
よしきみ案内してくれ
へい
気をつけて
だれか　よ
大丈夫だ



あの

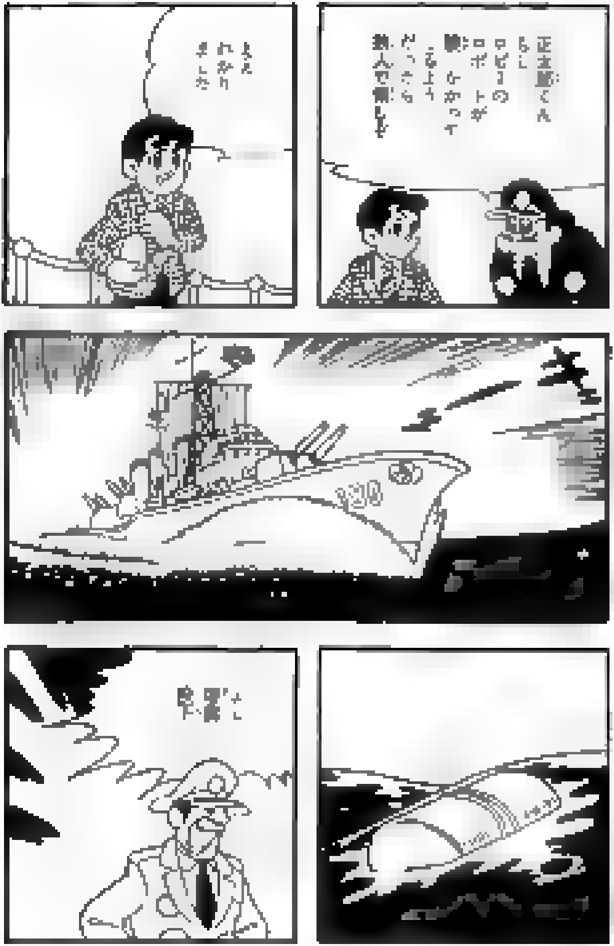
おー、

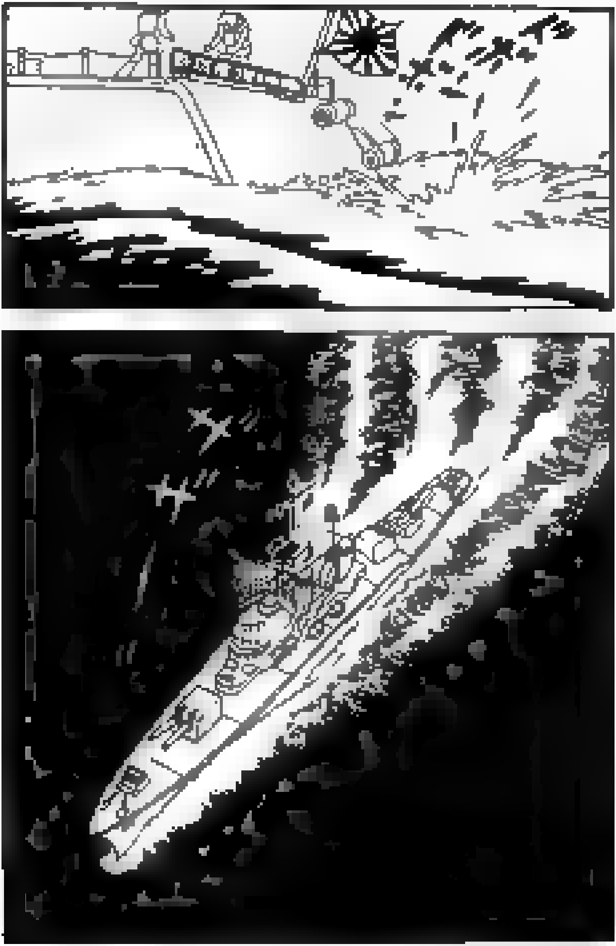
ロボットの
空気の
これで
よし
ゴボゴボ
さあ
船に帰ろう

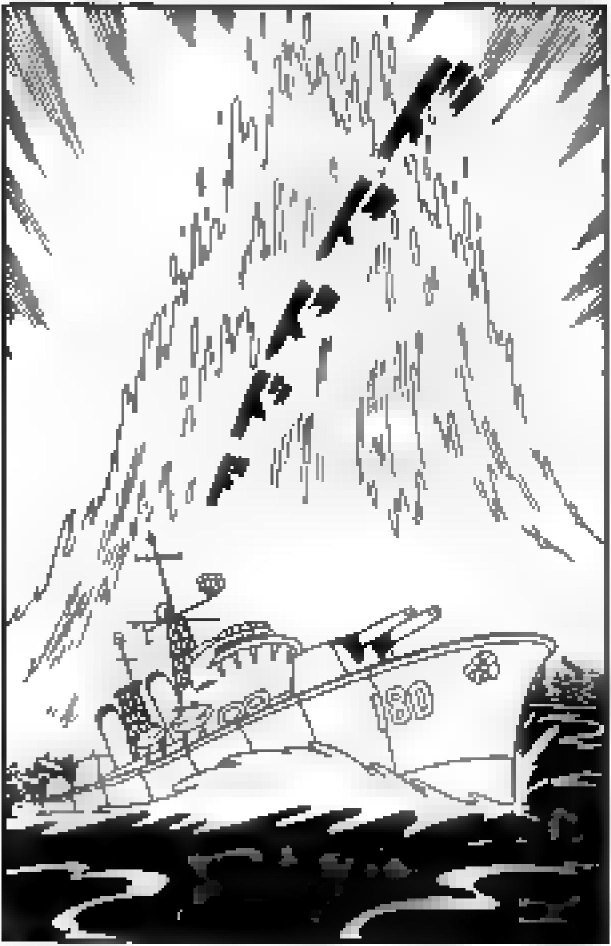
そう
ですか
おっ
さっそく
潜って
しまおう

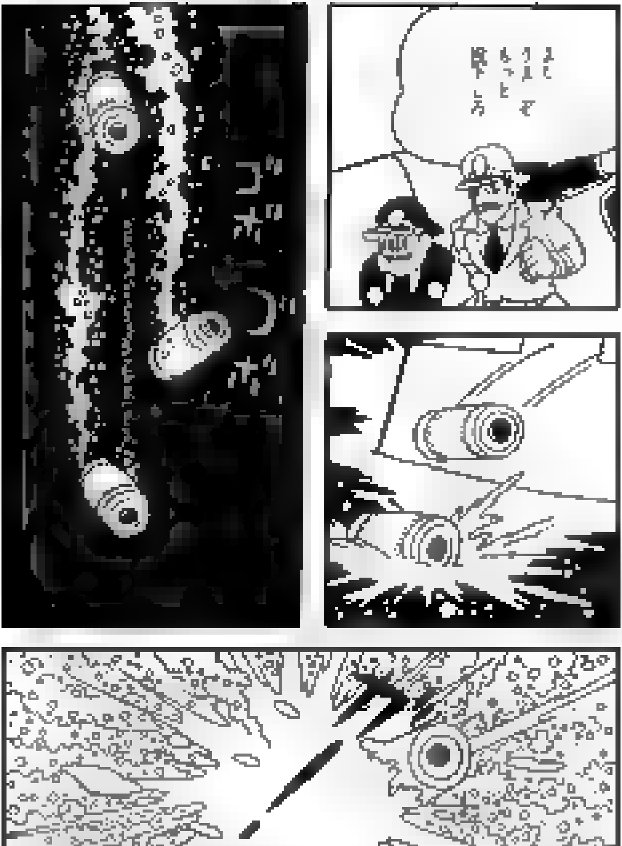
何かわかりましたかな
よし すぐ警備の者を集めろ
お供しますぞ

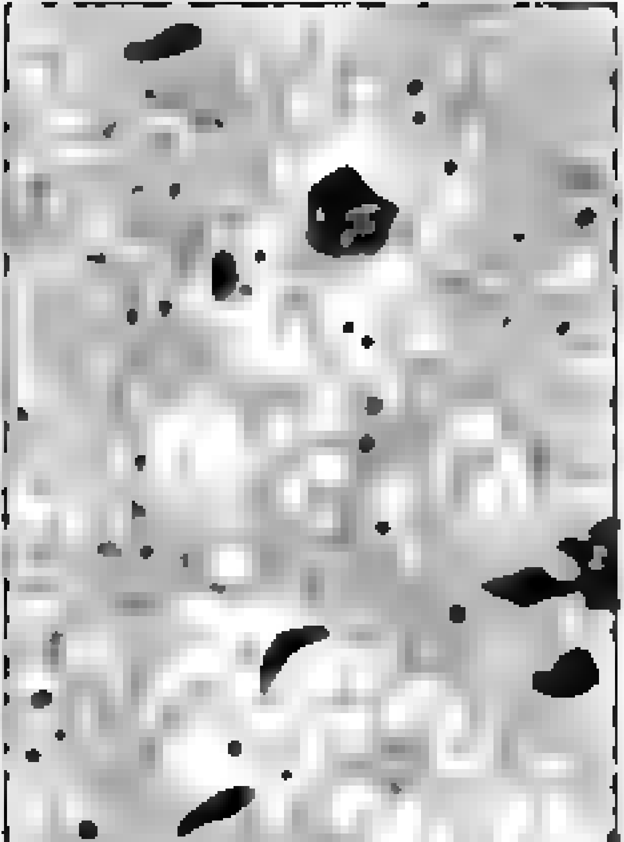
おらかし
攻撃準備は…か
攻撃準備終わり


正太郎くん
もし
ロビーの
ロボットが
ええ
わかり
ました




ドドドドド
180

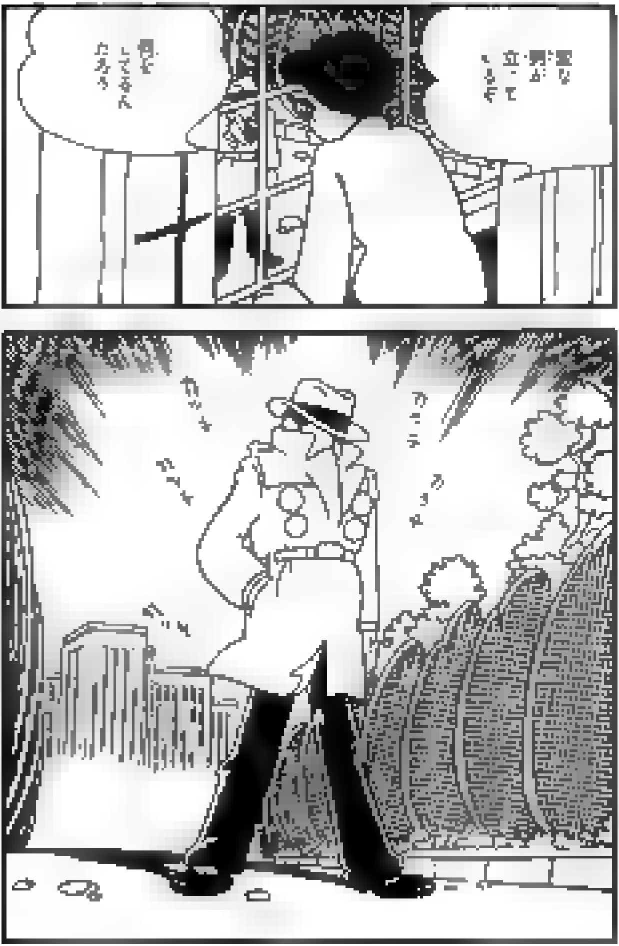

もっと
ゴボ



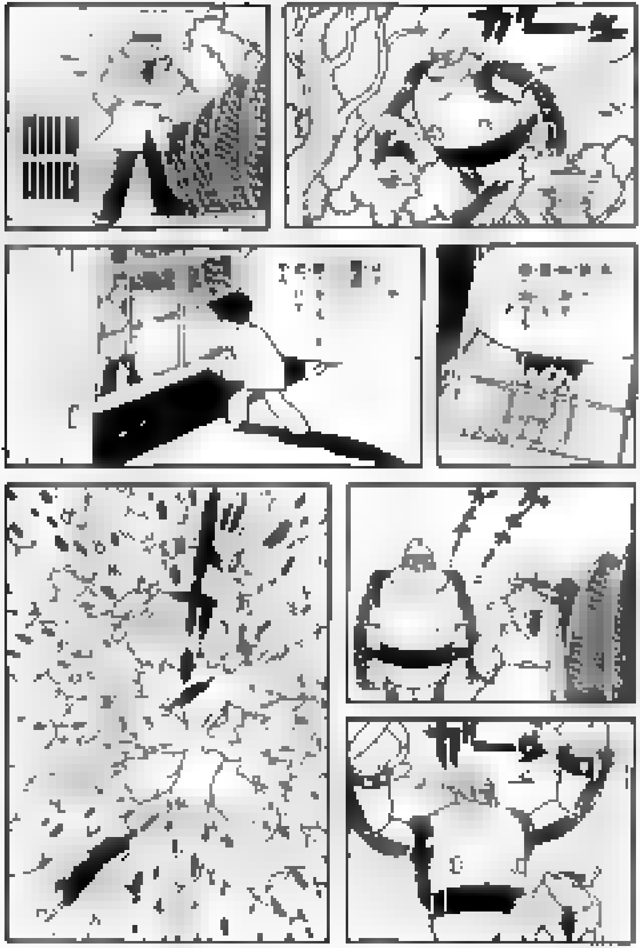
あやしい男
号外！
号外！

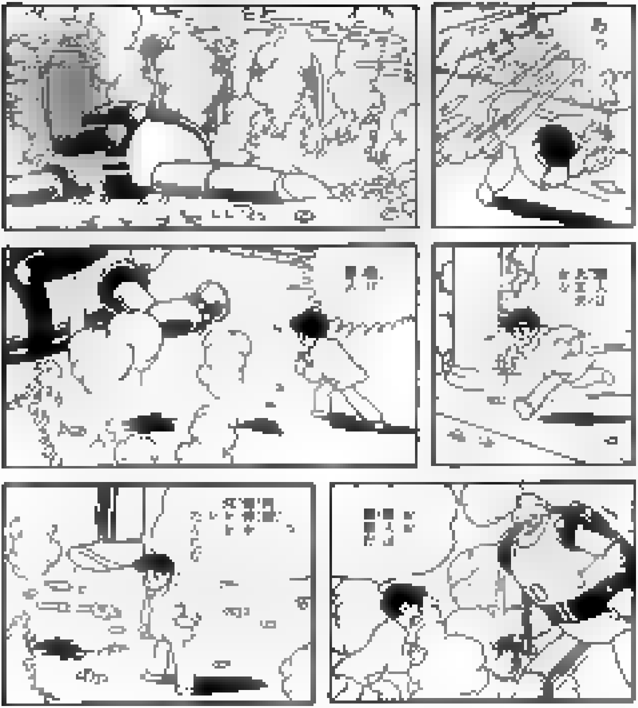
コウナレバ一刻モ早ク鉄人ヲ探ル正太郎ヲヤッツケ!・コナラガ危ナイ

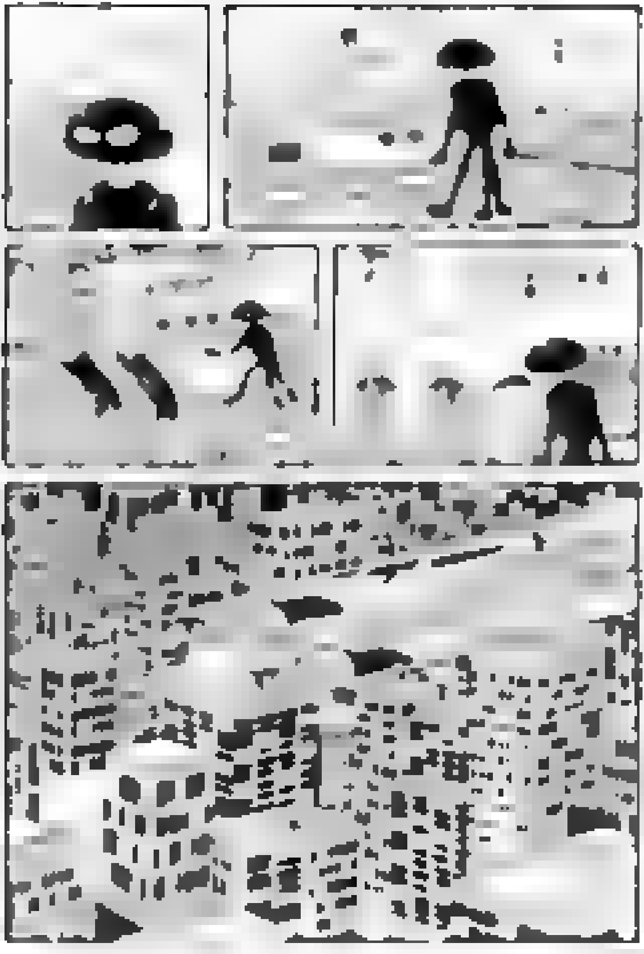
あ
おやっ
今日もいい天気だよ

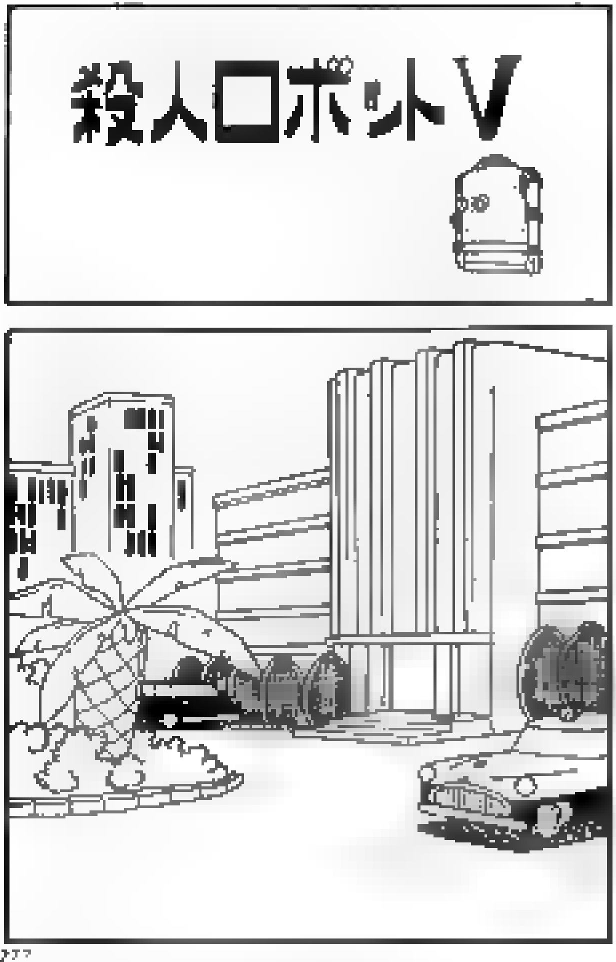

何をしてるんだろう

グワーッ








殺人ロボットV

おはようございます

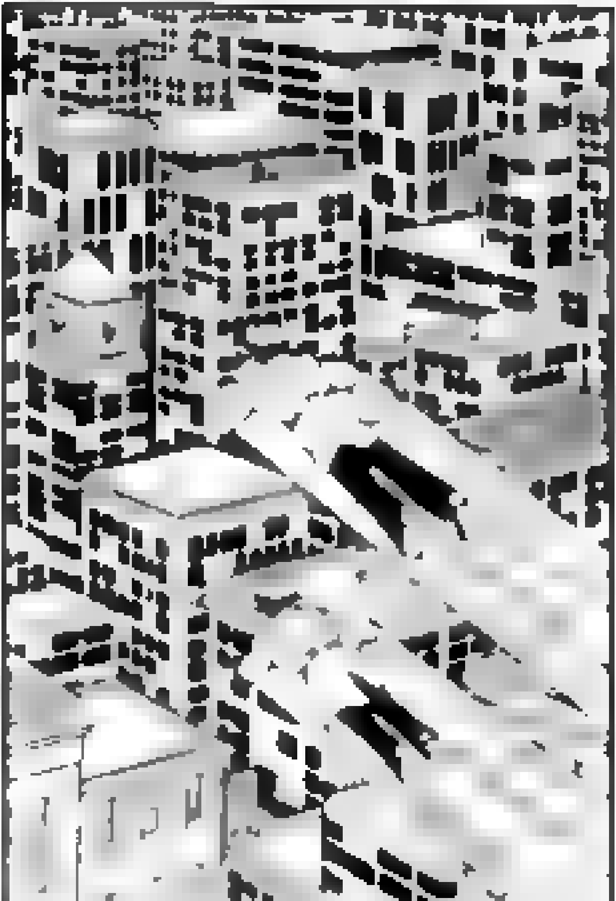
なにっ

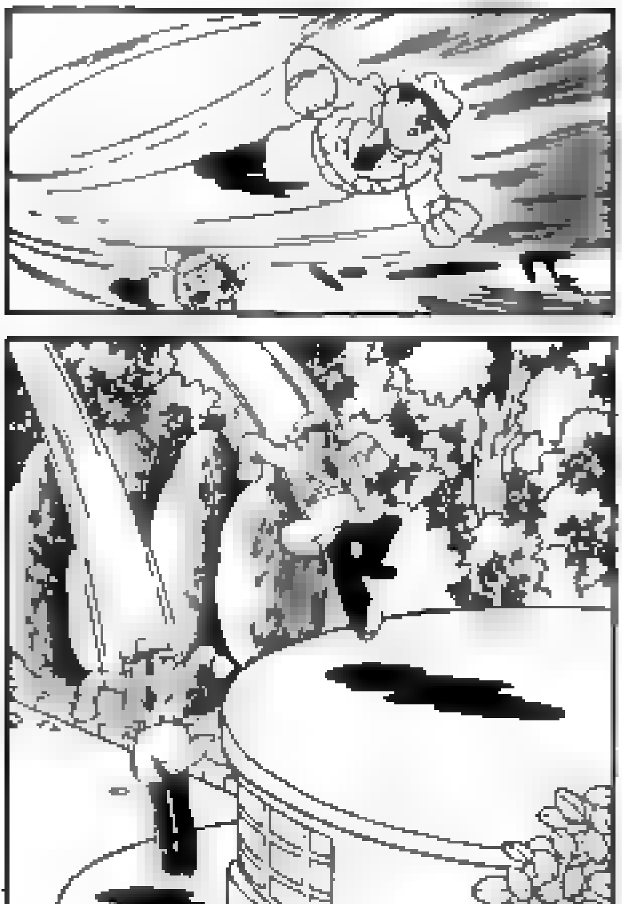
そうしたら
トカン
ですよ
爆発したのか
ええ
時間表が何かしかけてあったんでしょう
うーむ
ロビンめ いよいよ本格的にきみを狙い始めたか
よほど

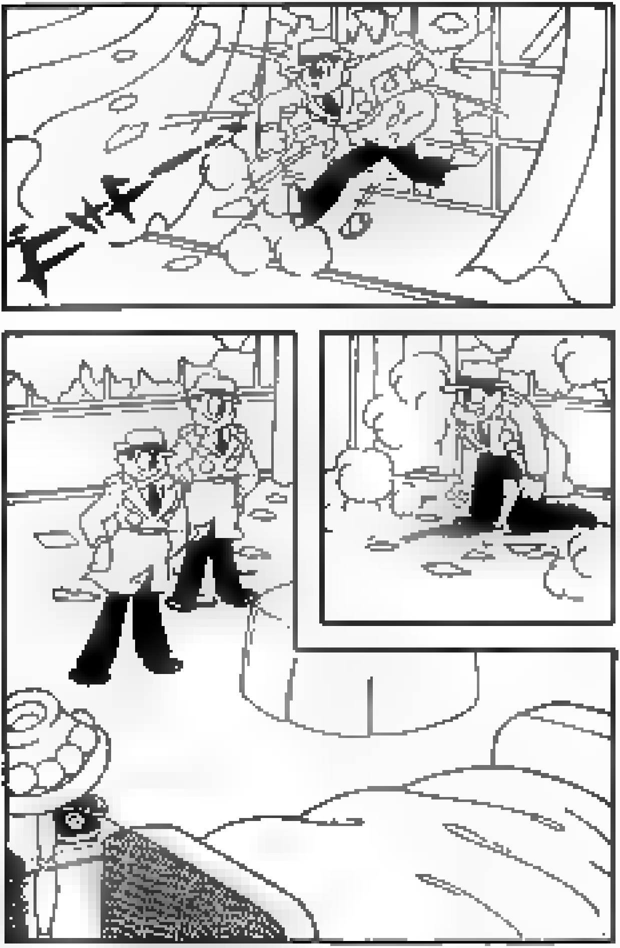
正太郎くんの指示だとロビーのやつまた何か手を打ってくるぞ用心しなくちゃ
ええ
なし頭を使ってきっとうまく利用すればロビーの頭脳がわかるよ

正太郎くん 何か 考えが あるのか
ええ ちょっと
ああ

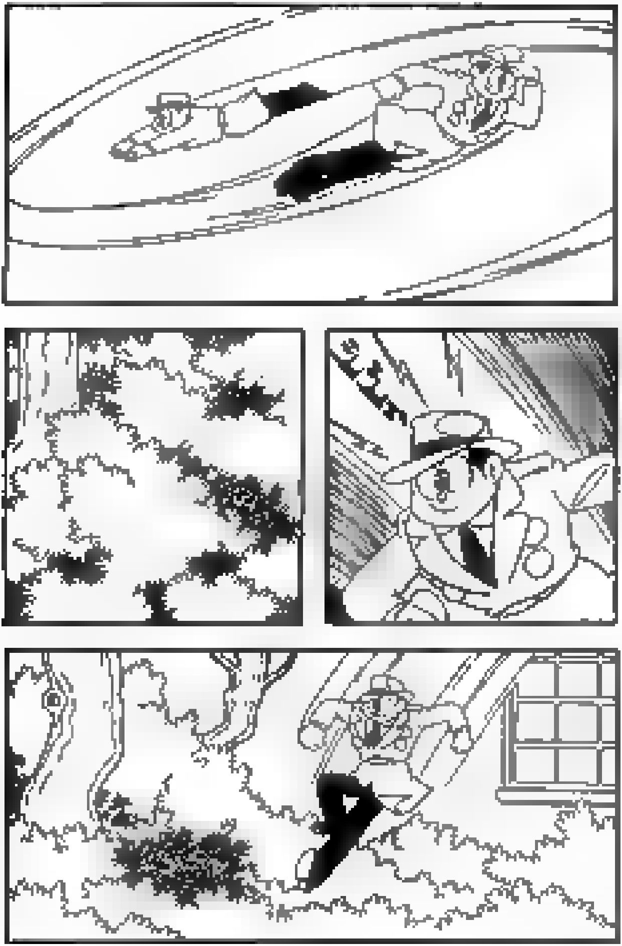
うむ
あれなら
どこへ
すくわかる
うむ
あれを
ピストルから
すらして
もらうん
です

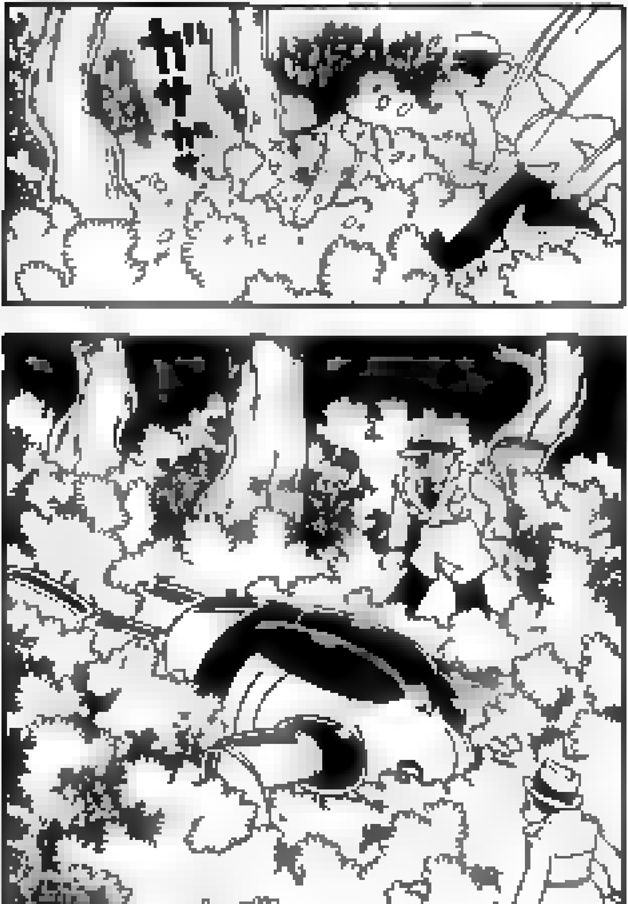


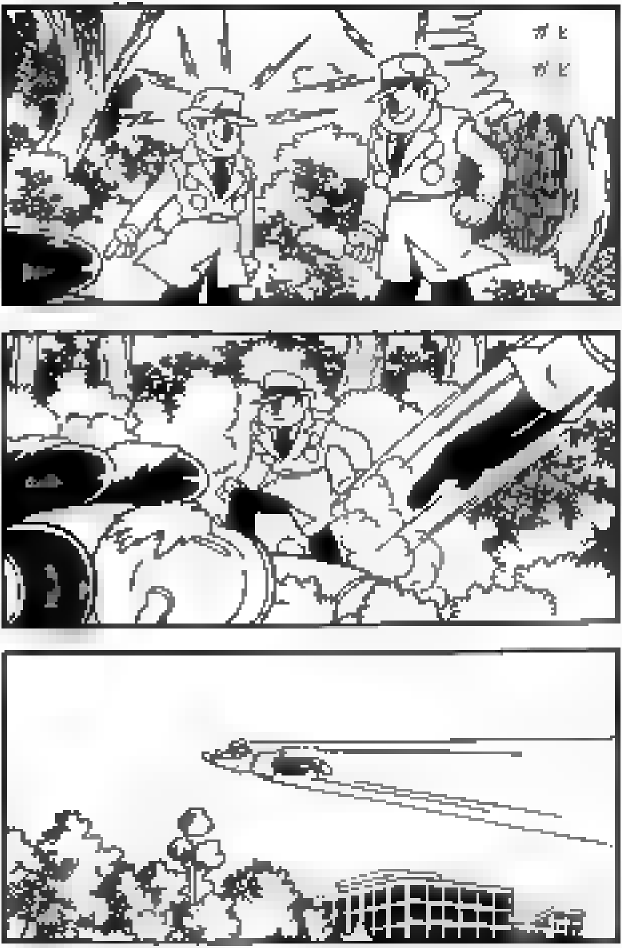


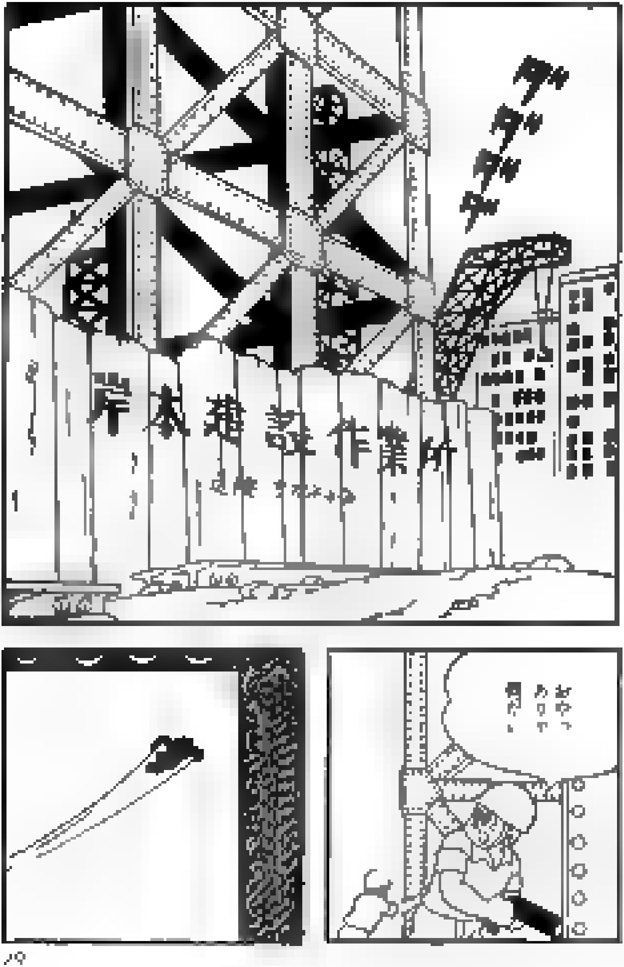


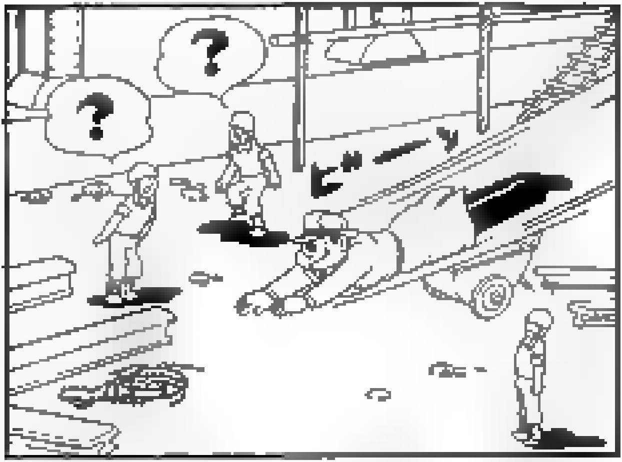
射られたぞ

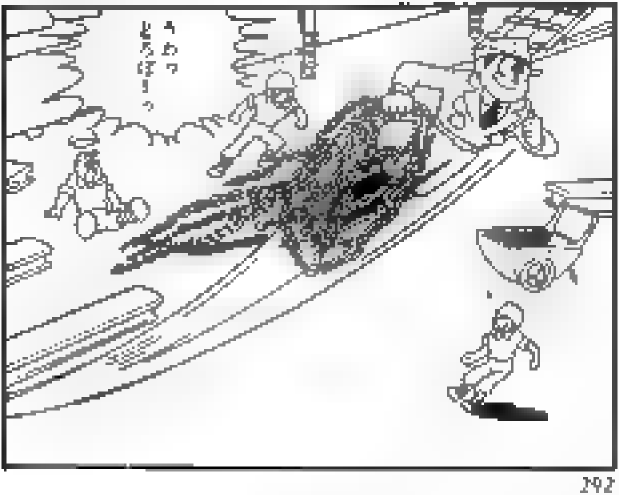


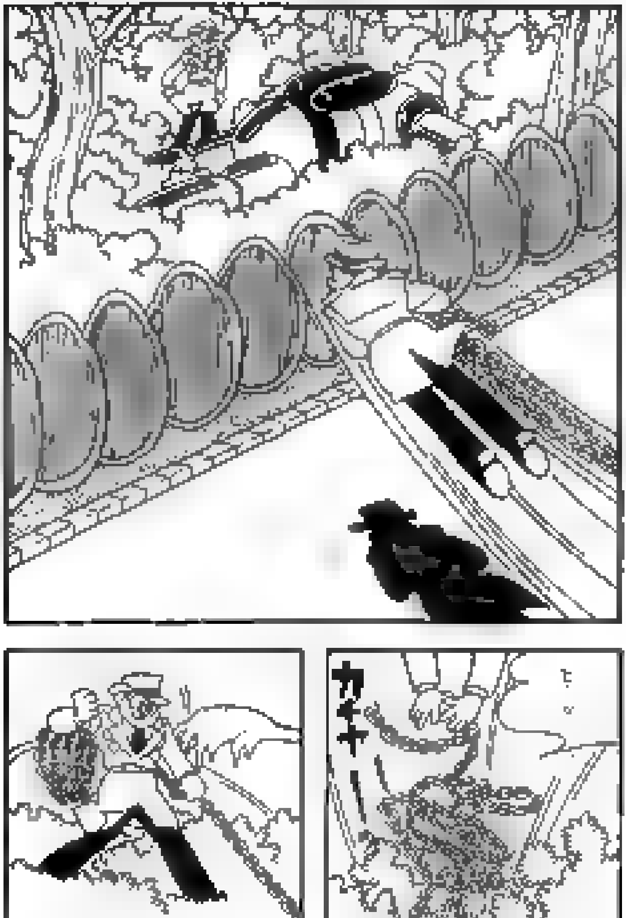

ガサ

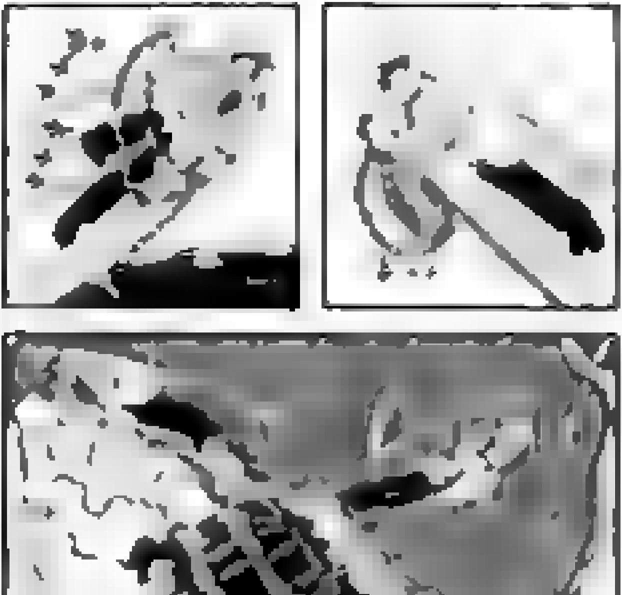

ガヒ
ガヒ

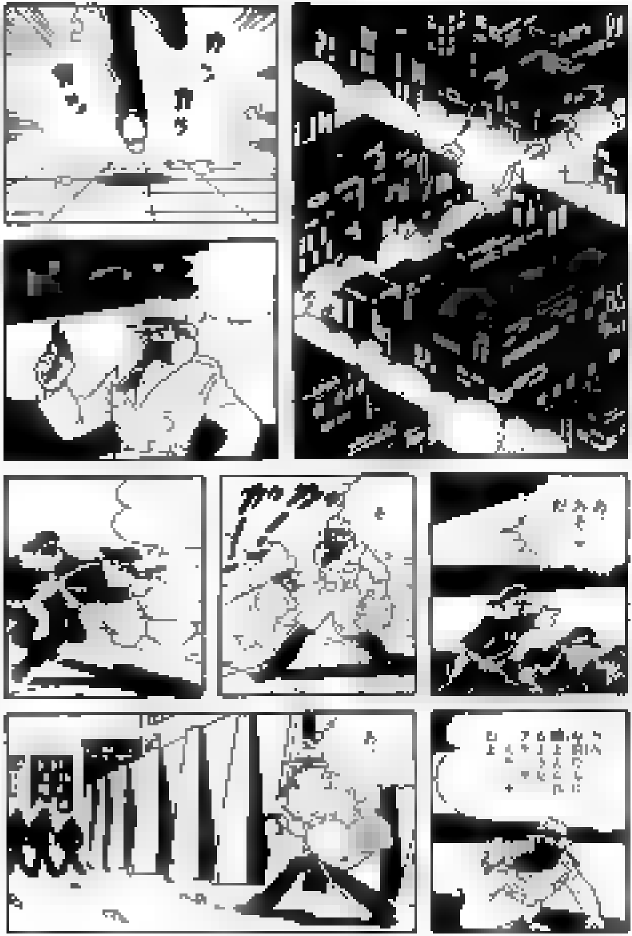

岸本建設作業所
おやつ

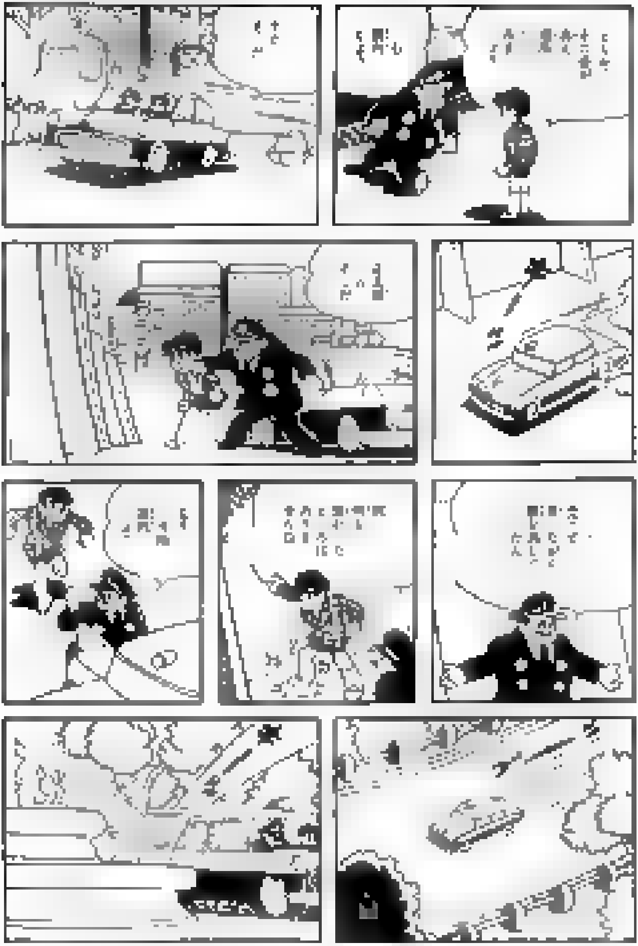

?
?
ビーーッ

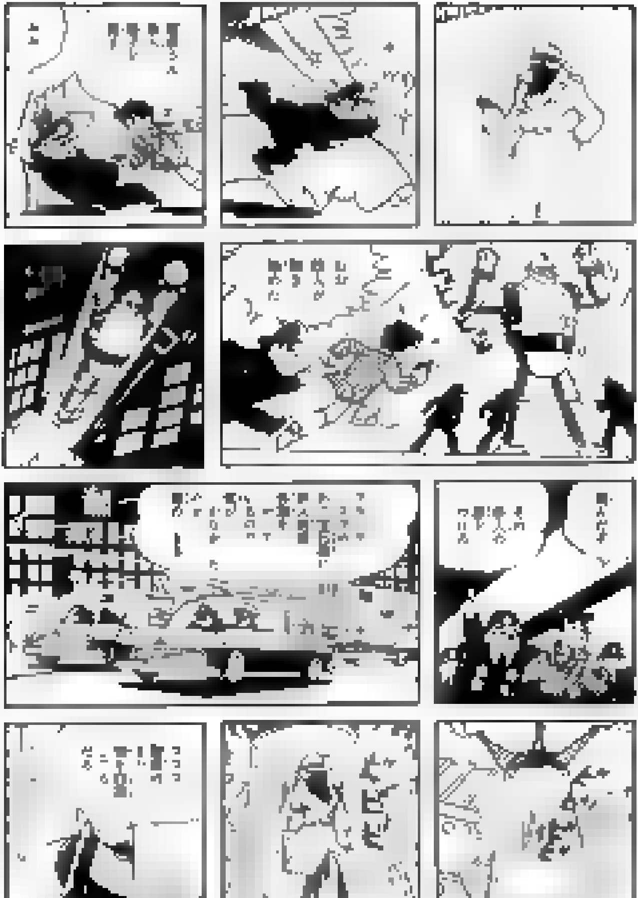

あわっ
どろぼーっ






カサ





な
なんだ
うわっ
ハッ

うむ
こうしちゃ
いられん
あっ
あっ
ブラック
マスク
うわっ
あっ
あっ

【[illegible]ブラックマスクの[illegible]】[illegible]

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

電子書籍版

鉄人28号
原作完全版
12

横山 光輝
© 光プロダクション／潮出版社
Original 潮出版社

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co.,Ltd.
http://www.ebookjapan.jp